朝 倉 上 廊 遺 跡

（都）江田天川大島線（市道 15-767 号線）道路築造に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

２ ０ ２ １． ３

前 橋 市 教 育 委 員 会

遺跡遠景 西から

遺跡全景 上が北

巻頭図版２

W―3 号溝跡遺物出土状況 北から

W―3 号溝跡断面 東から

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる群馬県の県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始め、市内のいたる所にその息吹を感ぜられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社･元総社地区に山王廃寺、国府、国分僧寺、国分尼寺など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地となり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する朝倉上廊遺跡が所在する朝倉町周辺には、八幡山古墳をはじめとした多くの古墳が存在し、市内でも有数の古墳群を形成しています。また、古代の集落跡や水田跡なども見つかっており、水田開発の様子が窺えます。今回の調査は、江田天川大島線道路築造に伴い実施され、調査の結果、奈良・平安時代の集落跡、古代用水路と考えられる溝跡などが検出されました。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進めることができました。また、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

令和３年３月

前橋市教育委員会
教育長　　吉　川　真由美

例　言

1　本書は、道路築造工事に伴い実施された「朝倉上廊遺跡」（前橋市遺跡コード：2G74）の埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2　本遺跡の所在は、群馬県前橋市朝倉町115-1、115-2、115-3、116-1、116-2、116-3、117-1、117-2、117-3、117-4、118-4、118-7、119-1、119-2である。

3　発掘調査は、令和２年７月６日から令和２年11月18日まで実施した。

4　発掘調査及び整理作業は、前橋市教育委員会の指導・助言及び監督のもと、株式会社シン技術コンサルが実施した。

5　調査体制は以下のとおりである。

【前橋市教育委員会】　神宮　聡・小峰　篤

【調査担当】　巾　隆之・倉石　広太・福嶋　正史（株式会社シン技術コンサル）

【測量担当】　中沢　信之・荒井　洋（株式会社シン技術コンサル）

6　整理作業は福嶋が行った。

7　本書の編集は福嶋が行い、執筆は第Ⅰ章を小峰、第Ⅱ～Ⅴ･Ⅶ章を福嶋が行った。第Ⅵ章はパリノ･サーヴェイ株式会社による分析報告を福嶋が一部修正した。

8　本書に掲載された遺構図版は荒井・馬淵恵美子（株式会社シン技術コンサル）が、遺構観察表は福嶋が作成した。

9　出土遺物の整理作業及び観察表作成は、福嶋・小林朋恵（株式会社シン技術コンサル）が担当し、石材の鑑定は芹澤清八（株式会社シン技術コンサル）が行った。

10　自然科学分析については、パリノ・サーヴェイ株式会社に依頼した。

11　遺構写真は福嶋・倉石が撮影し、本書に使用する遺構写真を福嶋が選出した後、坂本勝一（株式会社シン技術コンサル）がデジタル処理した。遺物写真は福嶋が撮影し、坂本がデジタル処理した。

12　本書のデジタル編集は、馬淵が行った。

13　本調査における図面・写真・遺物は、前橋市教育委員会で保管している。

14　発掘調査の実施、および報告書刊行に至るまで、下記の機関・諸氏の御協力を賜りました。記して感謝の意を表します（敬称略）。

株式会社RACRO　山下工業株式会社　吉田東一

15　発掘調査・整理作業参加者については次のとおりである。

【発掘調査】　青山真佐子　池谷厚子　石井友則　上野弘一　及川光夫　角谷 勇　柏原高夫　小林 誠
斉藤昭夫　須賀政次　総見徹宗　都丸仲一　那波克人　萩原陽子　平田 実　星野芳彦
茂木昭弘　六反田達子　和田 勲

【整理作業】　池田敏雄　佐藤久美子　鈴木幸見　鈴木澄江　田島直美　畠中 朋　馬淵恵美子
山田千鶴子　大和律子　六反田達子

凡　例

1　本書掲載の第１図は前橋市発行 1/2,500 都市計画図、第２図は国土地理院発行 1/25,000 地形図『前橋』をそれぞれ使用した。

2　遺構平面図に示した方位は座標北であり、水準線は標高を示す。座標については、日本測地系に基づく平面直角座標第IX系を使用した。

3　土層及び遺物の色調は、『標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・（財）日本色彩研究所色票監修 2014 版）に拠るが、担当者の主観による識別である。

4　本書における遺構種類の略号を以下に記す。

　Ｈ－竪穴住居跡　Ｄ－土坑　Ｐ－ピット　Ｉ－井戸跡　Ｗ－溝跡　Ｘ－不明・その他の遺構

5　本文・図面に示す火山灰名を以下に記す。

　As-B ＝浅間 B テフラ、天仁元（1108）年降下　　As-C ＝浅間 C 軽石、3 世紀後葉降下

　Hr-FA ＝榛名－渋川テフラ、6 世紀初頭降下　　Hr-FP ＝榛名－伊香保テフラ、6 世紀中葉降下

　As-YP ＝浅間－板鼻黄色軽石、1.6 万年前降下

6　遺物番号は、遺構図・遺物実測図・観察表・写真図版ともに統一してある。

7　遺物実測図の縮尺は 1/4、遺物写真の縮尺は 1/3 を基本とし、その他の場合は縮尺を記載した。

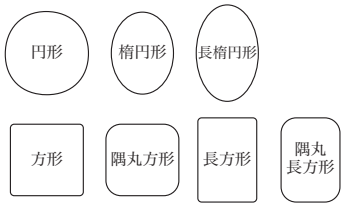
8　遺物実測図の断面において使用しているトーンの凡例は以下のとおりである。

　■ 還元焔焼成　　□ 灰釉陶器

9　土坑、ピットの平面・断面形状の分類を以下に示す。

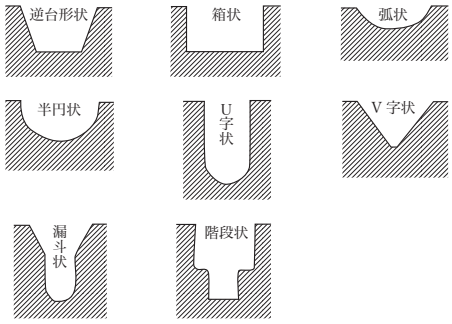
平面形状

円形	円形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍未満のもの。
楕円形	円形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍以上 1.5 倍未満のもの。
長楕円形	円形を基調とし、長軸が短軸の 1.5 倍以上のもの。
方形	方形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍未満のもの。
隅丸方形	方形を基調とし、隅が丸く長軸が短軸の 1.2 倍未満のもの。
長方形	方形を基調とし、長軸が短軸の 1.2 倍以上のもの。
隅丸長方形	方形を基調とし、隅が丸く長軸が短軸の 1.2 倍以上のもの。



断面形状

逆台形状	底部に平坦面を持ち、緩やか～急斜度に立ち上がるもの。
箱状	底部に平坦面を持ち、ほぼ垂直に立ち上がるもの。
弧状	底部に平坦面を持たない弧状で、緩やかに立ち上がるもの。
半円状	底部に平坦面を持たない椀状で、急斜度に立ち上がるもの。
U字状	確認面の長軸よりも深さの値が大きく、ほぼ垂直に立ち上がるもの。
V 字状	点的な底部を持ち、急傾斜に立ち上がるもの。
漏斗状	下部がU字状、上部がV字状の二段構造からなるもの。
階段状	階段状の立ち上がりを持つもの。広い中段 (テラス) を持つものも含める。



（荒川・加藤 1999 から転載、一部改変）

目　次

巻頭図版１・２
はじめに
例 言・凡 例
目 次
第Ⅰ章　調査に至る経緯……1
第Ⅱ章　遺跡の位置と環境……2
　第１節　遺跡の位置……2
　第２節　歴史的環境……2
第Ⅲ章　調査方針と経過……4
第Ⅳ章　基本層序……6
第Ⅴ章　遺構と遺物……7
　（１）竪穴住居跡 ……7
　（２）土坑・ピット ……7
　（３）井戸跡 ……8
　（４）溝跡 ……8
　（５）不明・その他の遺構 ……8
　（６）耕作痕 ……9
第Ⅵ章　朝倉上廊遺跡 As-B 直下の土地利用に関する植物珪酸体分析 …… 47
　第１節　はじめに…… 47
　第２節　試料…… 47
　第３節　分析方法…… 47
　第４節　結果…… 48
　（１）基本土層① …… 48
　（２）基本土層② …… 48
　（３）基本土層③ …… 51
　第５節　考察 …… 51
　（１）稲作について …… 51
　（２）古植生 …… 52
第Ⅶ章　まとめ…… 53
　第１節　古代集落の様相…… 53
　第２節　As-B 下旧地表面の様相について …… 54
写真図版
報告書抄録

挿図目次

第 1 図　調査区位置図 …… 1
第 2 図　遺跡の位置と周辺の遺跡 …… 3
第 3 図　グリッド設定図 …… 4
第 4 図　遺構全体図 …… 5
第 5 図　基本土層柱状図 …… 6
第 6 図　分割図 1 …… 18
第 7 図　分割図 2 …… 19
第 8 図　分割図 3 …… 20
第 9 図　W － 2・3・12 号溝跡断面図 …… 21
第 10 図　W － 4 ～ 7 号溝跡（1）・X － 13 断面図 …… 22
第 11 図　W － 7（2）・9・10・13 ～ 15 号溝跡断面図 …… 23
第 12 図　H － 1 号住居跡、H － 2 ～ 9 号住居跡（1）…… 24
第 13 図　H － 2 ～ 9 号住居跡（2）…… 25
第 14 図　H － 11 号住居跡、H － 12 号住居跡 …… 26
第 15 図　H － 13 号住居跡、H － 14 号住居跡 …… 27
第 16 図　H － 15 号住居跡 …… 28
第 17 図　H － 23 号住居跡、H － 24 号住居跡（1）…… 29
第 18 図　H － 24 号住居跡（2）、H － 29・31 号住居跡 …… 30
第 19 図　H － 25 号住居跡 …… 31
第 20 図　H － 30 号住居跡、H － 32 号住居跡 …… 32
第 21 図　H － 34A・H － 34B 号住居跡、H － 35 号住居跡 …… 33
第 22 図　H － 37 号住居跡、H － 40 号住居跡（1）…… 34
第 23 図　H － 40 号住居跡（2）、H － 43 号住居跡 …… 35
第 24 図　H － 45 号住居跡、H － 46 号住居跡（1）…… 36
第 25 図　H － 46 号住居跡（2）、H － 47 号住居跡 …… 37
第 26 図　I － 1 号井戸跡、I － 2 号井戸跡、I － 3 号井戸跡、I － 4・5 号井戸跡 …… 38
第 27 図　X － 11、X － 12、X － 14 …… 39
第 28 図　H － 1 ～ 5・7 ～ 14 号住居跡出土遺物 …… 40
第 29 図　H － 15・17・19 ～ 21・23（1）号住居跡出土遺物 …… 41
第 30 図　H － 23（2）～ 25・27・29・30 号住居跡出土遺物 …… 42
第 31 図　H － 32・34A・34B・35・37 ～ 39 号住居跡出土遺物 …… 43
第 32 図　H － 40・42・43・45 ～ 47 号住居跡出土遺物 …… 44
第 33 図　W － 2・3 号溝跡出土遺物 …… 45
第 34 図　W － 4・9・10 号溝跡、X － 11・12・14 出土遺物 …… 46
第 35 図　A 区での植物珪酸体群集の層位的・空間的な変化 …… 50
第 36 図　朝倉伊勢西遺跡・朝倉上廊遺跡　合成図 …… 55

表目次

第 1 表　竪穴住居跡（H）観察表（1）…… 10
第 2 表　竪穴住居跡（H）観察表（2）…… 11
第 3 表　土坑（D）観察表 …… 11
第 4 表　ピット（P）観察表 …… 11
第 5 表　井戸跡（I）観察表 …… 11
第 6 表　溝跡（W）観察表 …… 12
第 7 表　不明・その他の遺構（X）観察表 …… 12
第 8 表　遺物観察表（1）…… 13
第 9 表　遺物観察表（2）…… 14
第 10 表　遺物観察表（3）…… 15
第 11 表　遺物観察表（4）…… 16
第 12 表　遺物観察表（5）…… 17
第 13 表　A 区の分析試料 …… 47
第 14 表　A 区の植物珪酸体含量 …… 49

写真図版目次

巻頭図版１　遺跡遠景、遺跡全景
巻頭図版２　Ｗ－３号溝跡遺物出土状況、Ｗ－３号溝跡断面
PL. １　Ｂ区 全景
Ａ区 全景
PL. ２　Ｂ区 全景
Ｂ区 住居群
PL. ３　Ｃ区 全景
Ｈ－１号住居跡
Ｈ－２号住居跡
Ｈ－３号住居跡
Ｈ－３～５・７～９号住居跡
Ｈ－４・８・９号住居跡西壁セクション
Ｈ－６号住居跡
PL. ４　Ｈ－10号住居跡灰・焼土検出状況
Ｈ－11号住居跡
Ｈ－12号住居跡
Ｈ－13号住居跡
Ｈ－14号住居跡
Ｈ－15号住居跡
Ｈ－19号住居跡
Ｈ－21号住居跡
PL. ５　Ｈ－23号住居跡
Ｈ－23号住居跡遺物出土状況
Ｈ－24号住居跡
Ｈ－25号住居跡
Ｈ－25号住居跡カマド遺物出土状況
Ｈ－26号住居跡
Ｈ－27号住居跡・Ｄ－15号土坑遺物出土状況
Ｈ－29号住居跡
PL. ６　Ｈ－30号住居跡
Ｈ－32号住居跡
Ｈ－33号住居跡
Ｈ－34Ａ・Ｈ－34Ｂ住居跡
Ｈ－35号住居跡
Ｈ－36号住居跡
Ｈ－36号住居跡カマド
Ｈ－37号住居跡
PL. ７　Ｈ－38号住居跡
Ｈ－39号住居跡
Ｈ－40号住居跡
Ｈ－40号住居跡カマド
Ｈ－42号住居跡
Ｈ－43号住居跡
Ｈ－45号住居跡
Ｈ－46号住居跡
PL. ８　Ｈ－47号住居跡
Ｄ－４号土坑
Ｄ－24号土坑
Ｉ－１号井戸跡
Ｉ－２号井戸跡
Ｉ－３号井戸跡
Ｉ－４号井戸跡礫出土状況
Ｉ－４・５号井戸跡
PL. ９　Ｗ－２号溝跡
Ｗ－３・７号溝跡
Ｗ－３号溝跡セクション
Ｗ－３号溝跡中央遺物出土状況
Ｗ－３号溝跡西端遺物集中部①
Ｗ－３号溝跡西端遺物集中部②
Ｗ－３号溝跡西端遺物集中部セクション
Ｗ－５号溝跡
PL.10　Ｗ－４号溝跡
Ｗ－６号溝跡
Ｗ－７・９号溝跡西部
Ｗ－９号溝跡東半
Ｗ－10号溝跡
Ｗ－10号溝跡遺物出土状況
Ｗ－11号溝跡
PL.11　Ｗ－13号溝跡
Ｗ－14・15号溝跡
Ｗ－16号溝跡
Ｘ－11検出状況
Ｘ－11遺物出土状況
Ｘ－12検出状況
Ｘ－14セクション
耕作痕検出状況
PL.12　出土遺物（１）
PL.13　出土遺物（２）
PL.14　出土遺物（３）
PL.15　出土遺物（４）
PL.16　出土遺物（５）
PL.17　出土遺物（６）

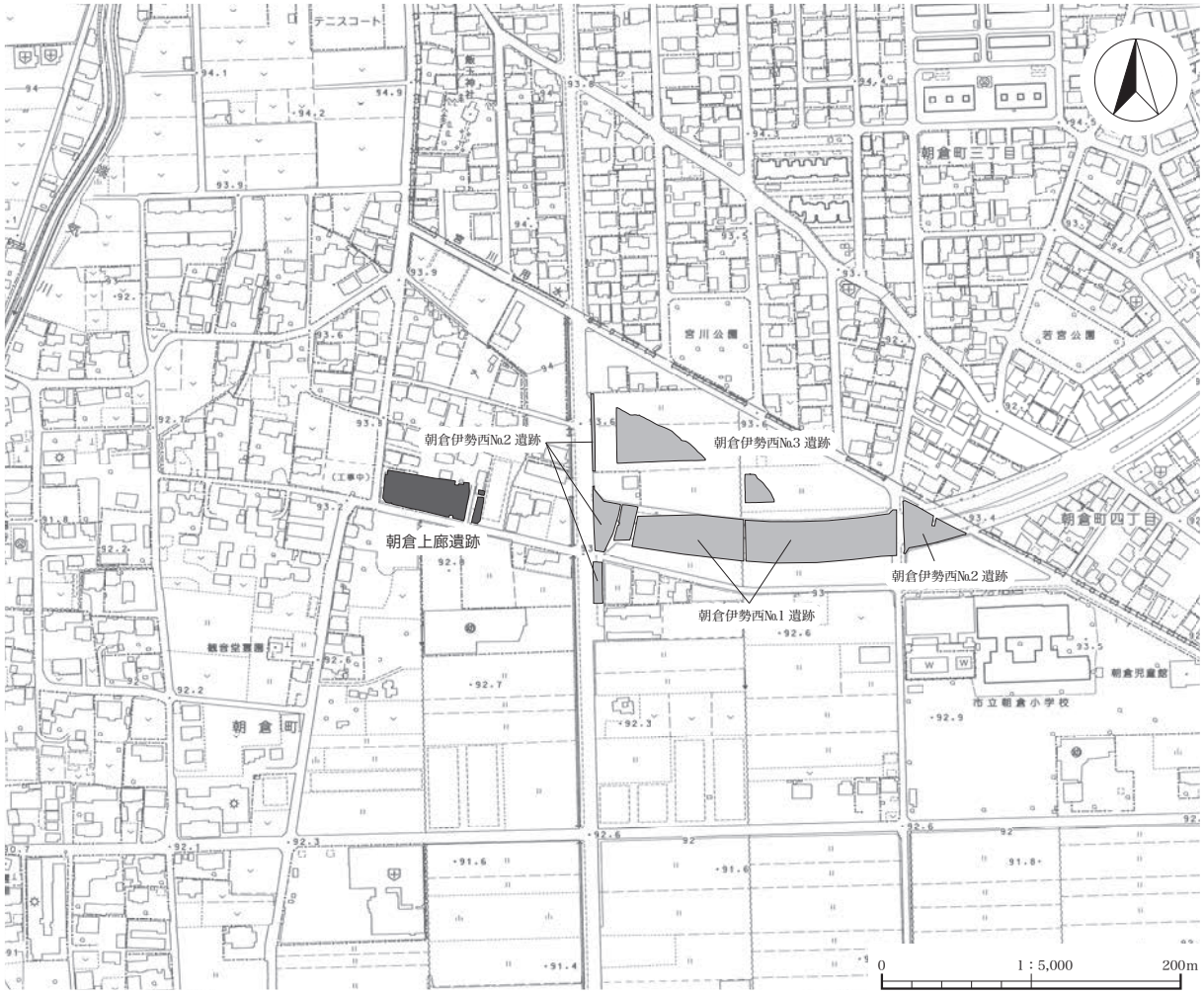
第Ⅰ章　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市長　山本　龍（道路建設課）（以下「前橋市」という。）が施工する（都）江田天川大島線（市道１５－７６７号線）道路築造に伴い実施されたものである。

当該工事予定地が周知の埋蔵文化財包蔵地内（前橋市０２８５遺跡･前橋市０２８６遺跡）であることから、試掘確認調査（以下「試掘調査」という。）を平成３０年１１月８日、令和２年１月１５日に実施した。試掘調査の結果、古代の竪穴住居跡等が検出されたため、埋蔵文化財の取扱いについて前橋市と協議を行なった。当該道路については、恒久的構築物であると同時に公共的必要性を考慮すると工事計画を変更することは困難であることから、記録保存を目的とした発掘調査を実施することで前橋市と合意した。

令和２年４月１３日付で前橋市より、埋蔵文化財発掘調査・整理業務に係る依頼が、前橋市教育委員会（以下「市教委」という。）に提出された。市教委直営による発掘調査実施は、既に他の発掘調査予定があるため困難であると判断し、民間調査組織へ発掘調査業務を委託することで前橋市と合意に至った。業務実施にあたっては市教委の作成する調査仕様書に則り、市教委による監理・指導のもと発掘調査を実施することとなった。同年６月２３日付で前橋市と民間調査組織である株式会社シン技術コンサル前橋営業所との間で業務委託契約が締結され発掘調査に着手した。

なお、遺跡名称「朝倉上廊遺跡」（遺跡略コード：2G74）の「朝倉」は町名を採用し、「上廊」は旧小字名を採用した。



第１図　調査区位置図

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

第１節　遺跡の位置

前橋市は関東平野の北西端、群馬県中央やや南に位置する中核市である。市域の南部は標高 100m 前後の平野に立地し、西部から南端にかけて利根川が南流する。北部は広大な赤城山の裾野の一角を占め、北東端には山頂（1,828 m）も含まれる。山間部を除いて市域は全体に北北東から南に緩く緩斜する。現在は市域の南西を流れる利根川だが中世までは市街北東の現桃ノ木川から広瀬川にかけての広瀬川低地帯を流下していたと考えられており、それが中世末～近世初頭に現流路に移動したと考えられている（早田他 1990）。

朝倉上廊遺跡は市域の南部、前橋市街中心 (前橋駅) から南東約 2.4km に位置し、旧来からの市街地からみるとほぼ南端にあたる。遺跡地の南方には米・小麦を生産する穀倉地域が広がっていたが、近年急速に市街地化されつつある。広瀬川南西から高崎市にかけて広がる前橋台地の北東縁付近に立地しており、遺跡から約 900m 東方に広瀬川が南東流し、約 1.7km 西方には利根川が南流する。前橋台地は更新世後期に形成された扇状地形礫層を浅間山の山体崩壊で発生した泥流 (前橋泥流) が 10 m以上の厚さで覆い、さらにその上位に前橋泥炭層、火山灰質シルト層が数mの厚さで堆積して形成されている。

遺跡 300m 西方には広瀬川から分流した端気川が南流し、遺跡の北方約 150m には端気川から分岐する宮川用水が南東流している。現宮川用水は昭和 40 年代の土地改良および区画整理事業に伴って中流域の流路を直線的に作り変えられており、旧流路は埋め立てられているが、飯玉神社北から広瀬町まで道路としてその痕跡がたどれる（藤坂・前田他 2015）。

遺跡地周辺では次節に述べるように近年道路、および店舗建設に伴って複数の遺跡発掘調査が行われており、特に朝倉伊勢西遺跡は本遺跡に直接関連すると思われる遺跡である（福田・山田 2011、福田・小林 2012、小峰・北村ほか 2017）。

第２節　歴史的環境

本遺跡が立地する前橋台地は、前橋泥流によって形成された 24,000 ～ 26,000 年前頃から浸食が始まり、その後前橋泥炭層が形成されるほどの長期にわたって湿地に類する環境であった。前橋泥炭層は As-YP を中に挟みつつ堆積しており、旧石器時代終末期頃までは前橋台地が未だ生活に適さない環境であったことが推定される。事実、本遺跡周辺も含め、前橋台地上では旧石器時代の遺跡はみることができない。

縄文時代でも前橋台地上の遺跡は少数であるが、遺物は主に六供町にあるいくつかの遺跡で出土している。本遺跡でも前期後半の諸磯ｂ式土器の破片がトレンチ内から出土している。この他では櫛島川端遺跡（31）で縄文時代早期の撚糸文系土器が出土している。

弥生時代は、前橋台地全体でみれば特に南部で近年になって遺跡が増加してきたが、調査地周辺では多くはない。上記の櫛島川端遺跡で弥生時代中期の再葬墓と後期の集落が調査されているにとどまり、この段階では低地への開発・進出がごく小規模にとどまっていた様相がわかる。

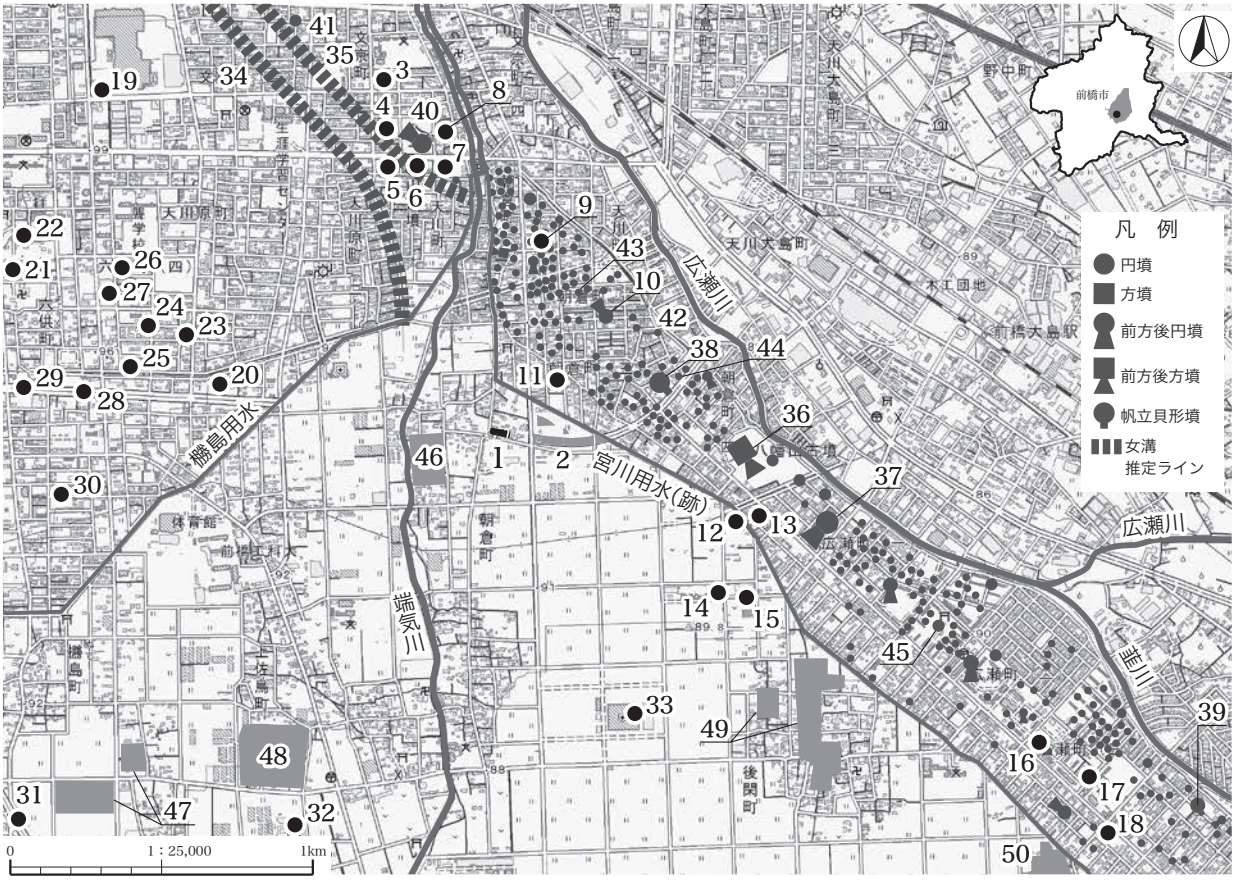
古墳時代になると遺跡数が飛躍的に増加する。広瀬川低地帯を望む台地東縁に多数の古墳が築造されるとともに微高地上に集落が形成されることがわかっている。この段階で人口を支える生産域として低地帯が開発されていたと推定され、集落・生産域・墓域が確立したことが推定される。広瀬川右岸沿いの朝倉・広瀬古墳群は県内有数の古墳密集地帯であり、古墳時代前期と後期を中心に形成される。その中で代表的な大形古墳として、古墳

前期の八幡山古墳（36）、前橋天神山古墳（37）、5 世紀後半の鶴巻塚古墳（38）、5 世紀末～ 6 世紀初頭の亀塚山古墳（39）、6 世紀中頃の天川二子山古墳（40）、第 2 図外になるが 6 世紀後半の不二山古墳、6 世紀末の金冠塚古墳などが挙げられる。この他、消滅したカロウト山古墳（41）は、近年終末期の可能性が指摘されている。

古墳時代から奈良・平安時代の集落は、本遺跡のほか朝倉伊勢西遺跡（2）や後閑団地遺跡（12）、後閑遺跡Ⅱ（15）、広瀬木ノ宮遺跡（17）などで調査されている。朝倉伊勢西遺跡では、7 世紀末から 11 世紀前半まで継続的に集落が存続しており、本遺跡も 8 世紀から 10 世紀までの集落であることが判明した。この他、六供遺跡群 No.7（21）では 5 世紀後半の集落も確認されている。この時期の生産遺跡として、六供下堂木Ⅱ遺跡（24）や第 2 図南方に位置する朝倉工業団地遺跡群、公田池尻遺跡、公田東遺跡などで Hr-FA・Hr-FP 下の古墳時代水田跡が確認されている。その上位、As-B で埋没した水田はより多数の遺跡で調査されており、その中でも朝倉・後閑水田遺跡（33）や宮地中田遺跡などでは条里地割が確認されている。

一方、朝倉町北方の文京町から天川町にかけて「女溝」と呼ばれる 2 条の溝跡遺構が北西―南東に走行することが知られ、一部発掘調査されている。その時期は 1 号女溝（34）が覆土中位に As-B の一次堆積層が確認できることから As-B 降下以前、2 号女溝（35）はそれより新しい中世頃であると推定されている。

このほか中・近世の遺跡として、本遺跡西南方の微高地上に朝倉環濠遺構群（46）や、後閑環濠集落（49）、山王環濠集落（50）などが調査されており、城館跡としては、亀里町に位置する宿阿内城などが知られる。



1　朝倉上廊遺跡	2　朝倉伊勢西遺跡	3　寄居遺跡	4　県立文書館遺跡	5　二子山前遺跡
6　二子山前Ⅱ遺跡	7　二子山前Ⅲ遺跡	8　二子山前Ⅳ遺跡	9　小旦那遺跡	10　長山遺跡
11　鎮守廻り遺跡	12　後閑団地遺跡	13　坊山遺跡	14　後閑遺跡	15　後閑Ⅱ遺跡
16　上川渕鶴巻遺跡	17　広瀬木ノ宮遺跡	18　木ノ宮遺跡	19　文京町 No.1 遺跡	20　六供遺跡群
21　六供遺跡群 No.7	22　六供遺跡群 No.8	23　六供下堂木遺跡	24　六供下堂木Ⅱ遺跡	25　六供下堂木Ⅲ遺跡
26　六供下堂木Ⅳ遺跡	27　六供下堂木Ⅴ遺跡	28　六供東京安寺遺跡	29　六供中京安寺遺跡	30　東京安寺遺跡
31　栅島川端遺跡	32　上佐鳥中原前遺跡、上佐鳥中原前Ⅱ・Ⅲ遺跡		33　朝倉・後閑水田遺跡	34　1 号女溝
35　2 号女溝	36　八幡山古墳	37　前橋天神山古墳	38　鶴巻塚古墳	39　亀塚山古墳
40　天川二子山古墳	41　カロウト山古墳	42　朝倉 1 号墳	43　朝倉 2 号墳	44　朝倉 3 号墳
45　飯玉神社古墳	46　朝倉環濠遺構群	47　福島屋敷	48　中沢屋敷	49　後閑環濠集落
50　山王環濠集落				

第 2 図　遺跡の位置と周辺の遺跡

第Ⅲ章　調査方針と経過

朝倉上廊遺跡では、令和２年７月６日から 11 月 18 日まで発掘調査を実施した。

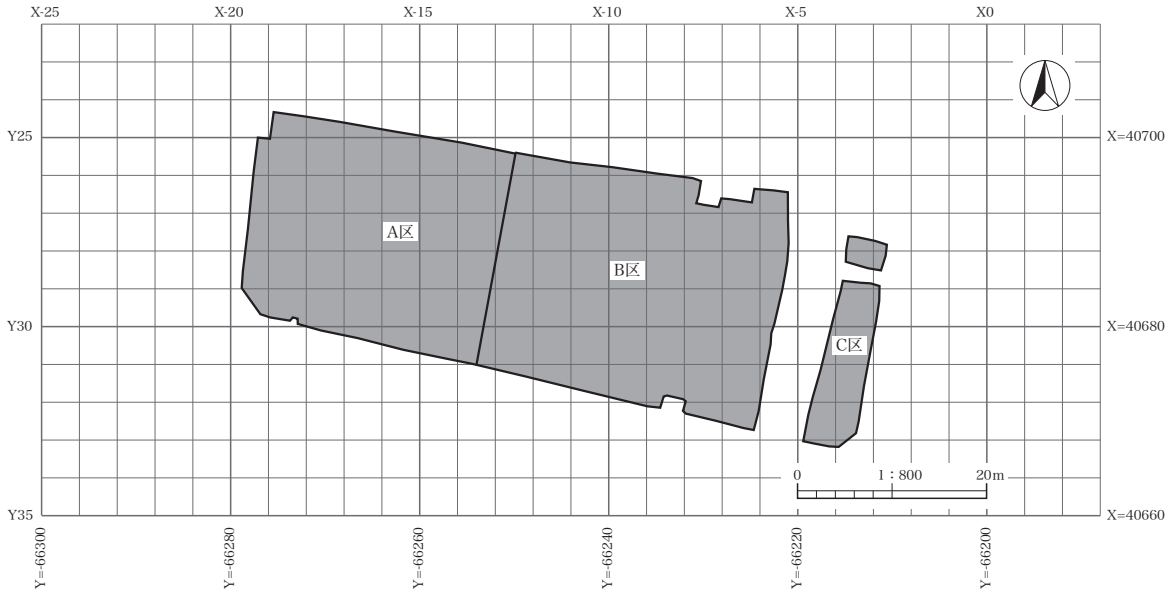
調査は 0.45㎥のバックホウを使用して表土を掘削した後、As-B 残存範囲はジョレン・移植ゴテなどを用いて軽石を除去した。As-B が確認されなかった範囲はジョレンを用いて確認面の精査を行い、移植ゴテ・竹べら等を用いて遺構覆土の掘削を行った。重複が激しい範囲は平面精査のみでは遺構を個別に判別できず、グリッド境界にベルトを残して平面的に掘り下げて遺構の把握に努めた。

写真記録は、35㎜カラーリバーサルフィルム・同モノクロネガフィルムの２種類を使用し、デジタルカメラによる補足撮影も行った。空中写真撮影はデジタルカメラのみで行った。遺構の作図作業は、基本的に平・断面をトータルステーション･電子平板を用いた機械測量で行い、竪穴住居跡のカマドなどの断面は手実測で行った。

グリッドは、平成 22 年に発掘調査が実施された朝倉伊勢西 No.1 遺跡（福田・山田 2011）に合わせて設定した（第３図）。このグリッドは日本測地系に基づく平面直角座標第Ⅸ系の座標軸を用い、X ＝ 40,800.0m，Y ＝－ 66,200.0m を基点 Y0・X0 として 4m 方眼を組んで設定されている。グリッドの基点は北西角であり、Y は北から南へ、X は西から東へ番号を振っているが、本遺跡はグリッド基点より西にあるため X の値が「-」（マイナス）となっている。

調査の経過は以下に記す。

７月６～10 日	駐車場設営、プレハブ設置、トイレ搬入。フェンス設置。A 区表土掘削開始。降雨多く、設営作業ならびに掘削作業たびたび中断。
７月 16 日	A 区遺構検出開始。
７月 17 日	A 区表土掘削終了。C 区表土掘削。同日終了。
７月 28 日	C 区遺構調査開始。
８月７日	A 区遺構掘削終了。UAV による第１回空撮実施。
８月 12 日	A 区・C 区調査終了。
８月 17 ～ 21 日	A 区・C 区埋め戻し、B 区表土掘削。
８月 22 日	B 区遺構調査開始。
11 月 10 日	B 区遺構掘削終了。前橋市による終了確認。UAV による第２回空撮実施。
11 月 12 日	調査区の埋め戻し開始。器材搬出。
11 月 13 日	プレハブ解体・撤去。
11 月 18 日	調査区の埋め戻し終了。調査完了。
11 月 21 日	フェンス撤去。現場引き渡し。



第３図　グリッド設定図

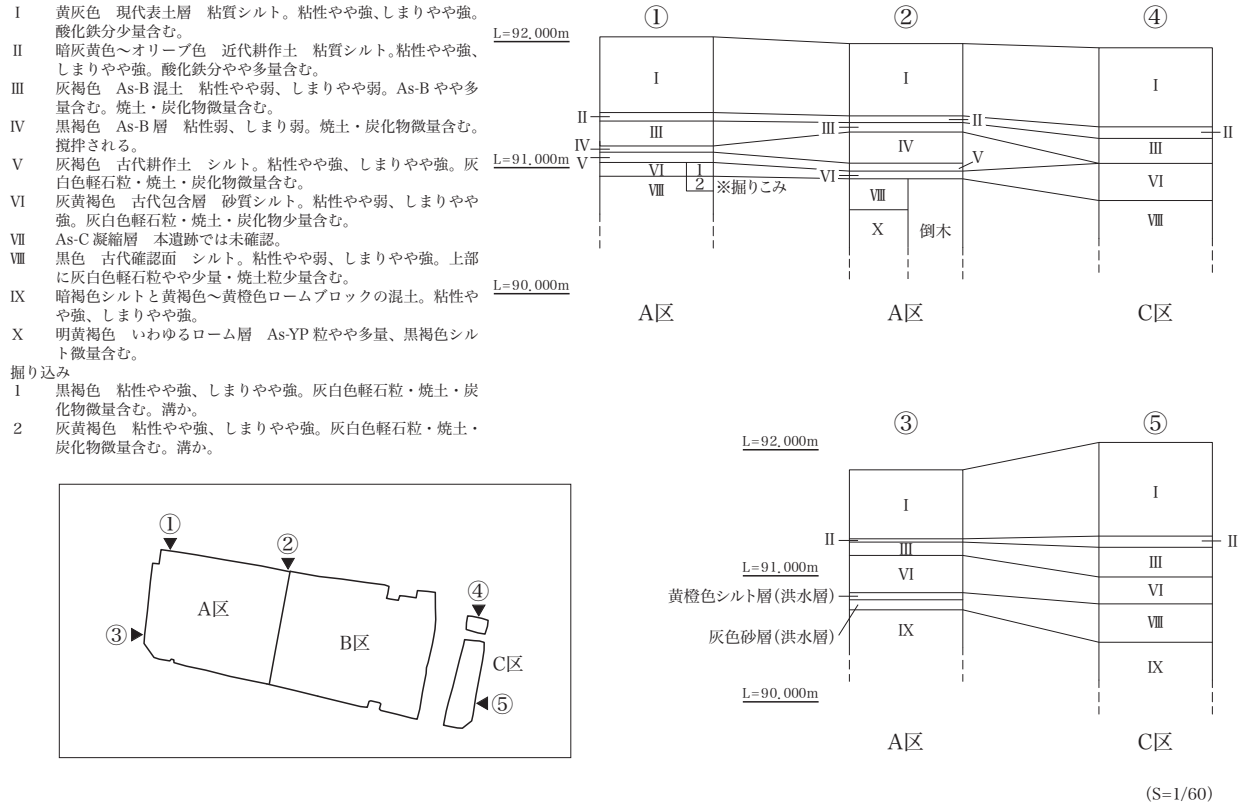
第４図　遺構全体図

第Ⅳ章　基本層序

基本層序はⅠ～Ⅻ層とし、場所によっては必要に応じてアルファベットを付して細分した。細分した観察所見は各断面図に記した。

今回の調査では朝倉地区の遺跡相互の比較を考慮して、ほぼ共通する土層が認められたⅠ～Ⅷ層は既調査の朝倉伊勢西 No.2・No.3 遺跡と同じ層位名を使用した。Ⅸ層以下は本遺跡と朝倉伊勢西遺跡で違いが認められた土層で、本遺跡のみの層序である。

Ⅰ層は現代の砕石盛土層及び耕作土、Ⅱ層は近世・近代の耕作土である。Ⅲ層はいわゆる As-B 混土である。Ⅳ層は As-B 層で、A 区東部の基本土層②では厚さ 20㎝以上を測る。ただし、本遺跡で確認された As-B 層はすべて撹拌されており、一次堆積層は確認できなかった。Ⅴ層は灰褐色の As-B 下の古代の耕作土で、A 地区の一部でのみ確認された。Ⅵ層は As-B 下位に安定して堆積する灰黄褐色を基調とする土層であり、As-C 及び Hr-FA・FP とみられる灰白色軽石が混入している。古代の遺物包含層であり、竪穴住居は本来本層中から掘り込まれていると考えられるが、遺構覆土と色調・土質が近似していることから本層中での遺構検出は困難である。Ⅶ層は朝倉伊勢西 No.2 遺跡で As-C 凝縮層とされたが、本遺跡では確認することができなかった。Ⅷ層は黒色土層で、上部には As-C 軽石が混入し下部は同軽石を含まない。本層上面で古代遺構の検出を行った。Ⅸ層は暗褐色土と As-YP の混じったロームの混土である。Ⅹ層は As-YP をやや多く含む明黄褐色ロームで、As-YP 噴火に関係する火山泥流堆積物と考えられる。朝倉伊勢西 No.3 遺跡のⅩ層に相当すると推定される。Ⅺ層は浅黄色土で、As-YP を微量含む。やはり朝倉伊勢西 No.3 遺跡のⅩ層相当か。Ⅻ層は灰白色砂質層で、部分的に酸化し極めて硬い。なお、本遺跡では As-YP 一次堆積層、前橋泥炭層は確認されなかった。



第 5 図　基本土層柱状図

第Ⅴ章　遺構と遺物

（1）竪穴住居跡（第4・6～8・12～25・28～32図　第1・2表　PL.3～8・12～16）

竪穴住居跡は、45軒（H-1～15･17･19～34A･34B～43･45～47）検出された。H-1のみA区のAs-B下、Ⅵ層中から単独で検出された。他はB区東半からC区にかけてのⅧ層上面で検出された。低地に囲まれた微高地上に集中しており、重複が激しい。重複関係ではH-33とH-47が最も古いが、前者は年代を確定できる遺物に乏しい。後者は遺物から年代がほぼ確定でき、本遺跡の最古段階7世紀末～8世紀初頭である。重複関係での推定も含め、8世紀代に比定できる住居跡は10軒（H-5・9・13・17・22・24・33・39・43・47)、重複関係から8世紀～9世紀前半とみられるものが3軒（H-20・26・28）である。9世紀代は同じく重複関係による推定を含め27軒（H-2～4・8・11・12・14・15・19・21・25・27・29～32・34A・34B・37・38・40・42・45・46)、10世紀代が4軒（H-1・10・23・35）である。8世紀代の住居跡はB区北部・東端とC区に間隔をあけて分布し、その空間を9世紀の住居跡が埋める形で展開している。朝倉伊勢西遺跡でみられたような時期による偏在は認められなかった。

竪穴住居跡の平面形状は方形か長方形で、カマドはすべて東壁または北東壁で検出された。主軸方向は、ほぼ東西のN-90°-E～N-115°-Eのものと、若干北に振れるN-50～80°-E程度の2パターンに大別され、前者が主体である。時期による傾向は看取されなかった。規模は、重複が激しいため一概には言えないが長軸4.0 m以下が大部分で、4.0 mを超える住居はH-3・15・32・43・46・47と不確実ながらH-24の7軒にとどまる。H-43･47は7世紀末～8世紀初頭、H-15は9世紀前半、H-24も重複関係から8世紀代と推定されることから、古い段階の住居に大形のものが多い。逆に10世紀のH-1・10・23・35は4軒ともに長軸4 m以下の小形である。9世紀代の住居はその中庸で、格別小形のものも大形のものもなく、長軸3.2 m～4.2 mの範囲に収まっている。カマドは24軒（H-1・4・9・11～15・19・23～25・29・30・34A・34B・35～37・40・42・43・45･46）から検出されたが、新しい住居や撹乱で壊されたものも多く、良好に残存しているものは少数（H-13・15・25・34A・34B・40）である。

住居跡からの出土遺物は調査終了時で遺物収納箱約20箱分あり、内容は土師器坏・須恵器坏・須恵器椀・土師器甕・灰釉陶器・羽釜などであった。坏・椀類は器形が復元できるものが比較的多かったが、土師器甕は概して残存が不良で形状を復元できるものが少なかった。このほか、鉄製品・土製品・石製品が少数出土しているが、土製・石製の紡錘車が計5点出土していることが特筆される。また、住居跡のうち5軒（H-3・32・35・43・45）では土錘が出土している。掘方から出土した例もあり、これが有意のものか否か、今後の調査に期待したい。住居跡からは居住当時と推定される遺物のほかそれ以前の遺物も混じって出土しているが、埴輪片を除けば古墳時代に比定できる遺物はみられなかった。

（2）土坑・ピット（第4・6～8図　第3・4表　PL.8）

土坑は、24基（D-1～24)、ピットは21基（P-1～21）検出された。土坑はA区で検出された近世～近代のもの8基（D-1～8）も含まれる。他の16基は平安時代以前のものである。ピットはA区で検出されたP-1が中世～近世に比定できるが、C区で検出されたP-2とB区での19基はすべて奈良～平安時代のものである。これらはいずれも集落範囲で検出されているが、朝倉伊勢西No.2･No.3遺跡と比べると検出数が少なく、また、集中する場所もなく密度も低い。ピットの中には柱穴と思われるものも含まれているが、掘立柱建物として認められるものはなかった。

遺物は土器類・礫で破片類がほとんどであり特筆すべきものはなかった。

（3）井戸跡（4・6～8・26図　第5表　PL.8）

井戸跡は5基検出された。すべてB区南東部にあり、うち4基は溝跡と重複し、溝の埋没後にその覆土を掘りこんで構築されている。構造はいずれも素掘りであるが、I-1・5では本体周囲を埋め、井戸側としている。平面形状はいずれも円形で、断面形状はI-1が階段状、I-2が漏斗状、I-3・4が円筒状である。I-5は図面上では円筒状にみえるが上部を調査できずに壊しているため、本来は漏斗状と推定される。時期は、出土遺物と重複関係からI-1・3～5は9世紀後半以降で10世紀までの間、I-2は8世紀～9世紀中頃と推定される。I-1・4・5はW-7の範囲内に近接して構築されているが、このうちI-4・5は土層堆積状況では新旧関係がはっきりせず、I-4底面が不自然にI-5方向に広がって両者がつながっていることから、同時併存していた可能性が高いと推定している。I-1とI-5の新旧関係ははっきりしないが、併存していた可能性は低いと考えている。なお、5基の井戸に伴う上屋や揚水施設の痕跡は確認できなかった。

井戸からの遺物は、I-4･5を除きほとんど出土しなかった。I-4は覆土中に10～30cm大の礫が多数埋め込まれ、I-5からは土師器・須恵器破片に混じって70cm程の板材の残骸1枚が出土している。

（4）溝跡（第4・6～11・33・34図　第6表　PL.9～11・16・17）

溝跡は16条検出された。W-1・8は近代以後、W-12はAs-B降下以後の中世に構築されたと推定される溝であるが、他は奈良～平安時代に構築されたものである。これらはいずれも集落近傍で検出されたが、大別して集落内部に構築されるもの（W-4・5・10・11・16）と微高地縁辺部または低地部に構築されるもの（W-2・3・6・7・13～15）がある。W-9も低地に近いが集落内部の溝に含められる。

微高地縁辺に構築された溝のうちW-3は特に大規模で、ほぼ東西方向にB区南端に沿って構築され、途中で調査区外となるもののおそらくC区まで延びる。検出長はC区部分まで含めて36.0 m、調査区南限にかかるため幅は不明であるが検出範囲で3.5 m以上であり、深さは検出面から最大約0.9mを測る。堆積土層の大部分は水成で、少なくとも数回掘り直されている。これらの事柄からW-3は水路に類するものと考えることが妥当であり、水田開発に伴う灌漑用水と想定される。なお、W-3西端の南縁肩部から8世紀中葉の坏・甕が数個体集中して出土しており、何らかの意図をもって埋設されたものと考えられる。

低地部の溝としては、基本土層①確認トレンチ内、As-B残存範囲のⅥ層下でW-6が検出されている。検出範囲では北西―南東に延びる。

集落内に構築された溝は比較的小規模なものが多く、覆土からみても水路とは考えにくい。W-4・5のように住居より古いものがある一方、W-10・16のように10世紀以降に比定できるものもあり集落内に断続的に構築されているようである。これらの溝跡からの出土遺物は少ない傾向にあるが、W-10では重複するH-30・35に伴うと思われる遺物が大量に混入している。

（5）不明・その他の遺構（第4・6～8・27・34図　第7表　PL.11・17）

不明遺構・その他の遺構は併せて14基検出された。A区で検出された近世～現代の長方形掘り込み（いわゆる芋穴か）が7基（X-1･3～5･7～9）、近世と推定されるが性格不明の、やや大規模な掘り込みが2基（X-2･10）、微高地縁辺の浅い掘り込みが2基（X-6・13）の、計11基が不明遺構として分類される。X-6・13以外からは主として近世陶磁器類が出土した。X-2・10を除いて出土量はわずかであり構築時期を確定するには至らなかった。X-2・10からは近世陶磁器類がやや多量に出土し他の時期の遺物がみられなかったため、近世の構築とほぼ断定できる。なお、X-2からは墨書ある木札も出土している。

また、その他の遺構としてX-11・12・14が分類される。3基はいずれもH-23周辺で検出されたもので、X-11・12とX-14でその内容に違いがある。X-11・12はⅥ層下で焼土・20cm大の自然礫・灰白色粘土の集中

として検出された。出土した礫類がほとんど被熱していること、X-11 ではいくつかの礫が立てられた状態で出土したこと、遺構範囲内から羽釜・坏などの遺物が出土したことなどから、カマド跡と推定している。粘土と礫の大部分は焼土・遺物の集中部とはやや離れて検出されたがこれはカマドが解体され、構築材が周囲に廃棄されたためだと考えている。X-11 は立てられた礫の掘方から復元すると本体が直径 50cm 程度の円形で、内部は一段深く掘りこまれ、中央に支脚と思われる礫が埋め込まれている。煙道・煙突の痕跡は認められず、住居壁に作りつけられたカマドと異なる構造のカマドであったことが想定される。なお、X-12 は掘り込みが検出されず、構築材の廃棄のみ認められた。

X-14 は焼土と埴輪破片の集中として H-23 覆土上面で検出された遺構である。深さ 20cm 程度の掘り込みから焼土ブロックと被熱した手のひら大の円筒埴輪片が複数出土した。H-23 との重複関係から 10 世紀後半以後の構築であり、埴輪はいずれかの古墳から採取してきたものと思われる。掘り込みの内壁が被熱していなかったため断定はできないが、炉跡の可能性が考えられる。

（6）耕作痕（PL.11）

A 区の大部分から B 区の西部にかけては、表土下約 0.7 m に As-B が堆積していることが確認された。ただし降下当時の一次堆積は認められず、検出された As-B 層はいずれも撹拌された二次堆積層であった。層厚は A 区西端の最も薄い場所で 0 ～ 3cm、A 区北東端付近の最も厚い場所で 18 ～ 20cm を測る。この As-B 層下で水田の有無を確認するため、精査を行った。

As-B 下面の V または Ⅵ 層上面は、A 区西端近くと B 区西部にわずかに段差があり、As-B 残存範囲がくぼんで低地となっていた。この低地範囲を含み、広い範囲で農耕具の刃先痕が多数検出された。刃先痕のくぼみには As-B、または As-B を多量に含む褐色土が詰まっており、作業が As-B 降下後であることを示している。刃先痕は、粗密はあるが図にトーンで示したように As-B 残存範囲のほぼ全域で検出され、一部 As-B 残存範囲外でも検出された。検出面積は約 810㎡を測る。場所によっては南北方向に連続した刃先痕が一定の幅で並行していることが認められることから、これら刃先痕はなんらかの耕作の痕跡と推定される。

一方、As-B 下面では平面・断面のいずれでも畦畔は検出されず、いわゆる B 下水田の確証は得られなかった。ただし、次章の自然科学分析結果に記したように、A 区北端の東西（基本土層トレンチ①・②）でのプラントオパール検出数は As-B 上下ともきわめて多く、As-B 降下前・後いずれの時期でも近傍での稲作の可能性を示唆している。

第１表　竪穴住居跡（H）観察表（1）

（　）は推定値・残存値

番号	グリッド		平面形状	主軸方向	規模（m）			床面積（㎡）	カマド（m）			時期		重複関係・備考
	X	Y			長軸	短軸	深さ		位置	奥行	燃焼部幅 焚口幅	時期	判断基準	
1	-19	28・29	長方形	N-103°-E	(3.00)	2.41	0.06	(7.23)	東壁	0.16	—	10 世紀前半以後	検出層位	X-1 より古い。
2	-4・-5	30	長方形	N-105°-E	3.32	(1.78)	—	(5.75)	東壁	—	—	9 世紀後葉	出土遺物	H-3・5・6、W-4 より新しい。 掘方の炭化物・灰層のみ検出。
3	-4	29・30	長方形か	N-110°-E	4.04	(2.34)	0.10	(9.45)	—	—	—	9 世紀後半	出土遺物	H-4・5・6・7・8 より新しく、H-2、W-4 より古い。
4	-4	29	不明	N-106°-E	(1.05)	(0.78)	0.15	(0.82)	東壁	(0.83)	—	9 世紀後半以前	重複関係	H-7・8 より新しく、H-3 より古い。
5	-4	29・30	—	—	(1.60)	(0.62)	—	(0.99)	—	—	—	8 世紀後葉以前	重複関係	H-2・3・8・9 より古い。
6	-4	30	不明	—	(1.37)	(0.72)	0.09	—	—	—	—	9 世紀後半以前	重複関係	H-2・3、W-4 より古い。
7	-4	29	—	—	(1.15)	(0.54)	—	(0.62)	—	—	—	9 世紀後半以前	重複関係	H-3・4 より古い。
8	-4	29	—	N-95°-E	(0.70)	(0.69)	0.20	(0.48)	—	—	—	9 世紀後半以前	重複関係	H-5 より新しく、H-3・4 より古い。
9	-4	29	—	—	—	(1.50)	—	—	東壁	(0.85)	—	8 世紀後葉か	出土遺物	H-5 より新しい。
10	-7・-8	29・30	方形	N-77°-E	2.64	2.43	—	6.42	東壁	—	—	10 世紀後半か	出土遺物	H-12・13・14、W-9、D-12 より新しい。 掘方の炭化物・灰層のみ検出。
11	-6・-7	28・29	長方形か	N-105°-E	3.24	(1.98)	0.11	(6.42)	東壁	0.53	0.50 0.68	9 世紀前半	出土遺物	H-13・17・20・22・24、P-7 より新しい。
12	-7・-8	28・29・30	方形か	N-52°-E	3.58	3.48	0.16	12.46	北東壁	0.48	0.40 0.65	9 世紀後半	出土遺物	H-13・14・19・21、W-9、D-12 より新しく、H-10、W-8 より古い。
13	-7	29・30	方形	N-93°-E	3.59	3.20	0.18	11.50	東壁	0.67	0.50 0.60	8 世紀後半	出土遺物	H-17・22、W-9、D-13 より新しく、H-10・11・12・14 より古い。
14	-7・-8	28・29	長方形	N-103°-E	3.91	2.80	0.14	10.95	東壁	0.32	0.38 —	9 世紀後半	重複関係	H-13・21・22、W-9、D-12 より新しく、H-10、12 より古い。
15	-6・-7	27・28	長方形	N-97°-E	4.45	3.23	0.18	14.37	東壁	0.65	0.63 0.75	9 世紀前半	出土遺物	H-20・24・26・28・33 より新しい。
16	欠　番													
17	-6・-7	29・30	長方形	N-105°-E	3.17	2.02	0.32	6.40	—	—	—	8 世紀中～後半	出土遺物	H-11・13、D-13、P-6・9 より古い。
18	欠　番													
19	-8	29・30	長方形か	N-97°-E	(3.75)	(2.49)	0.09	(9.34)	東壁	0.50	0.55 0.65	9 世紀後半	出土遺物	I-2・3、W-9、D-11、X-13 より新しく、H-12、W-8 より古い。
20	-6	28	—	N-105°-E	(1.71)	(1.03)	0.19	(1.76)	—	—	—	9 世紀前半以前	重複関係	H-24 より新しく、H-11・15 より古い。
21	-7・-8	28	長方形か	N-96°-E	3.94	(2.83)	0.14	(11.15)	東壁	—	—	9 世紀後半	出土遺物	H-22・24、P-10 より新しく、H-12・14・23 より古い。
22	-7	28・29	方形か	N-94°-E	(2.88)	(1.81)	0.14	(5.21)	—	—	—	8 世紀後半か	重複関係	H-24 より新しく、H-11・13・14・21 より古い。
23	-8	27・28	ほぼ方形	N-98°-E	3.20	2.69	0.15	8.61	東壁	0.55	(0.57) (0.60)	10 世紀後半	出土遺物	H-21・30・36 より新しく、W-8、X-11・12・14 より古い。
24	-6・-7	27・28	方形か	N-92°-E	4.40	(2.93)	0.23	(12.89)	東壁	(0.65)	—	8 世紀後半か	重複関係	H-33 より新しく、H-11・15・20・21・22 より古い。
25	-9・-10	29	長方形	N-99°-E	3.54	2.98	0.16	10.55	東壁	0.55	0.54 0.70	9 世紀後半	出土遺物	H-32 より新しく、W-10 より古い。
26	-6・-7	26・27	方形か	N-93°-E	(3.50)	(2.27)	0.30	(7.95)	—	—	—	8～9 世紀前半か	重複関係	H-28 より新しく、H-15 より古い。
27	-7	26・27	方形か	N-82°-E	2.39	(1.05)	0.23	(2.51)	—	—	—	9 世紀後半	出土遺物	H-28 より新しく、D-15 より古い。
28	-7	26・27	方形か	N-97°-E	(1.45)	(1.24)	0.29	(1.80)	—	—	—	8～9 世紀前半か	重複関係	H-15・26・27 より古く、H-33 より新しい。
29	-8・-9	28・29	方形	N-99°-E	3.72	3.32	0.22	12.35	東壁	(0.60)	—	9 世紀後半	出土遺物	H-41 より新しく、H-31、W-10、D-14 より古い。
30	-8・-9	27	方形か	N-94°-E	3.66	(2.00)	0.11	(7.32)	東壁	0.25	0.36 0.56	9 世紀中～後半	出土遺物	H-41、D-22 より新しく、H-23、W-10、D-16 より古い。
31	-8	28	不明	—	(3.10)	(1.50)	0.05	(4.65)	—	—	—	9 世紀後半以後	H-29 との重複関係	H-29 より新しい。
32	-10・-11	28・29	長方形	N-105°-E	(4.18)	(1.99)	0.20	(8.32)	東壁	—	—	9 世紀後半	出土遺物	H-38 より新しく、H-25 より古い。
33	-7	27	方形か	N-93°-E	(3.37)	(2.36)	0.20	7.95	—	—	—	8 世紀後半か	重複関係	H-15・24・28・36 より古い。
34A	-10・-11	26・27	方形か	N-102°-E	(3.02)	(0.98)	0.20	(2.96)	東壁	0.51	0.88 —	9 世紀中葉	重複関係	H-34B、W-11 より古い。
34B	-10・-11	26・27	方形	N-102°-E	2.64	2.35	0.13	6.20	東壁	0.63	(0.53) (0.63)	9 世紀中～後半	出土遺物	H-34A・39・43・47 より新しく、W-11・16 より古い。
35	-9・-10	26・27	方形	N-115°-E	2.97	3.28	0.21	9.74	東壁	—	—	10 世紀後半	出土遺物	H-42、D-23 より新しく、W-10 より古い。
36	-8	27	方形か	N-112°-E	(2.45)	(1.23)	0.36	(3.01)	東壁	(0.48)	7.8 —	8 世紀末～9 世紀か	重複関係	H-33 より新しく、H-23、W-8、X-11・12 より古い。
37	-11・-12	27・28	方形か	N-103°-E	3.91	(3.36)	0.14	(13.14)	東壁	0.60	0.52 0.80	9 世紀中～後半	出土遺物	H-40・46 より新しく、H-45、D-17・20・24 より古い。
38	-11・-12	28・29	方形か	N-105°-E	3.67	(3.49)	0.20	(12.81)	—	—	—	9 世紀前半～中頃	重複関係	H-46 より新しく、H-32 より古い。

第２表　竪穴住居跡（H）観察表（2）

（　）は推定値・残存値

番号	グリッド		平面形状	主軸方向	規模（m）			床面積（㎡）	カマド（m）			時期		重複関係・備考
	X	Y			長軸	短軸	深さ		位置	奥行	燃焼部幅 焚口幅	時期	判断基準	
39	-11	26・27	方形か	N-98°-E	3.05	(2.12)	0.16	(6.47)	—	—	—	8 世紀か	重複関係	H-43・47 より新しく、H-34B・45、W-16 より古い。
40	-11	27・28	方形か	N-84°-E	(3.42)	(3.18)	0.14	(10.88)	北東壁	0.72	0.53 0.60	9 世紀 後葉	出土遺物	H-46 より新しく、H-37、D-17・20・24 より古い。
41	-9	27・28	方形か	N-83°-E	(1.77)	(1.75)	—	(3.10)	—	—	—	9 世紀後半 以前	H-29 との 重複関係	H-29・30、W-10 より古い。
42	-8・-9	26	方形か	N-74°-E	(3.65)	(2.56)	—	(9.31)	東壁	(0.55)	0.53 —	9 世紀 後半～末	出土遺物	H-35、W-10、P-19 より古い。
43	-10・ -11	25・26	方形か	N-87°-E	4.37	(3.47)	0.27	(15.16)	東壁	0.99	0.45 —	8 世紀 初頭前後	出土遺物	H-47 より新しく、H-34B・39 より古い。
44	欠　番													
45	-11・ -12	26・27	方形	N-75°-E	3.39	3.15	0.33	10.68	東壁	(0.72)	(0.32) (0.22)	9 世紀 後半～末	出土遺物	H-37・39 より新しく、D-24 より古い。
46	-11・ -12	27・28 ・29	長方形	N-109° -E	4.19	3.30	0.23	13.82	東壁	(0.71)	064 (0.63)	9 世紀 前半か	H-40 との 重複関係	H-37・38・40 より古い。
47	-10・ -11	25・26	方形	N-64°-E	4.45	3.63	—	16.15	北東壁	—	— (0.51)	7 世紀末～ 8 世紀初頭	出土遺物	H-34B・39・43 より古い。

第３表　土坑（D）観察表

（　）は推定値・残存値

番号	グリッド		平面形状	断面形状	規模（m）			底面標高（m）
	X	Y			長軸	短軸	深さ	
1	-17	28･29	楕円形	半円状	1.91	1.41	0.78	91.30
2	-16	28	円形	半円状	1.29	1.22	0.27	91.79
3	-16	28	円形	半円状	1.37	1.22	0.47	91.63
4	-16	28	円形	箱状	1.67	1.43	0.35	91.73
5	-15･-16	27･28	楕円形	半円状	1.64	(1.20)	0.54	91.63
6	-15	28	円形	箱状	0.49	0.49	0.04	92.02
7	-15	28	円形	箱状	1.36	1.25	0.14	91.89
8	-17	28	楕円形	半円状	1.34	1.12	0.25	91.74
9	-7	31	楕円形	弧状	128	1.01	0.15	91.75
10	-8	30･31	楕円形	弧状	(0.86)	0.68	0.36	91.42
11	-8	30	円形	箱状	0.88	0.78	0.46	91.36
12	-8	29	円形	階段状	1.38	1.35	0.29	91.46
13	-7	29･30	楕円形	階段状	1.24	1.05	0.30	91.33
14	-9	29	楕円形	半円状	1.54	(0.89)	0.28	91.57
15	-7	26･27	楕円形	逆台形状	0.94	0.78	0.45	91.56
16	-9	27	楕円形	箱状	1.07	0.97	0.35	91.75
17	-11	28	円形	箱状	0.75	0.70	0.24	91.85
18	-10	27	楕円形	半円状	0.80	(0.55)	0.38	91.66
19	-10	28	不明	逆台形状	2.12	(0.82)	0.37	91.69
20	-11	27･28	円形	箱状	1.52	1.48	0.25	91.82
21	-9	27	円形	半円状	1.13	0.99	0.39	91.59
22	-8･-9	26･27	不明	箱状	(1.48)	(0.65)	0.47	91.80
23	-9･-10	26･27	楕円形	弧状	1.12	(0.45)	0.25	91.75
24	-11	27	(方形)	逆台形状	2.30	(1.83)	0.40	91.42

第４表　ピット（P）観察表

（　）は推定値・残存値

番号	グリッド		平面形状	断面形状	規模（m）			底面標高（m）
	X	Y			長軸	短軸	深さ	
1	-18	29	楕円形	箱状	0.45	0.35	0.25	91.82
2	-5	32	円形	半円状	0.71	0.54	0.34	91.47
3	-8	30	円形	弧状	0.45	0.40	0.12	91.85
4	-7	30	円形	U 字状	0.43	0.39	0.39	91.55
5	-7	29	楕円形	階段状	0.65	0.48	0.15	91.34
6	-7	29	楕円形	弧状	0.46	0.40	0.11	91.44
7	-6	29	円形	U 字状？	0.37	0.36	0.11	91.31
8	-6	28	楕円形	階段状	(1.08)	0.75	0.45	91.32
9	-6	29	円形	U 字状	0.35	0.32	0.12	91.37
10	-7･-8	28	円形	箱状	0.55	0.54	0.16	91.64
11	-9	27	楕円形	U 字状	0.79	0.63	0.47	91.55
12	-10	28	円形	U 字状	0.45	0.42	0.48	91.65
13	-10	28	円形	U 字状	(0.69)	0.64	0.46	91.58
14	-8	27	楕円形	半円状	0.70	0.57	0.41	91.47
15	-8	26･27	(円形)	半円状	0.74	(0.72)	0.25	91.71
16	-8	26	ダルマ形	U 字状	0.82	0.49	0.28	91.62
17	-11	27	楕円形	U 字状	0.80	0.47	0.20	91.53
18	-10	26･27	円形	半円状	0.68	0.67	0.40	91.69
19	-8･-9	26	円形	半円状	(0.80)	0.60	0.36	91.50
20	-8	26	(円形)	U字状	0.50	(0.43)	0.23	91.62
21	-10	27	楕円形	逆台形状	(0.83)	(0.58)	0.31	91.40

第５表　井戸跡（I）観察表

（　）は推定値・残存値

番号	グリッド		構造	断面形状	平面形状	規模（m）			底面標高（m）	時期	重複関係・備考
	X	Y				長軸	短軸	深さ			
1	-8・-9	31	素掘り	階段状	円形	1.28	1.20	1.21	90.47	9 ～ 10 世紀か	W-7 より新しい。
2	-8	30	素掘り	階段状	円形	1.57	1.35	1.10	90.84	8 世紀～ 9 世紀 中頃	W-9 より新しく、H-19 より古い。
3	-8	30	素掘り	円筒状	円形	0.86	0.85	0.78	91.03	9 世紀前半～中頃	X-13 より新しく、H-19 より古い。
4	-9	30	素掘り	円筒状	円形	1.10	0.95	0.79	90.96	9 ～ 10 世紀	W-7 より新しい。I-5 と同時併存。
5	-9	30・ 31	素掘り	階段状	円形	2.20	1.90	1.82	90.07	9 ～ 10 世紀	W-7 より新しい。I-4 と同時併存。板材出土。

第６表　溝跡（W）観察表

（　）は推定値・残存値

番号	グリッド		断面形状	走行方向	規模（m）			底面標高（m）	時期・備考
	X	Y			検出長	幅	深さ（約）		
1	-14･-15	25 ～ 30	弧状	北～南（N-5°-E）	20.80	0.40 ～ 1.15	0.11 ～ 025	91.85 ～ 92.37	近世～近代
2	-4･-5	32	弧状	北西～東　N-68°-W	3.02	2.53 ～ 2.80	0.31 ～ 0.35	91.50 ～ 91.57	9 世紀
3	-4 ～ -13	30 ～ 32	逆台形状	東～西（N-77°-W）	36.00	最大 3.57 m 以上	0.69 ～ 0.93	90.94 ～ 91.24	8 世紀中葉～ 9 世紀
4	-4･-5	30	弧状	東～西（N-78°-W）	3.40	1.35 ～ 1.44	0.13 ～ 0.25	91.41 ～ 91.68	9 世紀後半以前
5	-4	30･31	弧状	北～南（N-14°-E）	4.20	最大 0.81 m 以上	0.11 ～ 0.14	91.66 ～ 91.68	9 世紀後半以前
6	-19	24	逆台形状	北西～南東（N-50°-W）	1.54	0.73 ～ 0.80	(0.55)	(91.44)	古代か
7	-7 ～ -10	30･31	逆台形状	南東～北西　N-68°W	12.35	2.05 ～ 2.65	0.12 ～ 0.49	91.40 ～ 91.60	9 世紀後半
8	-8･-9	28 ～ 31	弧状	北～南（N-9.5°-E）	11.05	0.45 ～ 0.81	0.45 ～ 0.81	91.68 ～ 91.82	近世～近代
9	-7 ～ -10	29･30	弧状	東～西 (N-91°-W)	11.40	1.96 ～ 2.23	0.21 ～ 0.29	91.52 ～ 91.71	8 世紀代
10	-10	27	逆台形状	北～南（N-19°-E）	12.50	1.30 ～ 12.40	0.22 ～ 0.24	91.62 ～ 91.75	10 世紀後半以後
11	-10･-11	27	U字状	北東～南西（N-59°-E）/ 東～西（N-88°-W）	4.38	0.45 ～ 0.60	0.16 ～ 0.23	91.86 ～ 91.93	10 世紀代
12	-13･-14	30･31	逆台形状	北～南 (N-7°-E)	4.00	(6.00)	0.70	91.35	中世
13	-13	29･30	弧状	北～南（N-3°-W）	2.05	0.70 ～ 0.80	0.12 ～ 0.28	91.44 ～ 91.63	古代
14	-14	29･30	弧状	北西～南東（N-61°-W）	1.25	0.35 ～ 0.50	0.18 ～ 0.21	91.43 ～ 91.48	古代
15	-13･-14	29･30	弧状	北西～南東（N-53°-W）	2.05	0.85 ～ 0.95	0.22 ～ 0.26	91.42 ～ 91.46	古代
16	-10･-11	26･27	弧状	北西～南東（N-53°-W）	5.33	1.24 ～ 1.56	0.05 ～ 0.12	91.78 ～ 91.85	10 世紀代

第７表　不明・その他の遺構（X）観察表

（　）は推定値・残存値

番号	グリッド		平面形状	断面形状	規模（m）			底面標高（m）	時期	重複関係・備考
	X	Y			長軸	短軸	深さ			
1	-19	29	不明	階段状	2.78	(1.59)	0.26	91.82	近世～現代	いわゆる芋穴か。H-1 より新しい。
2	-17 ～ -19	29･30	不明	V 字状	(7.15)	(1.63)	0.83	91.32	近世	堀状遺構。墨書木札出土。
3	-17･-18	29	不明	階段状	4.40	(1.38)	0.30	91.85	近世～現代	いわゆる芋穴か。
4	-18･19	28	長方形	箱状	0.80	0.54	0.25	91.80	近世～現代	いわゆる芋穴か。
5	-17	29	長方形	箱状	1.13	0.48	0.17	91.92	近世～現代	いわゆる芋穴か。
6	-16･17	29･30	不明	弧状	2.35	(1.55)	0.18	91.89	中世～近世	不定形掘り込み。
7	-19	26	長方形	箱状	2.38	0.65	0.11	92.05	近世～現代	いわゆる芋穴か。
8	-14	30	(長方形)	箱状	(1.80)	(0.98)	0.21	91.82	不明	W-12 より新しい。芋穴か。
9	-18	28	長方形	箱状	1.43	0.66	0.11	92.02	近世～現代	いわゆる芋穴か。
10	-12 ～ -14	30	楕円形	弧状	5.50	2.95	0.43	91.60	近世	W-12･13･14･15 より新しい。
11	-7･-8	26･27	不明	不明	(3.25)	(3.18)	0.40	91.84	10 世紀後半以後	屋外カマド跡か。H-23・36 より新しい。
12	-7･-8	27･28	—	不明	(2.70)	(2.60)	0.20	91.82	10 世紀後半以後	屋外カマド跡か。H-23･36 より新しい。
13	-8	30･31	不明	弧状	(3.10)	(2.80)	0.13	91.79	9 世紀	不定形掘り込み。W-7 に伴うものか。H-19、I-3 より古い。
14	-8	27･28	不明	階段状	(0.98)	(0.78)	0.20	91.80	10 世紀前半以後	埴輪片を含む屋外炉か。H-23 より新しい。

第８表　遺物観察表（1）

（　）は推定値・残存値

掲載番号	出土遺構	出土位置	種別 器種	法量（cm･g） 口径	底径	器高	残存	焼成	色調	胎土 （胎土色 / 含有物）	特徴　調整　文様　等
1	H-1	カマド	須恵器 椀	—	(7.0)	(2.4)	底部 破片	やや良好	にぶい橙色	長石　石英 白色粒　赤色粒	ロクロ成形。酸化焔焼成。高台貼付。
2	H-2	床下土坑	須恵器 椀	—	(7.4)	(2.7)	体部～底部 破片	やや良好	にぶい橙色	石英　チャート 白色粒　赤色粒	ロクロ成形(右)。酸化焔焼成。底部糸切り痕。高台貼付。
3	H-2	掘方	須恵器 椀	—	(6.9)	(2.5)	体部～底部 1/4	やや良好	にぶい橙色	石英　チャート 白色粒	ロクロ成形(左)。酸化焔焼成。底部糸切り痕。高台貼付。
4	H-3	床下土坑２	須恵器 壺	—	9.4	(3.8)	底部 破片	良好	褐灰色	長石　石英	ロクロ成形（右）。底部静止糸切り痕。 外：下部回転ケズリ。高台貼付。
5	H-3	覆土	灰釉陶器 皿	(14.0)	(6.2)	3.2	口縁～体部 1/4	良好	灰白色	断面：灰白色	外：体部下位回転ケズリ。高台貼付。 口縁～体部施釉ハケ塗り。 内：口縁～体部施釉。光が丘１号窯式期。
6	H-3	掘方	土製品 土錘	長 5.3	径 2.0	孔径 0.6	完形	良好	にぶい 黄橙色	石英　白色粒	手づくね。重量：19.2 g
7	H-4	覆土	須恵器 椀	—	5.6	(2.9)	底部 1/6	良好	灰色	長石　石英	ロクロ成形（左）。底部回転糸切り痕。 高台貼付。内面酸化。
8	H-4	貯蔵穴	土師器 坏	(12.0)	—	(2.9)	口縁～体部 1/5	良好	にぶい橙色	石英　角閃石	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。 底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
9	H-5	掘方	土師器 坏	(14.8)	—	2.8	口縁～底部 1/4	良好	にぶい橙色	角閃石　雲母 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。 底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
10	H-7	覆土	須恵器 坏	(12.0)	(7.0)	(4.1)	口縁～体部 1/4	やや不良	浅黄橙	石英　赤色粒	ロクロ成形（左）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
11	H-8	覆土	須恵器 坏	—	(7.6)	(2.4)	体部～底部 破片	良好	灰白色	石英	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。
12	H-9	カマド	土師器 坏	(12.0)	—	(2.6)	口縁～体部 1/6	良好	橙色	チャート　白色粒	外：摩耗。 内：体部指頭圧痕。摩耗。
13	H-10	掘方	須恵器 坏	(9.0)	7.2	2.1	口縁～底部 1/3	良好	にぶい橙色	石英　白色粒	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。 内：スス付着。
14	H-11	覆土	土師器 坏	(13.2)	—	3.2	口縁～底部 1/3	良好	にぶい橙色	長石　石英　雲母	外：口縁部ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 内：ナデ。体部指頭圧痕。
15	H-11	カマド掘方	土師器 坏	(12.2)	(8.2)	3.7	口縁～底部 1/2	良好	橙色	石英　角閃石 チャート　白色粒	外：口縁部ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 内：口縁～体部ヨコナデ。底部ナデ。
16	H-11	カマド	土師器 甕	—	4.8	(15.5)	胴部～底部 1/4	良好	暗赤褐色	石英　角閃石 白色粒	外：胴部ヘラケズリ。底面ヘラケズリ。 内：胴部～底部ヘラナデ。
17	H-12	覆土	須恵器 皿	(13.0)	(6.4)	2.9	口縁～底部 2/3	やや良好	灰黄色	石英　チャート 白色粒	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。 高台貼付。
18	H-12	覆土	須恵器 坏	(12.2)	5.7	3.6	口縁～底部 2/3	やや良好	にぶい 黄橙色	長石　石英　雲母 白色粒　赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部糸切り痕。
19	H-12	覆土	土師器 坏	12.4	7.8	3.5	口縁～底部 3/5	良好	にぶい橙色	石英　チャート 白色粒	燈明皿。口縁部ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 口縁～内面体部に油スス付着。 内面に細紐状の黒変。芯痕か。
20	H-12	覆土	土師器 台付甕	—	8.8	(3.4)	台部	良好	灰褐色	石英　角閃石 赤色粒	内外：回転ナデ。
21	H-12	覆土	土師器 甕	(18.9)	—	(5.5)	口縁部 破片	良好	にぶい橙色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部横位ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。頸部指頭圧痕。
22	H-12	覆土	土製品 紡錘車	上径 5.4	下径 3.3	厚 1.2	完形	良好	にぶい褐色	石英　白色粒	ロクロ成形。酸化焔焼成。 上面ナデ。側面回転ケズリ。下面ナデ。下面に糸痕。 孔径 0.9cm。重量 53.3g
23	H-13	覆土	須恵器 椀か	—	(7.4)	(2.5)	体部～底部 1/4	良好	灰色	長石　石英	ロクロ成形（右）。高台貼付。
24	H-13	カマド	土師器 坏	(12.0)	—	(2.6)	口縁～体部 1/8	良好	にぶい橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。底部ヘラケズリか。 内：摩耗。
25	H-14	床面	須恵器 皿	13.6	(7.8)	2.4	体部～底部 1/2	やや良好	灰色	長石　石英	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成気味。底部回転糸切り痕。 高台貼付。
26	H-14	床面	須恵器 皿	13.9	6.7	2.9	口縁～底部 3/4	やや不良	にぶい 黄橙色	石英　チャート 赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 回転糸切り痕。高台貼付。
27	H-14	貯蔵穴	土師器 坏	(12.0)	(8.0)	(3.2)	口縁～底部 1/3	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ヘラケズリ。 内：摩耗。体部指頭圧痕。
28	H-14	床面	土師器 甕	(18.5)	—	(3.7)	口縁部 破片	良好	橙色	石英　チャート 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部横位ヘラケズリ。 内：口縁～頸部ヨコナデ。
29	H-15	覆土	須恵器 椀	—	6.4	(3.7)	体部～底部 1/3	良好	にぶい 黄橙色	石英　チャート 白色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 高台貼付。 見込みと高台内に焼成後線刻「井」。
30	H-15	床面	須恵器 坏	12.0	7.2	3.7	ほぼ完形	良好	灰白色	長石　白色粒 黒色粒	ロクロ成形（右）。　底部回転ヘラ切り痕。

第９表　遺物観察表（2）

（　）は推定値・残存値

掲載番号	出土遺構	出土位置	種別 器種	法量（cm･g） 口径	底径	器高	残存	焼成	色調	胎土 （胎土色 / 含有物）	特徴　調整　文様　等
31	H-15	カマド	土師器 坏	(12.0)	—	(3.8)	口縁～底部 2/5	良好	にぶい 赤褐色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。 底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部指頭圧痕・ナデ。
32	H-15	カマド	土師器 坏	(12.0)	(10.0)	3.5	口縁～底部 1/2	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。 底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ナデ。
33	H-15	覆土	土師器 坏	(11.0)	(8.6)	(3.7)	口縁～底部 1/3	良好	にぶい 赤褐色	石英　チャート 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。 底部ヘラケズリ。 内：口縁部ナデ。体部指頭圧痕。
34	H-15	床面	土師器 坏	11.3	—	3.3	口縁～底部 3/4	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。 底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ナデ。
35	H-15	掘方	石製品 紡錘車	上径 5.2	下径 3.0	厚 1.2	ほぼ完形	—	にぶい 赤褐色	—	上面に敲打痕。上下面に擦痕。 孔径 0.7cm。重量 38.5g。石材：緑色凝灰岩か。
36	H-15	覆土	金属製品 刀子	長 (11.4)	幅 (1.0)	厚 (0.3)	4/5	—	—	—	重量 24.0 g。
37	H-17	覆土	土師器 坏	(12.8)	—	(3.4)	口縁～底部 破片	良好	にぶい橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 内：口縁～体部ヨコナデ。
38	H-17	覆土	土師器 甕	(20.0)	—	(5.1)	口縁部 破片	良好	にぶい橙色	石英　雲母 白色粒　赤色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部横位ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
39	H-17	覆土	土製品 紡錘車	上径 7.5	下径 4.8	厚 3.8	完形	良好	にぶい 黄橙色	チャート　白色粒	酸化焔焼成。上・下・側面ヘラケズリ。 重量 215.8 g。孔径 0.8cm。
40	H-19	貯蔵穴	須恵器 蓋	16.9	天井 7.8	2.3	完形	良好	黄灰色	長石　石英 雲母片岩	ロクロ成形（右）。天井部回転糸切り痕。
41	H-19	覆土	須恵器 椀	(16.0)	6.7	5.7	口縁～底部 1/2	良好	灰白色	角閃石　白色粒	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。 高台貼付。
42	H-19	貯蔵穴	土師器 甕	(20.0)	—	(8.5)	口縁～胴部 破片	良好	灰褐色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部横位ヘラケズリ。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
43	H-20	覆土	須恵器 坏	(14.0)	(9.3)	4.0	口縁～底部 1/5	良好	灰白色	長石　チャート 白色粒　黒色粒	ロクロ成形（右）。底部回転ヘラ切り後ヘラ調整。 外：下部回転ケズリ。自然釉。
44	H-21	掘方	須恵器 蓋	(16.8)	—	(2.0)	口縁～体部 1/5	やや良好	灰色	長石　石英 白色粒　黒色粒	ロクロ成形（右）。
45	H-21	覆土	須恵器 坏	12.8	5.9	3.9	口縁～底部 2/3	良好	褐灰色	長石　石英 白色粒　雲母片岩	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。
46	H-21	覆土	土師器 坏	11.8	—	3.3	口縁～底部 2/3	良好	明褐色	石英　チャート 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部ナデ。底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。体部墨書「　」
47	H-23	床面	須恵器 坏	9.7	4.2	3.4	ほぼ完形	やや良好	にぶい橙色	石英　チャート 白色粒　赤色粒	ロクロ成形(右)。酸化焔焼成。底部回転糸切り後ナデか。
48	H-23	床面	須恵器 坏	9.8	5.0	3.6	口縁～底部 5/6	やや良好	にぶい 黄橙色	石英　白色粒 赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
49	H-23	カマド	須恵器 椀	10.6	6.2	4.8	口縁～底部 1/2	やや不良	橙色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。底部回転糸切り。高台貼付。
50	H-23	床面	黒色土器 椀	(19.0)	10.9	8.4	口縁～底部 1/2	良好	にぶい橙色	石英　白色粒 赤色粒	ロクロ成形。酸化焔焼成。体下部回転ケズリ。底部回転糸切り。 高台貼付。高台内に紐状黒変痕。
51	H-23	覆土・ カマド	土師器 高台付皿	17.2	—	(3.6)	口縁～体部 1/2	やや良好	灰褐色	長石　石英 角閃石　赤色粒	雑な輪積み成形。外：口縁～体部ヨコナデ。 内：口縁部ヨコナデ。体部ナデ。 X-11 出土遺物と接合。
52	H-23	床面・ カマド	羽釜	(21.8)	—	(10.7)	口縁～胴部 1/8	良好	にぶい褐色	石英　角閃石 骨針	ロクロ成形。酸化焔焼成。
53	H-23	カマド	羽釜	(19.0)	—	(20.0)	口縁～胴下 半部 破片	やや不良	にぶい橙色	石英　チャート 白色粒	ロクロ成形。酸化焔焼成。 外：胴下位ヘラケズリ。鍔を意図的に打ち欠く。
54	H-23	床面	土師器 甑	(23.6)	—	(11.8)	口縁～胴部 破片	良好	明赤褐色	石英　白色粒 赤色粒	酸化焔焼成。 外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ナデ。胴部ヘラナデ。
55	H-23	カマド	土師器 甑	(28.2)	(21.0)	20.9	口縁～底部 1/2	やや良好	暗褐色	石英　角閃石 チャート　白色粒	輪積み成形。 外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
56	H-24	覆土	石製品 紡錘車	上径 8.5	下径 8.0	厚 2.4	完形	—	にぶい 黄橙色	—	孔径 1.0cm。重量 166.4g。石材：安山岩。
57	H-25	貯蔵穴	須恵器 坏	12.6	6.4	3.6	口縁～底部 3/4	良好	灰色	石英　白色粒 片岩	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。
58	H-25	床面	須恵器 坏	13.8	6.7	4.3	ほぼ完形	やや良好	灰黄色	石英　角閃石 チャート　雲母	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成気味。底部回転糸切り痕。
59	H-25	床面	土師器 坏	11.7	8.0	4.1	口縁～底部 3/4	やや良好	にぶい橙色	石英　チャート 赤色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ナデ。制作時の線条痕残る。 内：口縁～底部ナデ。
60	H-25	床面	土師器 転用坏か	12.5	—	4.3	仮口縁～ 底部	良好	にぶい 黄橙色	石英　角閃石 チャート	外：上端は縦位のハケ。下部は斜位のハケ。 内：上端ヘラナデ。下位は棒状工具によるナデ。甕底部の転用か。

第 10 表　遺物観察表（3）

（　）は推定値・残存値

掲載番号	出土遺構	出土位置	種別 器種	法量（cm･g） 口径	底径	器高	残存	焼成	色調	胎土 （胎土色 / 含有物）	特徴　調整　文様　等
61	H-25	床面	土師器 甕	(22.4)	—	(11.4)	口縁～胴部 破片	やや良好	橙色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部横～斜位のヘラケズリ。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
62	H-25	堀方	石製品 紡錘車	上径 4.8	下径 3.8	厚 1.8	完形	—	—	—	上面：同心円状製作痕。側面：縦位線刻。 下面：製作時敲打痕。熱ハゼ。 石材：緑色片岩。重量：66.5g。
63	H-25	覆土	石製品 砥石	長 5.9	幅 4.3	厚 2.1	ほぼ完形	—	浅黄色	—	上部に穿孔２ヶ所。石材：凝灰岩。重量 74.9g。
64	H-27	覆土	須恵器 坏	(12.2)	(5.2)	3.9	口縁～底部 1/3	良好	灰白色	石英　赤色粒	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。 D-15 出土遺物と接合。
65	H-27	覆土	須恵器 椀	13.7	6.1	5.5	口縁～底部 3/5	やや良好	にぶい 黄橙色	長石　石英 角閃石チャート	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。底部回転糸切り痕。 高台貼付。
66	H-29	覆土	土師器 坏	(12.0)	9.0	3.2	口縁～底部 1/2	良好	にぶい褐色	石英　角閃石 チャート	外：口縁部ヨコナデ。体部ナデ。底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。体部指頭圧痕。
67	H-29	覆土	土師器 甕	(21.0)	—	(7.1)	口縁部 破片	良好	にぶい橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部横位ヘラケズリ。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
68	H-30	覆土	須恵器 蓋	(17.6)	3.0	3.3	ツマミ～ 口縁部 2/3	やや良好	浅黄色	長石　白色粒 赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成気味。天井部回転糸切り 後ツマミ貼付。体上部回転ケズリ。
69	H-30	覆土	灰釉陶器 椀	(16.8)	(8.4)	6.1	口縁～底部 1/2	良好	灰黄褐色 明オリーブ 灰色	断面　灰白	ロクロ成形。 外：体下部回転ケズリ。高台貼付。 施釉漬け掛け。光が丘１号窯式期。
70	H-30	覆土	土師器 坏	12.0	8.8	3.3	口縁～底部 5/6	良好	橙色	石英　チャート 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。体部指頭圧痕。
71	H-30	覆土	土師器 坏	12.3	8.6	3.1	口縁～底部 1/2	良好	橙色	石英　角閃石 チャート	外：口縁部ヨコナデ。体部ナデ。底部ヘラケズリ。 内：口縁にヘラ痕。口縁～底部ナデ。
72	H-32	床面	須恵器 椀	14.2	6.2	5.2	口縁～底部 2/3	やや不良	にぶい 黄橙色	石英　角閃石 チャート	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り。高台貼付。
73	H-32	床面	須恵器 椀	(14.5)	7.2	4.9	口縁～底部 2/3	やや良好	にぶい 黄橙色	石英　角閃石 チャート　白色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成気味。 底部回転糸切り痕。高台貼付。黒斑あり。
74	H-32	掘方	須恵器 椀	13.6	6.4	5.0	完形	良好	灰白色	石英　角閃石 チャート　白色粒	ロクロ成形（右）。 底部回転糸切り痕。高台貼付。
75	H-32	掘方	灰釉陶器 椀？	(16.5)	—	(3.6)	口縁～体部 破片	良好	灰オリーブ 色	断面　灰白	ロクロ成形。内外面全面施釉。光が丘１号窯式期か。
76	H-32	覆土	土師器 甕	(20.4)	—	(18.0)	口縁～胴部 1/4	良好	橙色	石英　角閃石 チャート	外：口縁直下に沈線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラ ケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。頸部指頭圧痕。胴部ナデ。
77	H-32	覆土	土師器 台付甕	(13.1)	8.6	17.1	口縁～台部 1/2	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	台部ロクロ成形。外：口縁部ヨコナデ。頸部指頭圧痕。 胴部ヘラケズリ。下半にスス付着。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴～底部ヘラナデ。
78	H-32	覆土	土製品 土錘	長 (3.7)	径 1.2	孔径 0.5	2/3	良好	にぶい 黄橙色	長石　チャート	重量 4.9g。
79	H-34A	カマド	土師器 甕	(20.0)	—	(25.5)	口縁～胴部 1/5	良好	橙色	石英　角閃石 チャート　赤色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。灰白色粘 土付着。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
80	H-34B	掘方	須恵器 坏	(12.6)	7.1	4.1	口縁～底部 2/3	良好	にぶい 黄橙色	角閃石　雲母	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り後、ナデ。
81	H-34B	掘方	須恵器 椀	(13.6)	7.5	4.6	口縁～底部 2/3	良好	にぶい 黄橙色	石英　雲母 赤色粒　雲母片岩	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。高台を雑に貼付。
82	H-34B	床面	土師器 坏	11.8	8.3	3.4	口縁～底部 7/8	良好	橙色	石英　角閃石	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ヘラケズリ。 内：口縁部ナデ。体部指頭圧痕。底部ナデ。
83	H-34B	床面	土師器 甕	17.8	—	(8.6)	口縁～胴部 1/5	良好	橙色	石英　角閃石 赤色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
84	H-34B	カマド	土師器 甕	(12.6)	—	(11.3)	口縁～胴部 1/6	良好	にぶい 赤褐色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	外：口縁部ヨコナデ。頸部指頭圧痕。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。頸部指頭圧痕。胴部ヘラナデ。
85	H-35	覆土	須恵器 坏	9.5	5.3	2.7	口縁～底部 3/4	良好	橙色	石英　白色粒 赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
86	H-35	覆土	須恵器 皿	11.1	5.9	2.1	口縁～底部 5/6	やや良好	にぶい 黄橙色	チャート　雲母 白色粒　赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
87	H-35	覆土	黒色土器 椀	12.0	6.4	4.7	完形	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	ロクロ成形（左）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。高台貼付。内面黒色処理。
88	H-35	床面	灰釉陶器 段皿	12.8	7.2	2.4	口縁～底部 3/4	良好	灰白色	断面　灰白	ロクロ成形。高台貼付。施釉漬け掛け。 虎渓山１号窯式期。
89	H-35	掘方・ 床下土坑	羽釜	(20.0)	—	(24.6)	口縁～胴部 1/8	良好	暗赤褐色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内:口縁部ヨコナデ。胴部上半ヘラナデ。下半ユビナデ。
90	H-35	壁際	土製品 土錘	長 5.1	径 2.2	孔径 0.7	完形	良好	にぶい 黄橙色	石英　角閃石 白色粒	重量 16.0g。

第 11 表　遺物観察表（4）

（　）は推定値・残存値

掲載番号	出土遺構	出土位置	種別 器種	法量（cm・g） 口径	底径	器高	残存	焼成	色調	胎土 （胎土色 / 含有物）	特徴　調整　文様　等
91	H-35	覆土	金属製品 刀子か	長 21.2	幅 1.8	厚 0.65	完形	—	—	—	片刃の刀子か。身厚。 重量 53.0g。
92	H-37	覆土	須恵器 坏	(13.3)	7.6	3.1	口縁～底部 1/3	良好	灰色	長石　チャート 白色粒	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。
93	H-37	覆土	土師器 坏	(11.4)	(8.0)	3.2	口縁～底部 1/4	良好	橙色	石英　角閃石 チャート	外：口縁部ナデ。体部指頭圧痕。底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ナデ。
94	H-38	覆土	土師器 坏	12.0	10.0	3.2	口縁～底部 3/5	良好	にぶい橙色	長石　石英　雲母	外：口縁部ヨコナデ。体部ナデ。底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
95	H-39	掘方	土師器 坏	12.4	—	(3.2)	口縁～底部 1/2	良好	にぶい橙色	石英　チャート 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部～底部ナデ。
96	H-40	覆土	須恵器 坏	12.2	7.0	3.9	口縁～底部 2/3	やや良好	浅黄色	石英　白色粒 小礫	ロクロ成形（左）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
97	H-40	覆土	須恵器 甕	(24.5)	—	(10.0)	口縁～肩部 破片	良好	灰色	長石　チャート 白色粒	ロクロ成形。
98	H-40	床面	土師器 坏	11.6	9.0	3.2	口縁～底部 4/5	良好	橙色	石英　角閃石 チャート	外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。体部～底部ナデ。
99	H-40	カマド	土師器 甕	(21.6)	—	(6.7)	口縁～胴部 破片	良好	橙色	石英　角閃石 チャート	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部横位ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。
100	H-42	カマド	土師器 坏	11.8	8.1	4.1	完形	良好	明赤褐色	石英　角閃石	粗雑な輪積み成形。分厚い。外：口縁部ヨコナデ。体部指頭圧痕。底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
101	H-42	掘方	土師器 甕	(25.0)	—	11.7	口縁～胴部 破片	良好	灰褐色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。頸部～胴部ヘラナデ。
102	H-43	覆土	土師器 坏	(12.0)	—	2.8	口縁～底部 1/4	良好	にぶい橙色	石英　角閃石 チャート　白色粒	外：口縁部ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
103	H-43	掘方	土師器 台付椀か	(7.6)	—	(6.2)	口縁～底部 1/5	良好	橙色	石英　角閃石 チャート　白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部ナデ。
104	H-43	堀方	土製品 土錘	長 (3.9)	径 1.8	孔径 0.6	1/2	—	—	石英　角閃石 白色粒	重量 12.4g。
105	H-43	焼土範囲内	土師器 甕	20.3	—	25.9	口縁～胴部 1/3	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
106	H-45	カマド	須恵器 椀	14.5	6.5	5.2	ほぼ完形	やや良好	灰黄褐色	石英　赤色粒 雲母片岩	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。高台貼付。内面摩滅。
107	H-45	覆土	須恵器 椀	13.6	6.2	5.4	ほぼ完形	良好	にぶい 黄橙色	石英　チャート 白色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。高台貼付。内外面口縁に油煙付着。
108	H-45	カマド	土師器 甕	(19.4)	—	(8.5)	口縁～胴部 破片	良好	にぶい 赤橙色	石英　角閃石 チャート	外：口縁直下に沈線。頸部指頭圧痕・ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ハケナデ。
109	H-45	覆土	土製品 土錘	長 (5.8)	径 2.4	孔径 0.7	3/4	良好	にぶい 黄橙色	石英　チャート 白色粒	中央部上下方向にヘラケズリ。重量 31.2g。
110	H-46	覆土	須恵器 坏	12.1	6.7	3.9	ほぼ完形	やや良好	灰白色	石英　チャート 白色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成気味。 底部回転糸切り痕。
111	H-46	覆土	金属製品 鎌	長 (12.3)	幅 4.1	厚 0.45	3/4	—	—	—	基部折り返し。重量 73.6g。
112	H-47	堀方	土師器 坏	(15.8)	—	5.0	口縁～底部 1/4	良好	にぶい 赤褐色	石英　雲母	外：口縁部ヨコナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁～体部ヨコナデ。底部ユビナデ。
113	H-47	覆土	土師器 甕	(23.8)	—	(23.6)	口縁～胴部 1/8	やや良好	にぶい橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。下半摩耗。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
114	W-2	覆土	須恵器 椀	(14.4)	(6.4)	5.2	口縁～底部 1/5	やや不良	にぶい 黄橙色	石英　白色粒 赤色粒	ロクロ成形。酸化焔焼成。高台貼付。
115	W-2	覆土	須恵器 椀	—	7.2	(2.3)	体部～底部 1/3	やや不良	褐灰色	石英　雲母 白色粒	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。高台貼付。 高台に縄・棒状の圧痕。
116	W-3	覆土	須恵器 坏	12.5	7.0	3.7	口縁～底部 1/2	良好	灰色	石英　白色粒	ロクロ成形（右）。 底部回転糸切り痕。
117	W-3	南縁辺 遺物集中部	須恵器 椀	17.0	11.7	4.9	口縁～底部 3/4	良好	灰白色	石英　角閃石 黒色粒	ロクロ成形（右）。体下部回転ヘラケズリ。 底部回転ヘラ切り。高台貼付。
118	W-3	覆土	須恵器 椀	(16.0)	(9.5)	8.0	口縁～底部 1/4	良好	灰色	チャート　白色粒	ロクロ成形。高台貼付。
119	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 坏	11.5	5.0	3.4	口縁～底部 3/4	良好	橙色	石英　角閃石 赤色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部～底部ナデ。
120	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 坏	12.5	3.0	4.9	完形	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部～底部ナデ。

第 12 表　遺物観察表（5）

（　）は推定値・残存値

掲載番号	出土遺構	出土位置	種別器種	法量（cm･g）			残存	焼成	色調	胎土（胎土色 / 含有物）	特徴　調整　文様　等
				口径	底径	器高					
121	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 坏	11.7	—	4.5	ほぼ完形	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。体部～底部ナデ。
122	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 坏	11.4	—	3.1	ほぼ完形	やや良好	明赤褐色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
123	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 坏	11.8	—	4.1	完形	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
124	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 甕	(23.5)	—	(18.8)	口縁～胴部 1/6	良好	橙色	石英　チャート 白色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
125	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 甕	22.6	—	(22.0)	口縁～胴部 1/4	良好	橙色	石英　チャート 白色粒	外：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
126	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 甕	(24.6)	—	(34.4)	口縁～胴部 2/3	良好	にぶい褐色	石英　角閃石 白色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
127	W-3	南縁辺 遺物集中部	土師器 甕	22.9	—	30.5	口縁～胴部 1/3	良好	橙色	石英　角閃石 赤色粒　黒色粒	外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
128	W-4	覆土	須恵器 坏	(13.0)	(7.8)	3.7	口縁～底部 1/8	良好	灰黄色	白色粒　黒色粒	ロクロ成形。底部回転ヘラ切り後回転調整。
129	W-9	覆土	土師器 坏	14.2	—	3.8	口縁～底部 2/3	良好	橙色	石英　角閃石 チャート	外：口縁部ヨコナデ。体部～底部ヘラケズリ。 内：口縁～底部ナデ。
130	W-10	覆土	須恵器 坏	(10.8)	6.0	2.5	口縁～底部 2/3	良好	にぶい橙色	角閃石　雲母 白色粒　赤色粒	ロクロ成形（左）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
131	W-10	覆土	須恵器 坏	11.5	6.0	3.4	完形	良好	にぶい橙色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
132	W-10	覆土	須恵器 坏	(10.6)	5.1	2.6	口縁～底部 3/4	良好	にぶい橙色	石英　角閃石 白色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
133	W-10	覆土	須恵器 坏	15.1	7.8	4.4	完形	良好	にぶい 黄橙色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
134	W-10	覆土	須恵器 坏	—	6.2	(3.0)	体部～底部 1/2	良好	褐灰色	チャート 白色粒　黒色粒	ロクロ成形（右）。底部回転糸切り痕。 内外面火襷。H-30 出土遺物と接合。
135	W-10	覆土	須恵器 椀	10.7	6.8	4.9	口縁～底部 4/5	良好	橙色	石英　雲母 白色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。高台貼付。
136	W-10	覆土	須恵器 椀	(10.4)	(6.5)	4.8	口縁～底部 1/2	良好	灰色	チャート　白色粒	ロクロ成形（右）。体部下位回転ケズリ。高台貼付。
137	W-10	覆土	緑釉陶器 椀	(13.0)	(6.6)	4.6	口縁～底部 1/3	良好	灰オリーブ 色	断面　灰	ロクロ成形。高台貼付。外：下部回転ケズリ。全面に緑釉ハケ塗り。 内：全面に緑釉。虎渓山 1 号窯式期か。
138	W-10	覆土	須恵器 甕	—	6.5	(4.9)	底部 破片	良好	灰色	角閃石　白色粒	外：ヘラケズリ。底面ヘラナデ。 内：回転ナデ。
139	W-10	覆土	羽釜	(26.0)	—	(11.2)	口縁～胴部 1/5	良好	にぶい 赤褐色	石英　白色粒 骨針	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。
140	W-10	覆土	土釜	14.3	(10.6)	14.1	口縁～底部 1/3	やや良好	にぶい褐色	石英　雲母 赤色粒	酸化焔焼成。 外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。底部ユビナデ。
141	W-10	覆土	土釜	(21.0)	—	(12.3)	口縁～胴部 1/8	良好	灰褐色	石英　角閃石 チャート　白色粒	酸化焔焼成。 外：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内：口縁部ヨコナデ。頸部～胴部ヘラナデ。
142	X-11	構築面	須恵器 坏	9.6	6.0	2.7	ほぼ完形	良好	橙色	石英　角閃石 赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
143	X-11	構築面	須恵器 坏	9.4	5.3	2.7	ほぼ完形	良好	橙色	石英　角閃石 赤色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成。 底部回転糸切り痕。
144	X-11	構築面	須恵器 椀	15.4	7.2	5.5	口縁～底部 1/2	良好	灰白色	石英　角閃石 赤色粒　黒色粒	ロクロ成形（右）。酸化焔焼成気味。 底部回転糸切り。高台貼付。
145	X-11	構築面	羽釜	(22.9)	—	(8.6)	口縁～胴部 破片	良好	にぶい橙色	長石　石英 角閃石 片岩　骨針	酸化焔焼成。外：口縁部ヨコナデ。胴部指頭圧痕・ナデ。 内：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。
146	X-12	構築面	羽釜	(20.6)	—	(9.7)	口縁部 破片	良好	橙色	石英　角閃石 白色粒　赤色粒	酸化焔焼成。 鍔・胴部は一部ナデ。大部分未調整。
147	X-14	炉内	円筒埴輪	—	—	(24.6)	円筒部 破片	良好	橙色	長石　チャート	円孔 1 ヶ所。二次的被熱。
148	H-35	覆土	鉄滓	長 8.3	幅 8.8	厚 6.2	—	—	—	—	重：399.9g。写真のみ掲載。

A区
X-19
X-18
X-17
X-16
X-15
X-14
Y25
Y26
Y27
Y28
Y29
Y30
Y31
基本土層①
基本土層③
W-6
トレンチ
カクラン
試掘トレンチ
W-1
X-7
X-4
X-9
X-3
X-1
X-2
X-5
X-6
X-8
W-12
H-1
P-1
D-1
D-2
D-3
D-4
D-5
D-6
D-7
D-8
As-B 残存範囲
耕作痕検出範囲
0
1：160
4m

第６図　分割図１

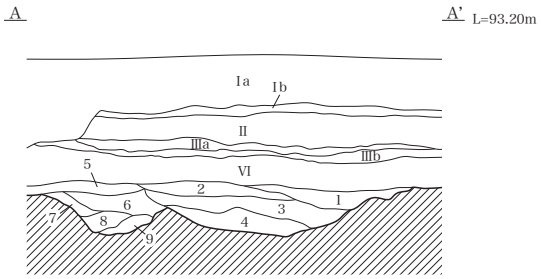
B区
X-14
X-13
X-12
X-11
X-10
X-9
X-8
基本土層②
カクラン
試掘トレンチ
As-B範囲
耕作痕範囲
W-1
W-3
W-7
W-8
W-9
W-10
W-11
W-12
W-13
W-14
W-15
W-16
X-8
X-10
H-19
H-25
H-29
H-30
H-31
H-32
H-34A
H-34B
H-35
H-37
H-38
H-39
H-40
H-41
H-42
H-43
H-45
H-46
H-47
D-14
D-16
D-17
D-18
D-19
D-20
D-22
D-23
D-24
P-11
P-12
P-13
P-17
P-18
P-19
P-21
I-1
I-4
I-5
92.05
92.00
92.10
92.15
0
1：160
4m
1
2
3

第７図　分割図２

0　1：160　4m

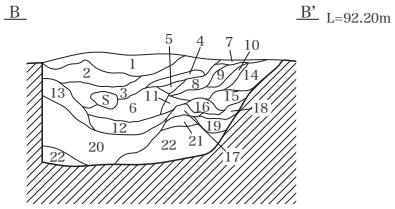
第８図　分割図３

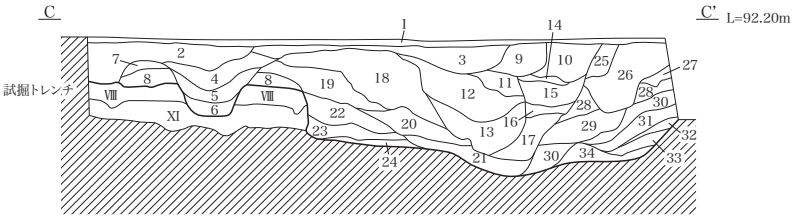
W−2



W−2
Ⅰa　黄灰色　表土層。
Ⅰb　褐灰色　粘性やや強、しまりやや強。黒褐色シルトの混土。
Ⅱ　にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや弱。水田床土。
Ⅲa　灰黄褐色　いわゆるB混土。粘性やや弱、しまりやや弱。酸化鉄分多く含む。
Ⅲb　As-B混土　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
Ⅵ　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土粒・炭化物少量含む。遺物包含。
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量含む。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
4　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒少量含む。
5　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰色シルトブロック・焼土粒微量含む。
6　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルトブロック少量含む。
8　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトブロックやや多量、焼土粒微量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。

W−3(1)

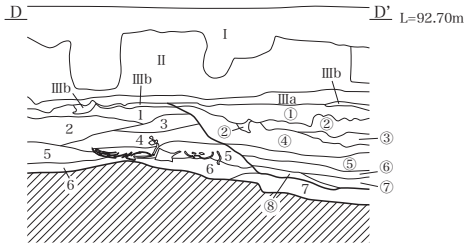


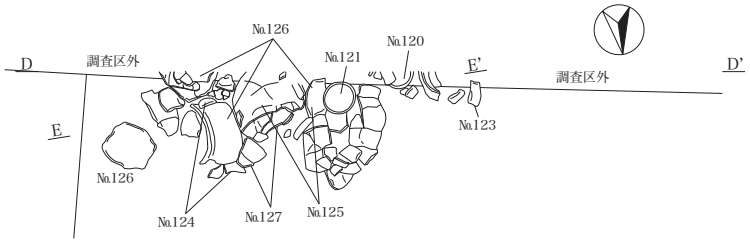


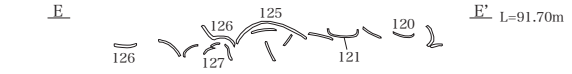
W−3　断面B
1　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、灰黄色シルトブロック・焼土・炭化物少量含む。
2　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。褐色シルトブロック・黒色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4　明黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒微量含む。
5　灰白色シルトと黒色シルトの混合土。粘性やや弱、しまりやや強。
6　灰白色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄少量含む。
7　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
8　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。灰色シルトブロック・焼土・炭化物少量含む。
9　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
10　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。灰色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
11　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。黒褐色シルトやや少量含む。
12　灰白色　粘性やや弱、しまりやや弱。部分的に酸化。
13　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト少量含む。部分的に酸化。
14　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。
15　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰色シルトやや少量、焼土・炭化物微量含む。
16　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルトやや少量含む。
17　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量含む。
18　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。
19　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルト少量含む。
20　灰白色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色砂やや少量含む。部分的に酸化。
21　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。部分的に酸化。
22　にぶい黄橙色シルトと灰色砂の互層。粘性やや弱、しまりやや弱。

W−3　断面C
1　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。As-B・酸化鉄分やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色シルト粒・焼土・炭化物少量含む。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色シルト粒少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物少量含む。
5　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄橙色シルトやや少量、焼土・炭化物微量含む。
7　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。黒褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルト・焼土・炭化物微量含む。
9　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分少量、焼土・炭化物微量含む。
10　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黒褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
11　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分やや少量含む。
12　浅黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。酸化鉄分・褐色シルト少量含む。
13　灰白色　粘性やや弱、しまりやや弱。酸化鉄分少量含む。
14　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。酸化鉄分少量、褐色シルト微量含む。
15　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。酸化鉄分少量含む。
16　にぶい黄褐色シルトと灰白色シルトの混土。粘質シルト。粘性やや弱、しまりやや弱。
17　灰白色　粘性やや弱、しまりやや弱。酸化鉄分少量含む。13層と同質。
18　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。
19　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルト粒・焼土・炭化物微量含む。
20　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトやや多量。
21　灰黄褐色粘質シルトと灰黄褐色粘質シルトの互層。粘質シルト。粘性やや強、しまりやや弱
22　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。暗褐色シルト斑状に混入。
23　灰白色粘質シルトとにぶい黄橙色砂の互層。粘性やや弱、しまり弱。
24　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。黄橙色シルトブロック少量含む。
25　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土ブロック・炭化物少量、酸化鉄分微量含む。
26　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分微量含む。
27　灰白色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分少量含む。
28　浅黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分やや多量含む。
29　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。暗褐色シルトと灰白色シルトの混土。酸化鉄分多量含む。
30　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分やや少量含む。遺物集中出土層。
31　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分少量含む。遺物集中出土層。
32　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色砂少量含む。
33　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分少量含む。31層と同質。
34　灰黄褐色粘土。粘性強、しまり弱。

W−3(2)・W−12







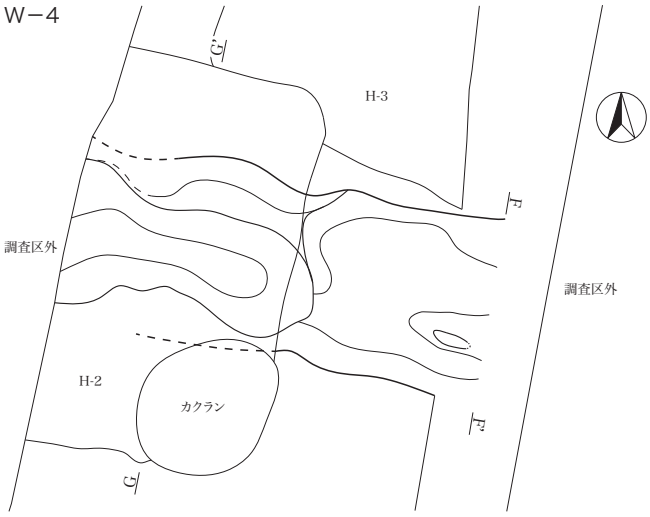
W−3　断面D
Ⅰ　表土層。
Ⅱ　近世〜近代　耕作土。
Ⅲa　As-B混土　酸化鉄分多く含む。
Ⅲb　As-B混土　褐灰色。
1　黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分やや多量、焼土粒・炭化物微量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物微量含む。
3　灰白色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分少量含む。
4　にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物微量含む。
5　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分やや少量含む。遺物集中出土層。
6　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分少量含む。遺物集中出土層。
7　灰黄褐色粘土　粘性強、しまり弱。

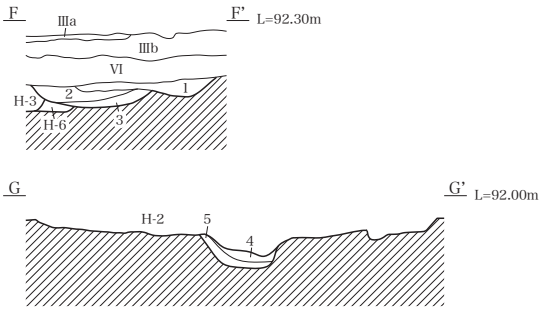
W−12
①　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。As-B少量含む。
②　灰褐色　粘性弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロックやや少量、Ⅵ層ブロック少量含む。
③　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルト少量含む。
④　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物微量含む。
⑤　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。Ⅵ層ブロック少量含む。
⑥　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。
⑦　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。Ⅵ層ブロック少量含む。
⑧　明黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。黄橙色砂質シルト少量、黒褐色シルト微量含む。

0　1：30　1m　0　1：60　2m

第9図　W−2・3・12号溝跡断面図

W−4

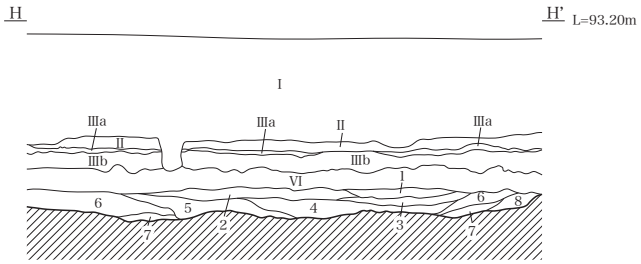




Ⅰ　黄灰色　表土層。
Ⅱ　暗黄灰色　近世〜近代　耕作土。
Ⅲa　As-B 混土　酸化鉄分多く含む。
Ⅲb　褐灰色　As-B 混土。
Ⅵ　灰黄褐色　古代包含層

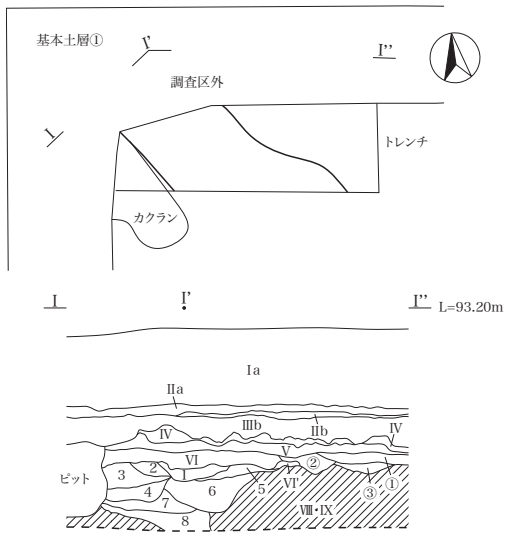
W－4
1　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
3　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物微量含む。
4　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
5　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄灰色シルトブロック（As-YP ブロック？）少量含む。

W−5



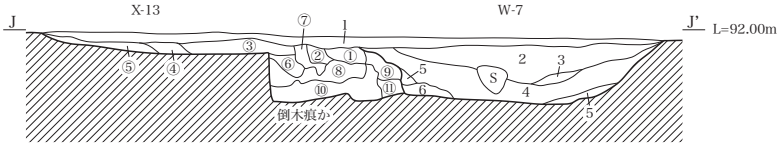
W－5
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物やや少量、黄橙色シルトブロック・焼土少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・焼土・炭化物少量含む。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルトブロック・焼土・炭化物少量含む。
6　黒色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルト粒・焼土・炭化物少量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルト粒・焼土・炭化物少量含む。

W−6



W－6
Ⅰa　黄灰色　粘性やや強、しまりやや強。酸化鉄分少量含む。
Ⅱa　暗灰黄色　粘性やや強、しまりやや強。酸化鉄分やや多量含む。
Ⅱb　オリーブ色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分やや多量含む。
Ⅲb　灰褐色　As-B 混土　粘性やや弱、しまりやや弱。As-B やや多量含む。焼土・炭化物微量含む。
Ⅳ　黒褐色　As-B 層　粘性弱、しまり弱。焼土・炭化物微量含む。部分的に撹拌される。
Ⅴ　灰褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。古代耕作土。
Ⅵ　灰赤色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
Ⅵ'　撹拌されたⅥ層
Ⅷ　黒色　粘性やや弱、しまりやや強。上部に灰白色軽石粒やや少量・焼土粒少量含む。
Ⅸ　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。暗褐色シルトと黄褐色〜黄橙色シルトブロックの混土。
1　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物微量含む。上面に黄灰色シルトブロック混入。
2　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。黄灰色シルトブロック・焼土・炭化物微量含む。
3　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄灰色シルトブロックやや少量、焼土微量含む。
4　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物微量含む。
5　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。黒褐色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。上面に黄灰色シルトブロック混入。
6　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰褐色シルト少量含む。
7　黒褐色　粘性やや強、しまり弱。黄橙色シルト微量含む。
8　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄橙色シルトやや少量含む。遺物出土。
①　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。溝か。
②　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。溝か。
③　暗灰黄色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。焼土・炭化物少量含む。溝か。

W−7(1)・X−13



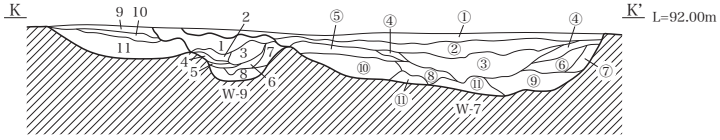
W－7
1　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物少量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
4　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色 FA 泥流ブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
6　黒褐色シルトと褐色シルトの混土。粘性やや強、しまりやや弱。

X−13
①　黄褐色　粘性やや強、しまり弱。黄褐色シルト・焼土・炭化物少量含む。
②　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄橙色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
③　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒（As-C）少量、焼土・炭化物微量含む。
④　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒（As-C）微量含む。
⑤　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒（As-C）少量、焼土・炭化物微量含む。
⑥　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒（FA）微量含む。
⑦　灰黄褐色シルトと黄褐色シルトの混土。粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒(FA)少量含む。
⑧　明黄褐色砂質シルトと黄褐色シルトの混土。粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒（FA）やや少量含む。FA 泥流ブロックか。
⑨　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒（FA）やや少量、黄褐色シルトブロック少量含む。
⑩　暗オリーブ褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量含む。黒色シルト斑状に混じる。
⑪　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒微量含む。

0　1：60　2m

第 10 図　W − 4 〜 7 号溝跡（1）・X − 13 断面図

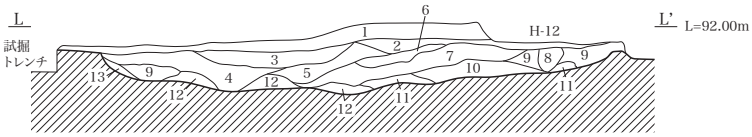
W－7(2)・W－9



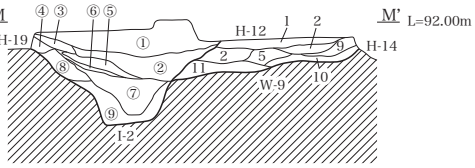
W－7
① 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや多量、焼土少量含む。
② 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
③ 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、黄褐色シルトブロック・焼土微量含む。
④ 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。
⑤ 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
⑥ 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
⑦ 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。
⑧ 褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト・灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
⑨ 褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。黄褐色シルト斑状にまじる。
⑩ にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色粘質シルトやや少量、灰白色軽石粒微量含む。
⑪ 黒褐色粘質シルトと黄褐色粘質シルトブロックの混土。粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。

W－9
1 暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色軽石粒（FA）・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
2 浅黄橙色粘質シルトと暗褐色シルトの混土。粘性やや強、しまりやや強。黄褐色軽石粒(FA)・焼土・炭化物微量含む。
3 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。暗褐色シルトと黄褐色シルトブロックの混合層。
4 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト少量含む。
5 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土微量含む。
6 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト少量、灰白色軽石粒(FA)・焼土微量含む。
7 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト少量、灰白色軽石粒（FA)・焼土微量含む。
8 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトやや多量、焼土微量含む。
9 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、褐色シルトブロック・焼土微量含む。
10 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
11 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

W－9



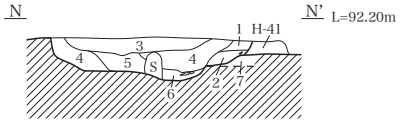
W－9・I－2

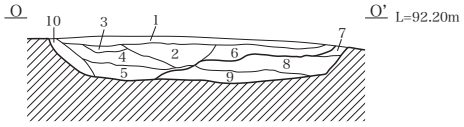


W－9
1 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
6 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
7 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
8 灰黄褐色　粘性やや強、しまり弱。根痕か。
9 黒色　粘性やや弱、しまり強。褐色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
10 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色 FA 泥流ブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
11 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色 FA 泥流ブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
12 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色 FA 泥流ブロックやや多量、焼土・炭化物微量含む。
13 黒色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色シルト粒微量含む。

I－2
① 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物少量含む。下部で軽石粒少なくなる。
② 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
③ 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量、黄橙色 FA 泥流ブロック微量含む。
④ 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
⑤ にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色 FA 泥流ブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
⑥ 褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色 FA 泥流ブロック多量、焼土・炭化物微量含む。
⑦ 褐灰色　粘性やや強、しまり弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
⑧ 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
⑨ 黒褐色　粘性やや弱、しまり弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

W－10

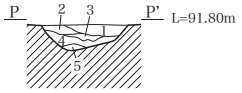




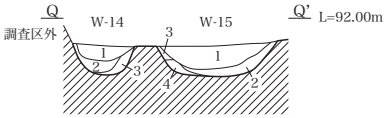
W－10　断面N
1 H-30　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。1cm 大の黄色ブロックを含む。
2 H-30　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。1 層より軽石及び焼土粒が多い、小粒の黄色ブロックを少量含む。1 層より明るい色調。
3 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。1cm 弱の黄色ブロックを含む。4 層よりやや明るい色調。
4 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。3 層より黄色ブロックを多く含むため、やや明るい色調。
5 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒微量含む。色調は 4 層と類似する、炭化物を多く含む。小粒の黄色ブロックをやや多目に含む。
6 H-35　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量含む。色調は 5 層と類似するが、炭化物を多く含むため黒色が強い。H-35 のカマドのものと考えられる。
7 H-30　淡黄色　粘性やや弱、しまりやや弱。H-30 カマド奥部のカマド構築部に造られた粘土層。

W－10　断面O
1 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物少量含む。
2 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土粒微量含む。
3 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・炭化物少量含む。
4 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
5 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや少量、焼土微量含む。
6 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
7 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土微量含む。H-41。
8 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトやや少量、灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物微量含む。H-41。
9 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック・褐色シルトやや少量、灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。H-41。
10 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量含む。

W－13



W－14・15



W－13
1 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロックやや多量含む。
2 褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルト粒少量含む。
3 淡黄色粘質シルトブロック。粘性やや強、しまりやや強。
4 暗灰黄色　粘性やや弱、しまりやや弱。
5 褐灰色　粘性やや強、しまりやや強。酸化鉄分微量含む。

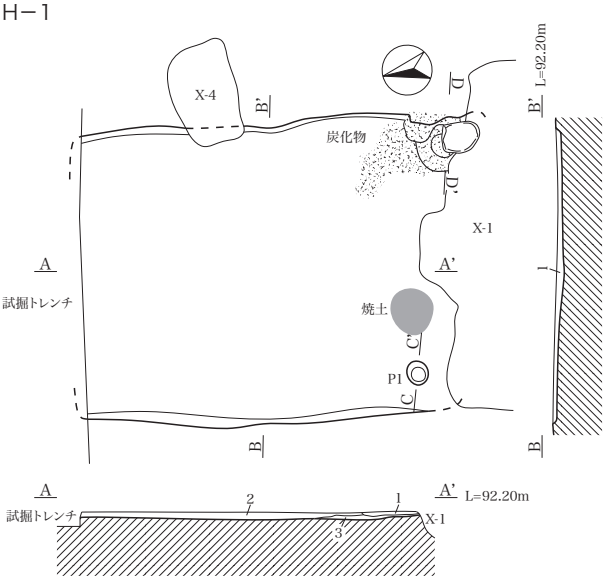
W－14
1 にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや弱。酸化鉄分微量含む。
2 灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。酸化鉄分微量含む。
3 褐灰色　粘性やや弱、しまり弱。

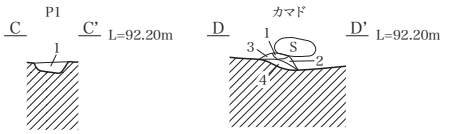
W－15
1 にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・酸化鉄分微量含む。
2 にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや弱。酸化鉄分微量含む。
3 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト多量、灰白色軽石粒微量含む。
4 橙色　粘性やや弱、しまりやや強。酸化鉄分多量含む。

0　1：60　2m

第 11 図　W － 7 (2)・9・10・13 ～ 15 号溝跡断面図

H－1



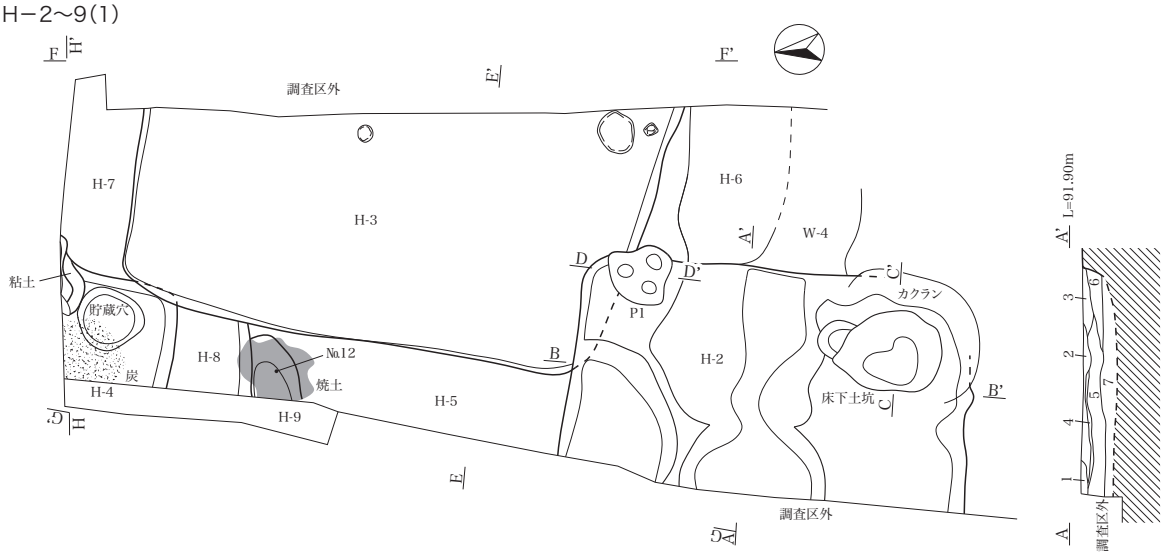


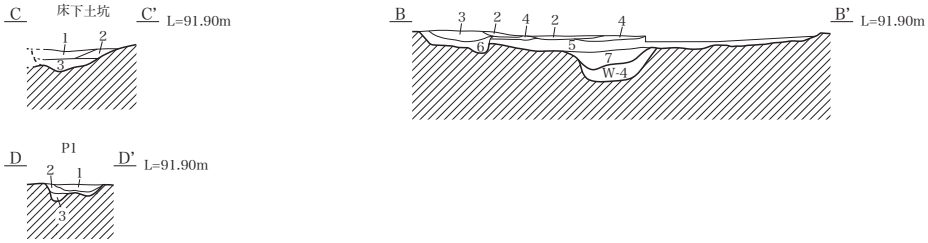
H－1
1　灰褐色　粘性やや強、しまりやや弱。明褐色シルトブロック・焼土粒 ø3mm・炭化物 ø1 ～ 2cm 少量含む。灰白色軽石粒微量含む。
2　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・炭化物 ø5mm 少量、焼土粒微量含む。
3　灰褐色　粘性やや強、しまりやや弱。炭化物 ø3mm 少量、褐色シルト・焼土粒 ø3mm 微量含む。

H－1　P1
1　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトブロック・炭化物 ø1 ～ 2cm 少量含む。

H－1　カマド
1　灰白色　粘性強、しまりやや弱。炭化物・焼土粒 ø1 ～ 2mm やや多量含む。
2　灰黄褐色　粘性強、しまりやや弱。焼土粒 ø1mm やや多量含む。下部に炭化物・灰がシート状に堆積。
3　灰黄褐色　粘性強、しまりやや弱。焼土粒 ø1mm やや多量含む。カマド構築材の崩落か。
4　明赤褐色焼土　粘性やや弱、しまりやや弱。灰黄色シルト少量含む。

H－2～9(1)





H－2
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。別遺構か。
2　にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。シルトブロックやや多量、焼土粒 ø1 ～ 3mm・炭化物やや少量含む。
3　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルト・焼土ブロック・炭化物やや少量含む。
4　黒色　炭化物と灰の混合層　シート状。粘性やや弱、しまりやや弱。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物・FA 泥流ブロック少量含む。
6　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物微量含む。
7　灰黄褐色　粘性やや弱、しまり弱、黄褐色シルトブロック少量、焼土粒・炭化物微量含む。

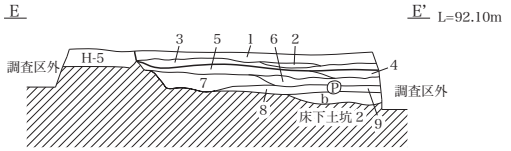
H－2　P1
1　明赤褐色　焼土粒と暗褐色土の混合層。粘性やや強、しまりやや弱。炭化物・灰少量含む。
2　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱、焼土粒・炭化物少量含む。
3　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱、黄褐色シルトブロック少量含む。

H－2　床下土坑 1
1　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黒褐色シルト・焼土粒・炭化物やや少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトやや少量、焼土粒・炭化物少量含む。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルトやや少量、焼土粒・炭化物少量含む。

カマド
0　1：40　1m　　0　1：60　2m

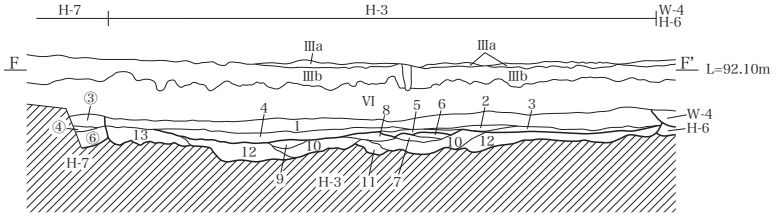
第 12 図　H － 1 号住居跡、H － 2 ～ 9 号住居跡（1）

H－2～9(2)

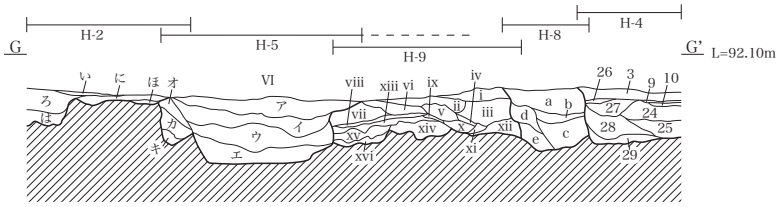


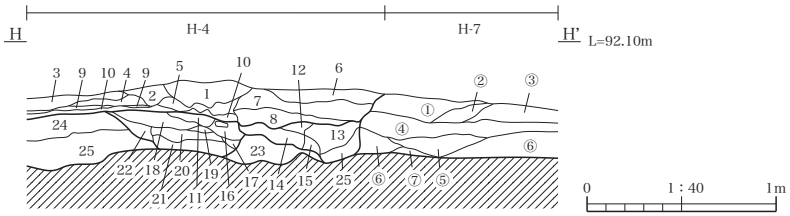
H－3　断面E
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄灰色シルトブロックやや多量、焼土・炭化物微量含む。貼床。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。床面か。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロックやや少量含む。床下土杭３。
4　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土やや多量、炭化物少量含む。床下土杭３。
5　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土やや少量含む。床下土杭３。
6　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色軽石粒少量、焼土微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色軽石粒・焼土微量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや多量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。

床下土杭２
b　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。



H－3　断面F
Ⅲa　灰黄色　As-B 混土。
Ⅲb　灰褐色　As-B 混土。
1　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
2　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄灰色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
3　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトブロック・灰色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
4　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物ブロック少量含む。
5　暗褐色　しまりやや弱。黄灰色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
6　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。黄褐色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、焼土粒・炭化物微量含む。
9　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量、灰色シルトブロック微量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
11　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
12　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルト・焼土粒・炭化物少量含む。
13　黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック多量、焼土粒・炭化物微量含む。





H－4
1　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物粒、灰色軽石粒微量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物粒、黄灰色粘土ブロック少量含む。
3　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物粒微量含む。
4　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。炭化物・灰やや多量、焼土微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物・灰多量、焼土少量含む。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、炭化物微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・炭化物微量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
9　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物やや少量含む。
10　黒色　炭化物と灰・シルトの混合層　シート状。粘性弱、しまり弱。
11　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。明黄褐色カマド構築材ブロックやや多量、炭化物少量含む。
12　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック、焼土粒・炭化物少量含む。
13　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色シルト、炭化物少量含む。
14　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック、焼土粒・炭化物少量含む。
15　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土粒・炭化物少量含む。
16　にぶい黄橙色　カマド構築材主体。粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物少量含む。
17　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック、炭化物少量含む。
18　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物粒少量含む。
19　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土少量含む。
20　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック、焼土・炭化物少量含む。
21　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや少量、焼土・炭化物少量含む。
22　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト、焼土・炭化物微量含む。
23　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト、焼土粒少量含む。
24　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒、焼土・炭化物粒微量含む。
25　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや多量、焼土粒・炭化物少量含む。
26　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト含む。貼り床か。
27　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒、焼土・炭化物粒微量含む。
28　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック、焼土ブロックやや少量含む。
29　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量含む。

H－7
①　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量含む。
②　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・黄褐色シルト微量含む。
③　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。
④　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト、焼土・炭化物微量含む。
⑤　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト、灰白色軽石粒微量含む。
⑥　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
⑦　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量含む。

H－8
a　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物粒微量含む。
b　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。床面か。
c　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト少量含む。
d　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
e　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや多量含む

H－9
i　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土粒微量含む。
ii　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量、灰白色軽石粒微量含む。
iii　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒少量含む。
iv　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック、炭化物少量含む。
v　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄橙色シルトやや多く、焼土粒少量含む。
vi　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト、焼土粒少量含む。
vii　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
viii　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量、炭化物微量含む。貼り床。
ix　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。
x　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量、焼土粒微量含む。
xi　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
xii　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量、焼土・炭化物微量含む。
xiii　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。
xiv　にぶい黄橙色　シルトブロックと黒褐色　シルトの混土。粘性やや弱、しまりやや弱。
xv　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。上部に黄橙色シルト縞状に含む。
xvi　にぶい黄橙色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量含む。

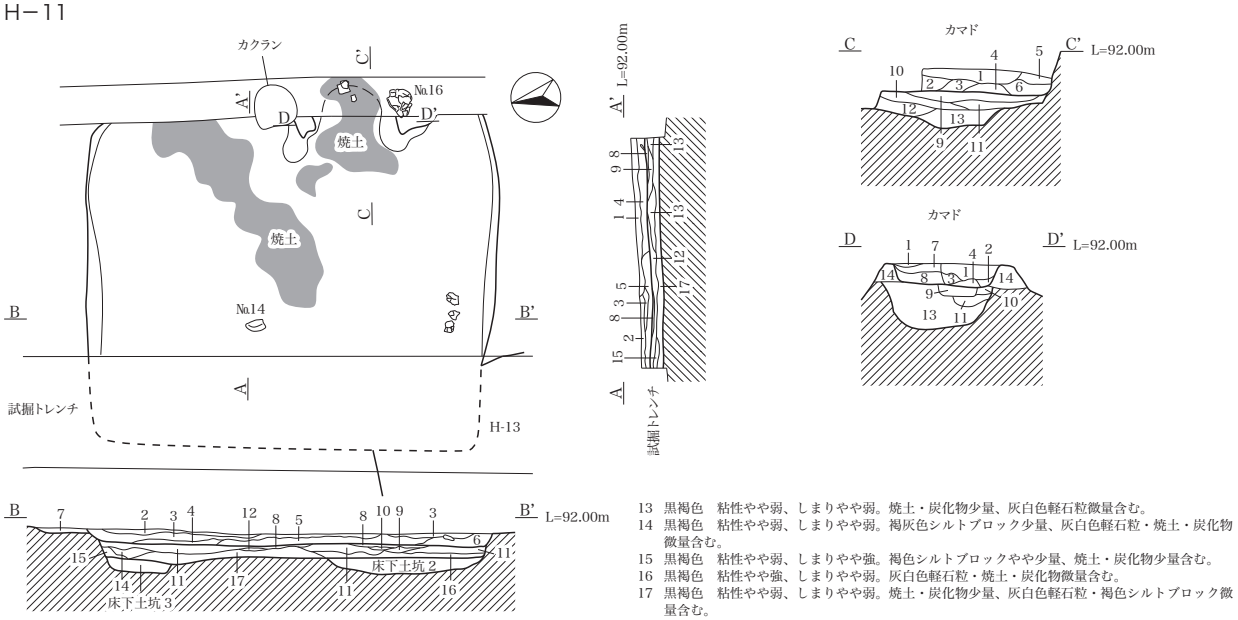
H－5　掘方
ア　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。床下土坑。
イ　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。床下土坑。
ウ　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト微量含む。床下土坑。
エ　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量含む。床下土坑。
オ　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。
カ　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量含む。
キ　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量含む。

H－2
い　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量含む。床面か。
ろ　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。床下土坑。
は　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量含む。床下土坑。
に　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、黄橙色シルトブロック少量含む。
ほ　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・黄橙色シルトブロック少量含む。

0　1：60　2m

第13図　H－2～9号住居跡（2）

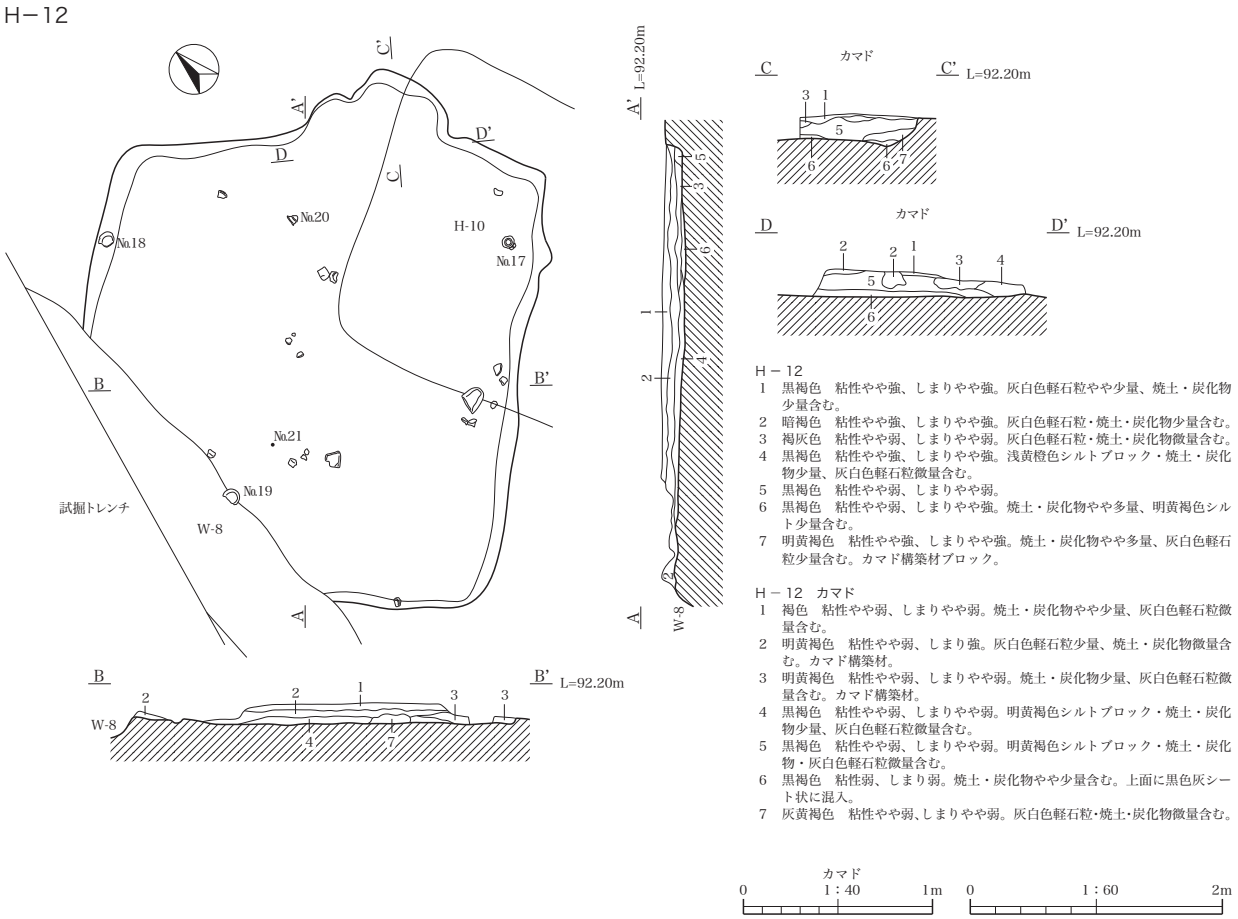
H－11



H－11
1　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物少量含む。灰白色軽石粒微量含む。
4　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
6　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。灰白色軽石粒微量含む。
7　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。3層よりわずかに硬い、他の住居。
8　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物・灰少量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物やや多量、灰白色軽石粒微量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。
11　暗灰黄色　粘性やや弱、しまり弱。焼土・炭化物微量含む。
12　暗灰黄色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
13　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
14　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
15　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロックやや少量、焼土・炭化物少量含む。
16　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
17　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒・褐色シルトブロック微量含む。

H－11　カマド
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物やや少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
4　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒微量含む。
5　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
6　灰褐色　粘質シルトと焼土ブロックの混合層。粘性やや強、しまりやや弱。炭化物少量含む。
7　暗褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物少量含む。灰白色軽石粒微量含む。天井崩落土。
8　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
9　褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物多量含む。
10　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。下面に灰シート状に混入。
11　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量含む。
12　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。
13　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物やや多量含む。
14　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。下の住居の覆土か。

H－12

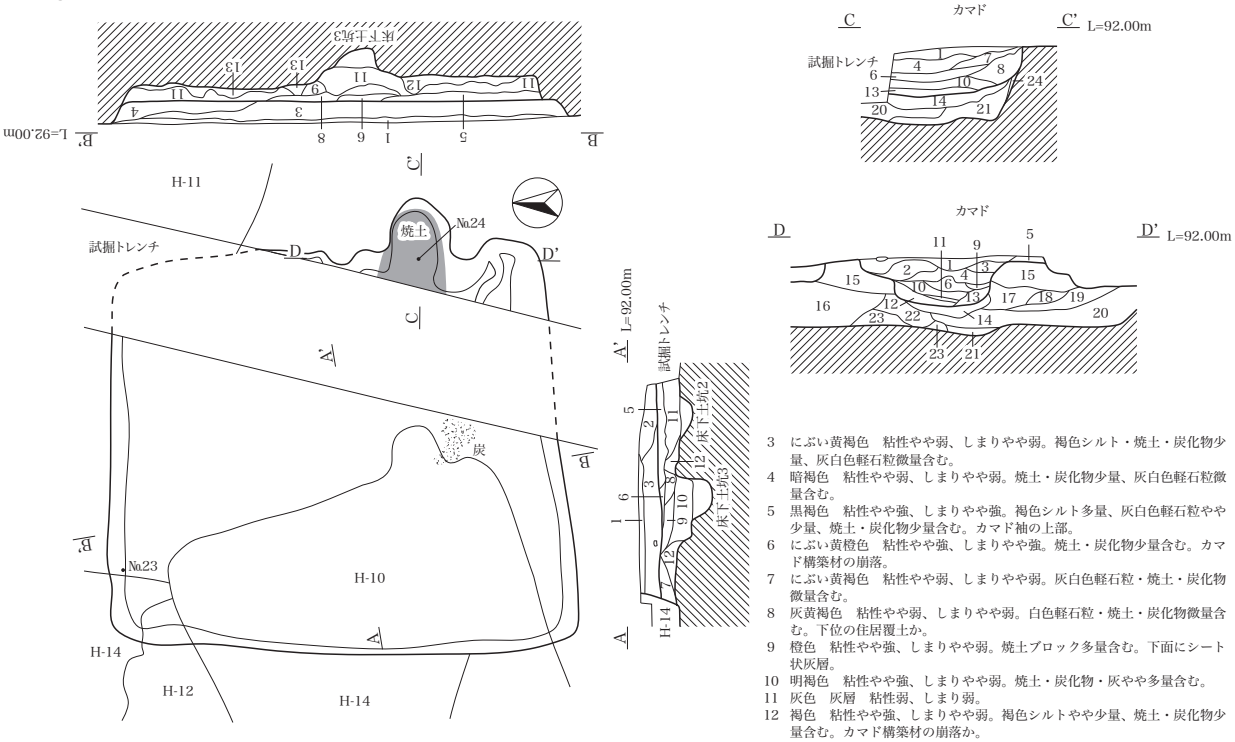


H－12
1　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2　暗褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。浅黄橙色シルトブロック・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物やや多量、明黄褐色シルト少量含む。
7　明黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒少量含む。カマド構築材ブロック。

H－12　カマド
1　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
2　明黄褐色　粘性やや弱、しまり強。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。カマド構築材。
3　明黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。カマド構築材。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。明黄褐色シルトブロック・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。明黄褐色シルトブロック・焼土・炭化物・灰白色軽石粒微量含む。
6　黒褐色　粘性弱、しまり弱。焼土・炭化物やや少量含む。上面に黒色灰シート状に混入。
7　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

第14図　H－11号住居跡、H－12号住居跡

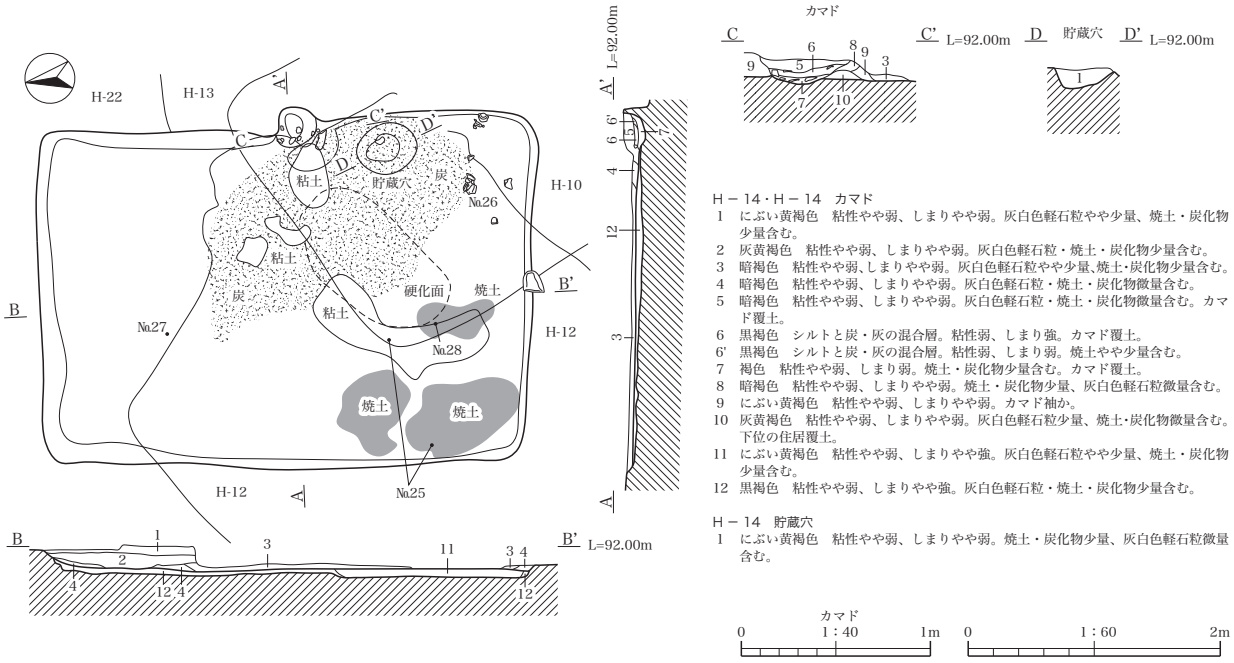
H－13



H－13
1　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒・褐色シルトブロック微量含む。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
6　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
11　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
12　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
13　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

H－13　カマド
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物やや少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド天井崩落土か。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
4　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
5　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。褐色シルト多量、灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。カマド袖の上部。
6　にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物少量含む。カマド構築材の崩落。
7　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。下位の住居覆土か。
9　橙色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土ブロック多量含む。下面にシート状灰層。
10　明褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや多量含む。
11　灰色　灰層　粘性弱、しまり弱。
12　褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトやや少量、焼土・炭化物少量含む。カマド構築材の崩落か。
13　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量含む。
14　黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量含む。
15　にぶい橙色　粘性やや強、しまりやや強。黒褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
16　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
17　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色 FA 泥流ブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
18　褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量含む。
19　褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
20　黒褐色　粘性やや強、しまり弱。黄褐色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
21　褐色　粘性やや強、しまり弱。焼土・炭化物やや多量含む。
22　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色 FA 泥流ブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
23　褐色　粘性やや強、しまり弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
24　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

H－14



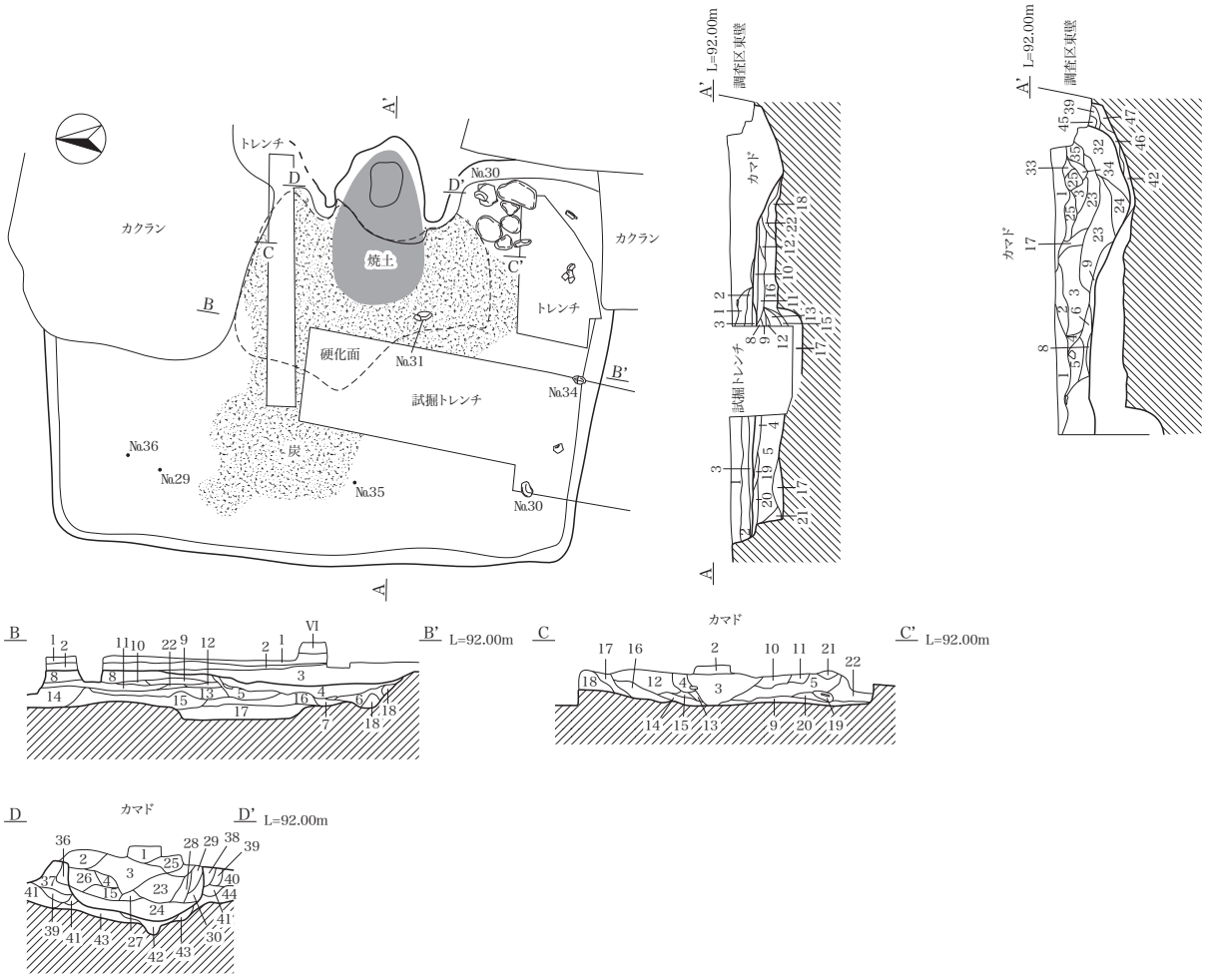
H－14・H－14　カマド
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
4　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド覆土。
6　黒褐色　シルトと炭・灰の混合層。粘性弱、しまり強。カマド覆土。
6'　黒褐色　シルトと炭・灰の混合層。粘性弱、しまり弱。焼土やや少量含む。
7　褐色　粘性やや弱、しまり弱。焼土・炭化物少量含む。カマド覆土。
8　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
9　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。カマド袖か。
10　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。下位の住居覆土。
11　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
12　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。

H－14　貯蔵穴
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。

カマド
0　1：40　1m　　0　1：60　2m

第 15 図　H － 13 号住居跡、H － 14 号住居跡

H−15



H − 15

1 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
3 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。床下土坑。
5 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。床下土坑。
6 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト・焼土・炭化物微量含む。床下土坑。
7 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
8 黒褐色　粘性やや強、しまり強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物やや少量含む。上面に褐色シルトブロック集中、硬化面。
9 灰色　粘性やや強、しまり強。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒少量含む。
10 褐灰色　粘性やや弱、しまり強。褐灰色シルトブロック・焼土・炭化物少量含む。
11 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
12 褐灰色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
13 褐灰色　粘性やや弱、しまり強。褐灰色シルトブロック・焼土・炭化物少量含む。
14 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
15 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。褐色シルトと黒褐色シルトの混土。
16 黒色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトブロックやや多量、焼土・炭化物少量含む。
17 黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。床下土坑か。
18 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄橙色シルトやや多量、焼土・炭化物微量含む。
19 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
20 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
21 黒褐色　粘性やや強、しまり弱。焼土・炭化物微量含む。
22 灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、黒褐色シルト・黄橙色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。

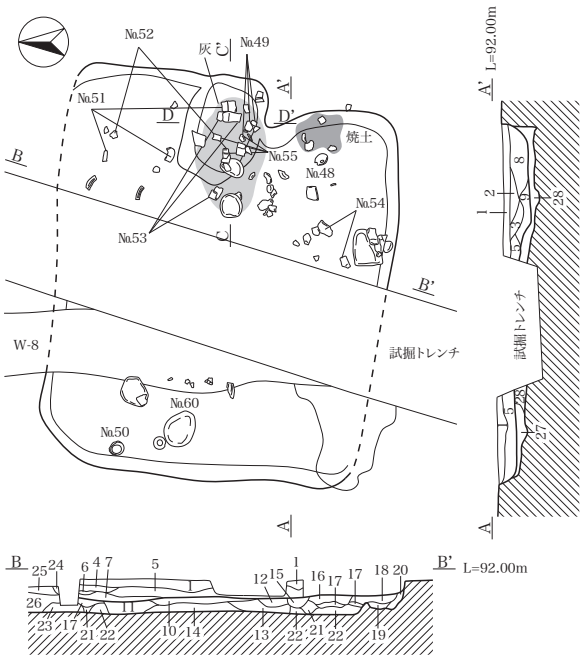
H − 15　カマド

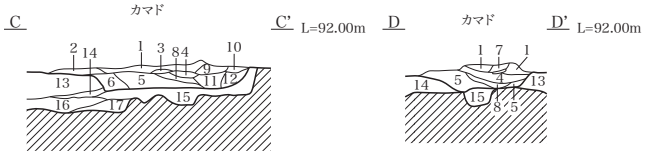
1 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
2 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
3 にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。カマド構築材の崩落。
4 灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色シルト粒・焼土・炭化物少量含む。カマド構築材か。
5 灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
6 褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。
7 住居覆土 1 層
8 明黄褐色　粘性やや強、しまり弱。焼土・炭化物やや多量含む。
9 黒色　炭化物・灰層。粘性弱、しまり弱。
10 灰黄褐色　粘性やや弱、しまり弱。黄褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
11 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
12 明黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物やや少量、褐色シルト少量含む。カマド構築材の崩落。
13 黒色　粘性やや強、しまり弱。焼土・炭化物少量含む。
14 黒褐色　粘性やや強、しまり弱。灰褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
15 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまり弱。焼土・炭化物少量含む。下部に炭・灰まじる。
16 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、暗褐色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。
17 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰黄褐色シルト粒・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
18 灰黄褐色　粘性やや弱、しまり弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒・灰白色シルトブロック少量含む。
19 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまり弱。灰白色軽石粒少量、黄褐色 FA 泥流ブロックやや多量含む。
20 褐灰色　粘性やや弱、しまり弱。焼土・炭化物少量含む。
21 橙色　焼土ブロック主体。粘性弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・暗褐色土少量含む。
22 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
23 明黄褐色　粘性強、しまりやや強。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。カマド構築材の崩落。
24 黄灰色　粘性強、しまり弱。炭化物やや多量、焼土ブロックやや少量含む。
25 褐色　粘性やや強、しまりやや強。暗褐色シルト・焼土・炭化物少量含む。カマド構築材の崩落。
26 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物やや少量含む。
27 黒褐色　粘性やや強、しまり弱。灰白色シルトブロック少量、焼土・炭化物やや微量含む。
28 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土ブロックやや多量含む。カマド構築材の崩落。
29 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまり弱。焼土やや少量含む。カマド構築材多く混じる。
30 褐色　粘性やや弱、しまり弱。焼土・炭化物少量含む。
31 にぶい黄褐色　粘質シルトと焼土の混土。粘性強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量含む。
32 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄橙シルト・焼土・炭化物やや多量含む。
33 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒やや少量含む。
34 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒やや多量含む。
35 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量、灰白色軽石粒微量含む。
36 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量、褐色シルト微量含む。
37 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
38 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
39 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
40 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。
41 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、灰褐色シルト粒・焼土・炭化物少量含む。
42 A ライン 15 層住居掘方。
43 褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトブロック・焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
44 にぶい橙色　粘性やや強、しまりやや強。
45 褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒少量含む。
46 にぶい黄褐色　黒褐色シルトと褐色シルトの混土。粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
47 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。Ⅷ層か。

カマド
0　1：40　1m　　0　1：60　2m

第 16 図　H − 15 号住居跡

H－23

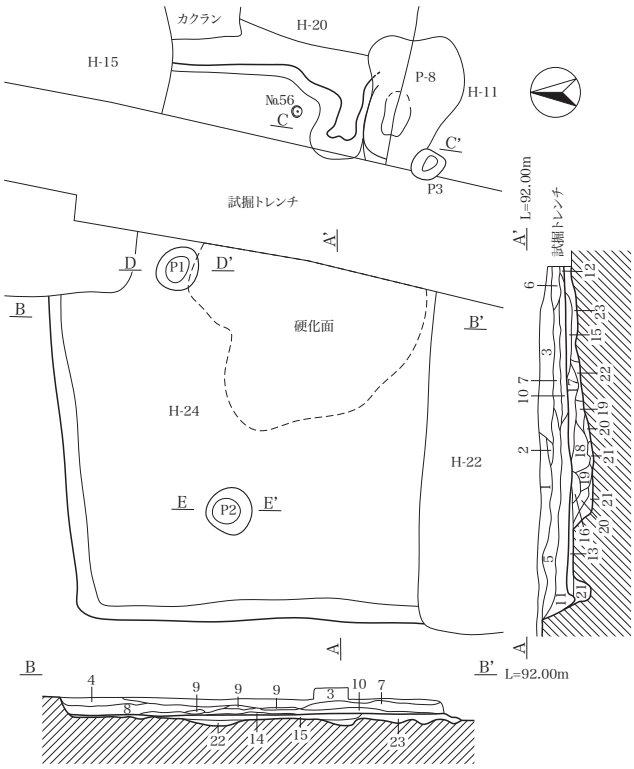




H－23
1 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物微量含む。
2 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
3 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土微量含む。
5 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
6 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトやや多量、灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
7 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土微量含む。
8 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色粘質シルト・灰白色軽石粒・焼土微量含む。
10 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、褐色シルトブロック・焼土微量含む。
11 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・焼土ブロック少量含む。
12 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、褐色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。
13 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色シルト・灰白色軽石粒・焼土微量含む。
14 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色シルト・灰白色軽石粒・焼土微量含む。
15 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック・灰色粘質シルトブロックやや少量、焼土微量含む。
16 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土微量含む。
17 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土微量含む。
18 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土少量、灰白色軽石粒微量含む。
19 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
20 黒褐色　粘性やや弱、しまり弱。焼土微量含む。
21 黒色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、焼土微量含む。
22 明黄褐色　シルトと黒褐色シルトの混土。粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
23 明黄褐色　FA 泥流ブロック主体。粘性弱、しまりやや強。黒褐色シルトやや少量含む。
24 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。他の住居覆土。
25 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土微量含む。他の住居覆土。
26 明黄褐色　粘質シルトと黒褐色シルトの混土。粘性やや強、しまりやや弱。自然堆積層か。
27 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。
28 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。

H－23　カマド
1 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロック・焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
2 黒褐色　炭・灰層。粘性やや弱、しまりやや弱。暗褐色シルト少量含む。
3 橙色　焼土ブロック。粘性弱、しまりやや弱。
4 褐灰色　粘性弱、しまりやや弱。炭化物・灰やや多量含む。
5 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
6 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。
7 にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土少量含む。カマド構築材。
8 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・灰やや多量含む。
9 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
10 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトブロック・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
11 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
12 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや多量、焼土粒少量含む。
13 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
14 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、黄褐色粘質シルトブロック少量、灰白色軽石粒微量含む。
15 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
16 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、焼土粒微量含む。
17 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・黄褐色シルト粒微量含む。

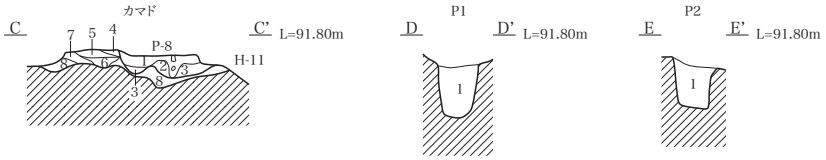
H－24(1)



H－24
1 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
4 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
5 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。
6 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
7 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
8 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9 明黄褐色　FA 泥流ブロック。粘性やや弱、しまりやや強。黒色シルト少量含む。覆土中の硬化面。
10 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黒色シルト・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
11 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
12 黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
13 褐色　シルトと黒色シルトの混土。粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。床面。
14 明黄褐色　FA 泥流層　粘性弱、しまり強。灰白色軽石粒（FA）やや多量含む。床面。
15 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
16 黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
17 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土含む。
18 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、焼土微量含む。
19 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトやや少量含む。
20 にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。黄褐色シルトブロック少量、焼土微量含む。
21 灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。黄橙色シルトブロック少量、焼土微量含む。
22 にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。黒褐色シルト少量、焼土微量含む。
23 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色シルト粒少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。

第 17 図　H － 23 号住居跡、H － 24 号住居跡（1）

H－24(2)

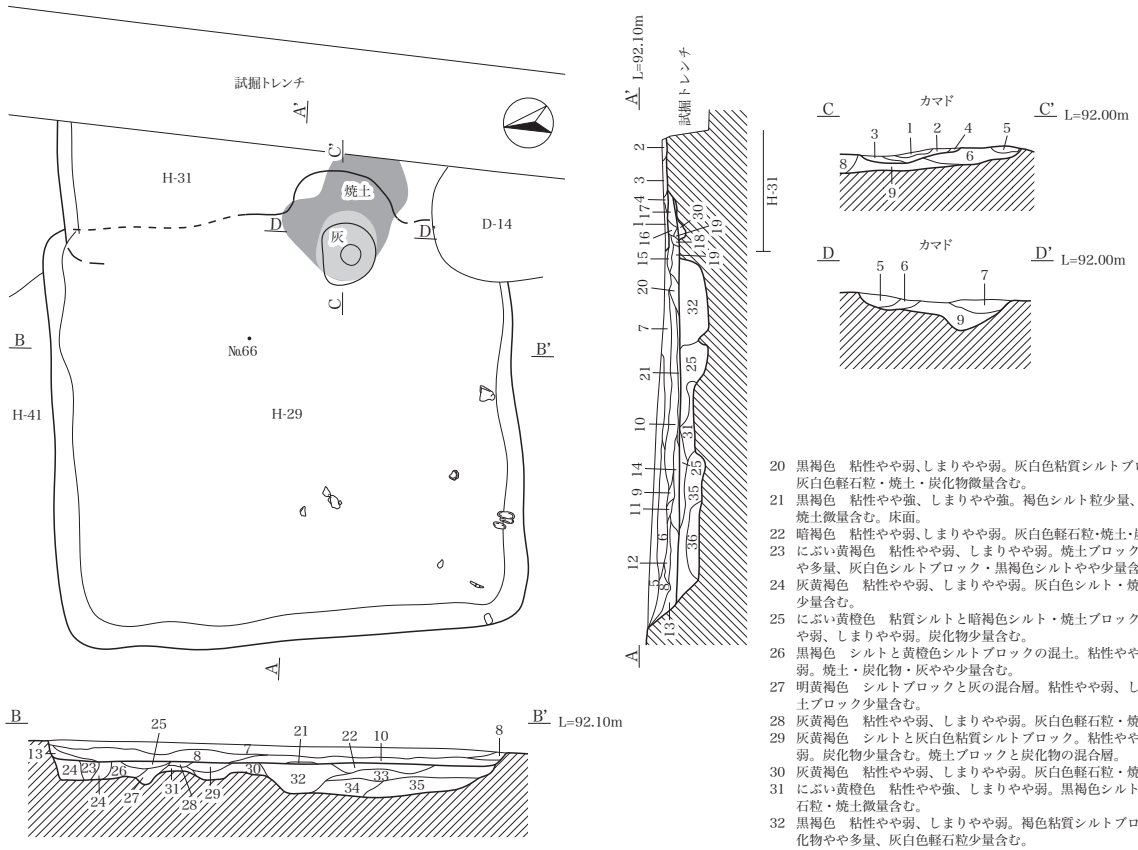


H－24　カマド
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド構築材。
4　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルトやや少量、灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。カマド構築材。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
6　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
7　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
8　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む

H－24　P1
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト粒少量、灰白色軽石粒微量含む。

H－24　P2
1　暗褐色　粘性やや弱、しまり弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

H－29・31



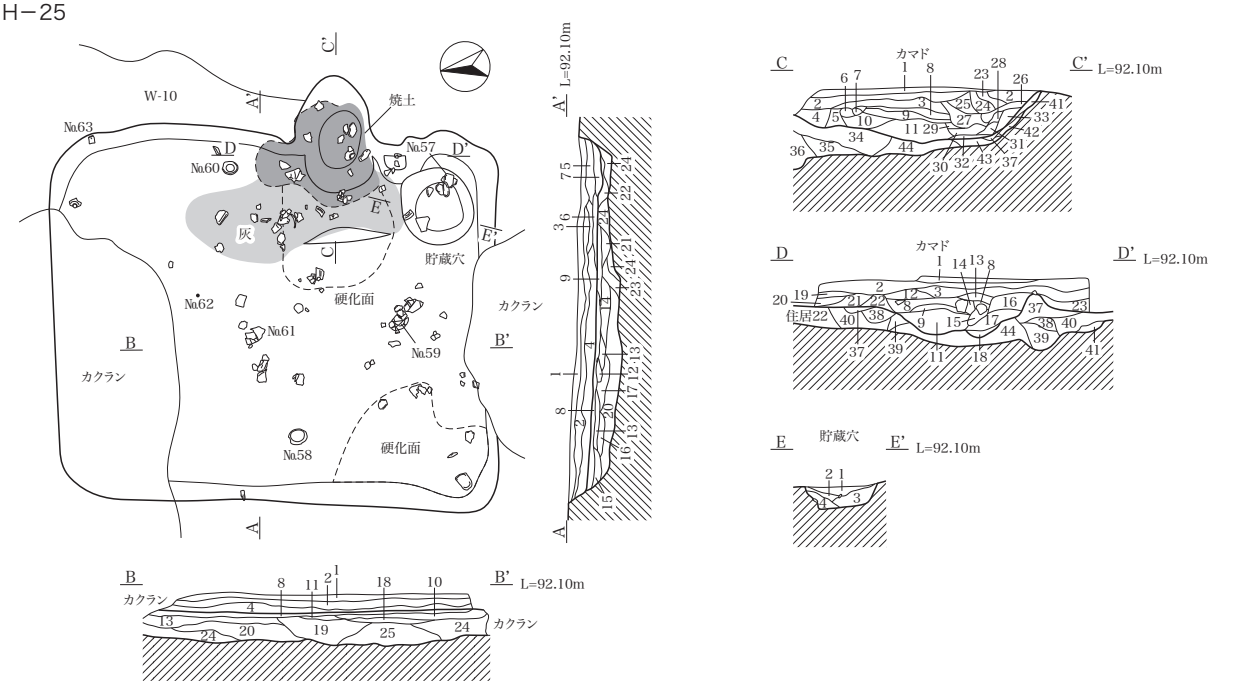
H－29
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物やや少量含む。カマド構築材のまじった H-31 覆土。
2　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量含む。H-31 覆土。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。H-31 覆土。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。H-31 覆土。
5　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土少量含む。
6　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量、灰白色シルト粒微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルト粒・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物・灰多量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
11　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物微量含む。
12　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
13　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
14　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや少量、焼土粒微量含む。
15　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
16　褐灰色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。カマド構築材。
17　にぶい褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
18　橙色　焼土ブロック。粘性やや弱、しまりやや弱。暗褐色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。
19　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトやや少量、焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
20　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
21　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。褐色シルト粒少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。床面。
22　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
23　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物・灰やや多量、灰白色シルトブロック・黒褐色シルトやや少量含む。
24　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルト・焼土・炭化物やや少量含む。
25　にぶい黄橙色　粘質シルトと暗褐色シルト・焼土ブロックの混土。粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物少量含む。
26　黒褐色　シルトと黄橙色シルトブロックの混土。粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや少量含む。
27　明黄褐色　シルトブロックと灰の混合層。粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック少量含む。
28　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
29　灰黄褐色　シルトと灰白色粘質シルトブロック。粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物少量含む。焼土ブロックと炭化物の混合層。
30　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
31　にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや弱。黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。
32　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色粘質シルトブロック・焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒少量含む。
33　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトやや少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。
34　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや多量、焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
35　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土微量含む。
36　黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土微量含む。

H－29　カマド
1　灰白色粘質シルトブロックと焼土ブロック・灰・炭化物の混合層。粘性弱、しまり弱。
2　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや多量含む。
3　黒色灰層　粘性弱、しまり弱。
4　灰黄褐色シルトブロック。
5　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物・灰多量含む。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、焼土粒微量含む。
7　黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや多量、焼土微量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒少量含む。H-31 掘方埋土か。
9　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒少量含む。H-29 掘方埋土。

カマド　0　1：40　1m　　0　1：60　2m

第 18 図　H － 24 号住居跡（2）、H － 29・31 号住居跡

H－25



H－25

1　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、褐色シルトブロック・焼土・炭化物微量含む。
3　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトやや少量、灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
4　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土少量、灰褐色シルト粒･灰白色軽石粒微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰色粘質シルトブロック・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
6　黒色　黒色炭化物・灰層。粘性弱、しまり弱。褐色シルト・焼土少量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。貼床。
9　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土微量含む。貼床。
10　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
11　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや多量、焼土微量含む。
12　にぶい黄橙色　粘質シルトブロック。粘性やや強、しまり強。焼土微量含む。
13　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物・灰やや多量、灰白色軽石粒微量含む。
14　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物微量含む。
15　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
16　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・褐色シルト微量含む。
17　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
18　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒･焼土微量含む。
19　黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量、焼土少量含む。
20　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロックやや少量、焼土微量含む。
21　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや多量、焼土微量含む。
22　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄橙色シルト少量含む。(地山の撹拌)
23　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
24　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土･炭化物やや少量、灰白色軽石粒･灰白色シルトブロック少量含む。
25　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト･焼土･炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。

H－25　カマド

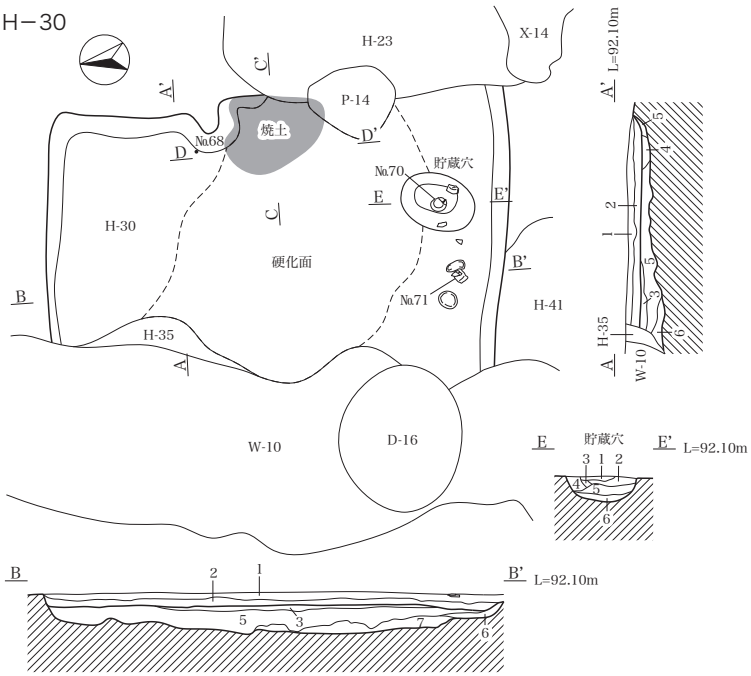
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土粒微量含む。
2　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土微量含む。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量、灰白色軽石粒微量含む。
4　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量含む。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物少量、褐色シルト微量含む。
7　明褐色　砂質シルトブロック。粘性やや強、しまりやや強。
8　灰褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック・焼土・炭化物少量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物やや多量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量含む。
11　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色粘質シルトやや多量、焼土ブロックやや少量含む。
12　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量含む。
13　黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト・焼土粒少量含む。
14　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土ブロックやや多量含む。カマド構築材の崩落。
15　褐灰色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒やや少量含む。カマド袖の崩落。
16　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
17　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土少量含む。
18　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック少量含む。
19　明黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
20　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。住居覆土。
21　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
22　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒やや少量含む。カマド袖が崩れた痕か。
23　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土微量含む。
24　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土やや多量含む。
25　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
26　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土微量含む。
27　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色粘質シルト・焼土やや少量含む。
28　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。
29　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや少量含む。
30　褐灰色　シルトと焼土ブロック・灰の混合層。粘性やや弱、しまりやや弱。
31　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒やや多量含む。
32　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土少量含む。炭化物・灰シート状に貫入。
33　黒色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土粒微量含む。掘方か。
34　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色粘質シルトブロック・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
35　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや少量、焼土粒微量含む。
36　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色シルトブロック少量、焼土微量含む。
37　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
38　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや少量、焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
39　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物・灰やや多量含む。カマド袖。
40　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量含む。カマド袖掘方。
41　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト・焼土粒少量含む。カマド袖掘方。
42　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
43　明黄褐色　砂質シルトブロック。粘性やや弱、しまりやや弱。
44　黒褐色　シルトと黄褐色粘質シルトの混土。粘性やや強、しまりやや強。焼土･炭化物少量含む。カマド構築材。

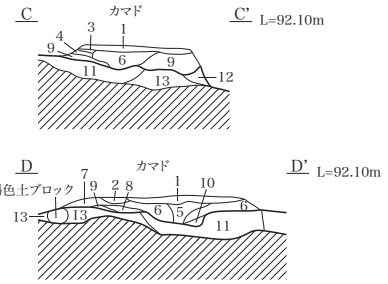
H－25　貯蔵穴

1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量、黄褐色シルトブロック微量含む。
4　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、焼土微量含む。

第19図　H－25号住居跡

H－30



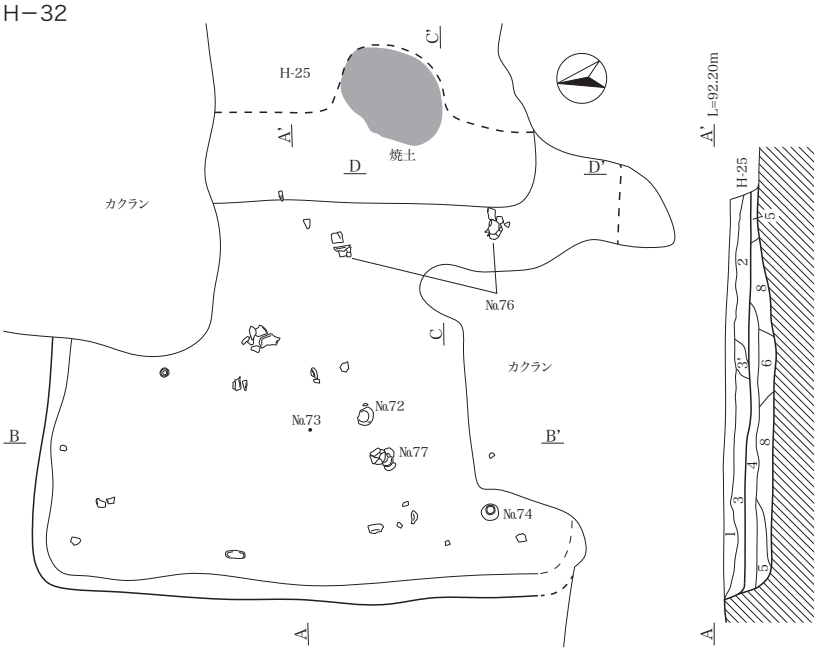


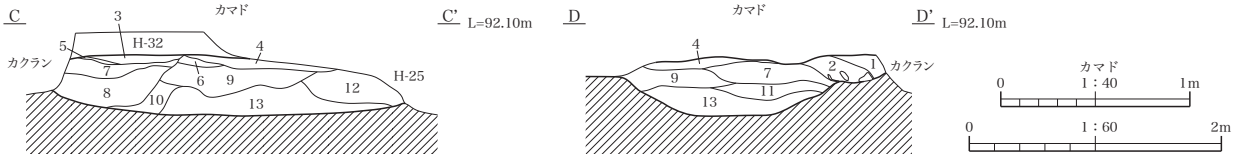
H－30
1　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物少量含む。
2　黒褐色　灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒微量含む。
4　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物微量含む。
6　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色シルトブロックやや少量含む。
7　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色シルトやや多量含む。

H－30　貯蔵穴
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、焼土微量含む。
2　にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。暗褐色シルト・焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
3　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土微量含む。
4　明褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物やや多量含む。
5　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。暗褐色シルトやや少量、焼土微量含む。
6　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色軽石粒微量含む。

H－30　カマド
1　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。
2　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色粘質シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。
4　黒色　灰と焼土層。粘性弱、しまりやや弱。
5　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
6　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
7　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
8　黄灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトブロックやや少量、焼土微量含む。
9　黒褐色　粘性やや強、しまり弱。炭化物・灰やや多量含む。
10　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量含む。
11　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
12　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量、灰白色軽石粒微量含む。
13　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。

H－32



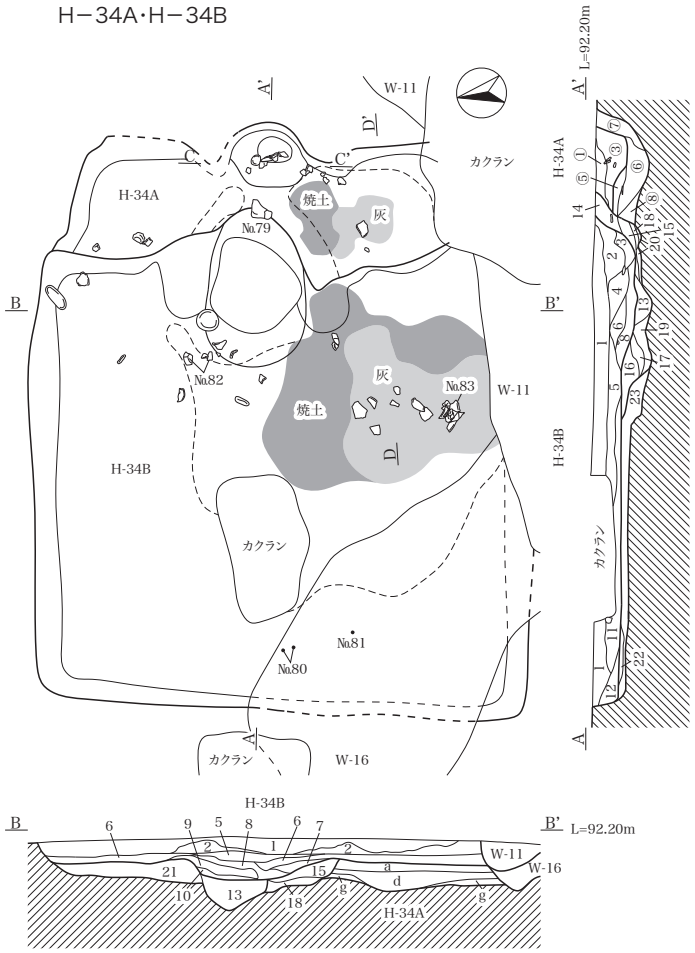


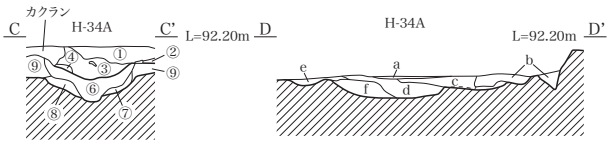
H－32
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや多量、焼土少量含む。
2　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土多量、炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
3　黒褐色　粘性やや強、しまり弱。灰白色軽石粒少量、黄褐色ブロック・焼土・炭化物微量含む。
3′　灰黄褐色　粘性やや強、しまり弱。灰白色軽石粒・焼土・黄褐色ブロックやや多量含む。
4　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色土・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
5　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
6　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
7　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトブロック・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
9　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色FA泥流ブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

H－32　カマド掘方
1　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物微量含む。
2　にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。黄橙色シルトブロックやや多量、焼土・炭化物微量含む。カマド構築材の流れこみ。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物やや少量含む。
4　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物やや多量、焼土少量、灰白色軽石粒微量含む。
5　にぶい黄橙色　粘質シルトブロック。粘性やや強、しまりやや強。カマド構築材か。
6　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
7　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土粒微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色シルト・暗色シルト少量、焼土粒微量含む。
9　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
10　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土微量含む。
11　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
12　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物やや少量、灰白色軽石粒・黄橙色シルト粒微量含む。
13　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト少量、焼土微量含む。

第20図　H－30号住居跡、H－32号住居跡

H－34A・H－34B





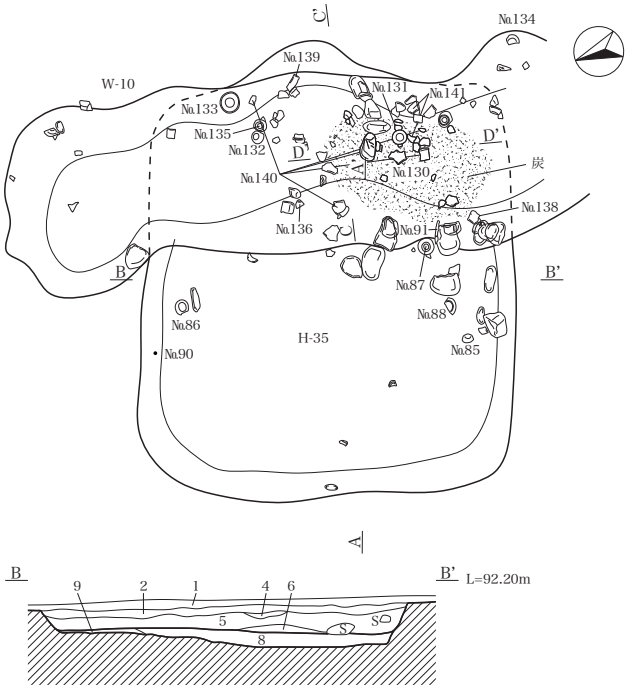
H－34A

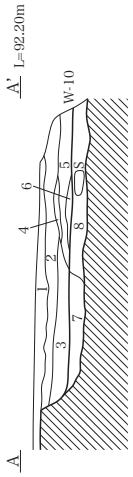
① 黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄白色土やや多量、灰白色軽石粒やや少、焼土粒少量、炭化物微量含む。
② 黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土粒少量、炭化物微量含む。
③ 暗褐色　粘性やや強、しまり弱。黄白色土やや多量、焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
④ 褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物多量、灰層ブロックをやや多量に含む。
⑤ 暗褐色　粘性しまりともやや弱。黄褐色土・焼土ブロックをやや多量含む。
⑥ 暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色粒・灰白色軽石粒微量含む。
⑦ 灰黄褐色　粘性弱、しまりやや弱。焼土粒・黄白色粒を少量含む。
⑧ にぶい黄褐色　粘性強、しまりやや弱。黒色土粒を少量含む。
⑨ 黒褐色　粘性やや弱、しまり強。灰白色軽石粒微量含む。
a にぶい黄褐色　粘性弱、しまり強。灰白色軽石粒・黒色土粒を少量含む。
b 黒褐色　粘性弱、しまり強。黄褐色土ブロックを多量、炭化物・灰層少量含む。
c 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。炭化物・焼土粒・黄褐色土を少量含む。
d 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。炭化物・焼土粒・灰層をやや多量、黄褐色土ブロックをやや少量含む。
e 黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色土ブロックをやや少量、焼土粒・炭化物少量含む。
f 黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色土ブロックを少量含む。
g 黒褐色　粘性やや弱、しまり強。灰白色軽石粒微量含む。

H－34B

1 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄白色土やや多量、灰白色軽石粒少量、焼土粒・炭化物少量含む。
2 暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄白色粘土ブロックやや少量、焼土粒少量、灰白色軽石粒微量含む。
3 暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量、焼土粒・炭化物多量含む。
4 褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物多量、灰層ブロックをやや多量に含む。
5 暗褐色　粘性やや強、しまり弱。黄白色粘土ブロックを多量、焼土・炭化物少量含む。
6 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・黄褐色土ブロック・焼土・炭化物少量含む。
7 褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰をやや多量、灰白色軽石粒微量含む。
8 暗褐色　粘性しまりともやや弱。焼土・炭化物やや多量含む。灰白色軽石粒微量含む。
9 にぶい黄褐色　粘性やや強、しまり弱。黄白色粘土ブロックやや多量、焼土・炭化物少量含む。粒径1～2cm台の黄色ブロックを含むため、色調は明るく見える。
10 黒褐色　粘性やや強、しまり弱。焼土少量、黄褐色土微量含む。
11 黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・黄褐色粘土ブロック・焼土・炭化物少量含む。
12 暗褐色　粘性しまりともやや弱。黄白色粒を少量、灰白色軽石粒を少量含む。
13 黒褐色　粘性しまりやや弱。焼土・炭化物微量含む。
14 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒微量含む。
15 にぶい黄褐色　粘性しまりともやや弱。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒微量含む。
16 にぶい黄褐色　粘性しまりともやや弱。黄白色粘土ブロック少量含む。
17 にぶい黄褐色　粘性しまりともやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
18 灰黄褐色　粘性しまりともやや弱。焼土・炭化物・灰白色軽石粒微量含む。
19 黒褐色　粘性やや強、しまり弱。灰白色軽石粒微量含む。
20 明黄褐色　粘性しまりともやや弱。灰白色軽石粒微量含む。
21 黒褐色　粘性やや弱、しまり強。灰白色軽石粒微量含む。
22 にぶい黄褐色　粘性しまりともやや弱。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒微量含む。
23 黒褐色　粘性やや強、しまり弱。灰白色軽石粒微量含む。

H－35・W-10





H－35

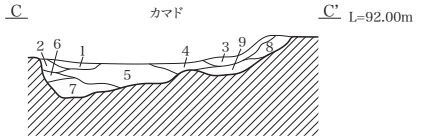
1 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。VI層。
2 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
4 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。褐色硬化シルトブロック含む。
5 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
6 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。床面の可能性あり。
7 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
8 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量含む。

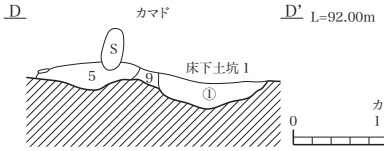
H－35　カマド掘方

1 にぶい黄橙色　炭・灰層。粘性弱、しまり弱。
2 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3 灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色粒土ブロック多量含む。カマド奥壁に貼ったもの。
4 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック・灰白色粘土ブロック・黒色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
6 にぶい褐色　粘性やや強、しまりやや弱。橙色シルトブロックやや多量、焼土・炭化物微量含む。
7 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。橙色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
8 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
9 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや少量、灰白色粘土ブロック・焼土粒微量含む。

H－35　床下土坑1

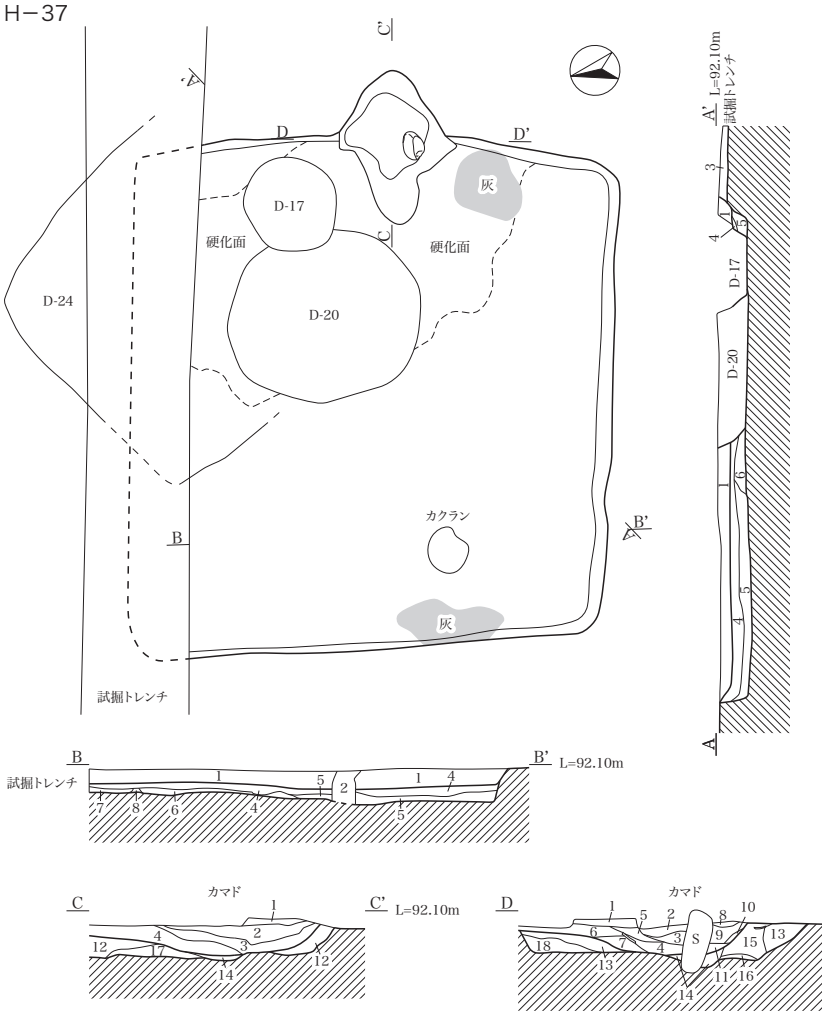
① 黒色　灰・炭化物層。粘性弱、しまり弱。橙色シルトブロック少量含む。





第21図　H－34A・H－34B号住居跡、H－35号住居跡

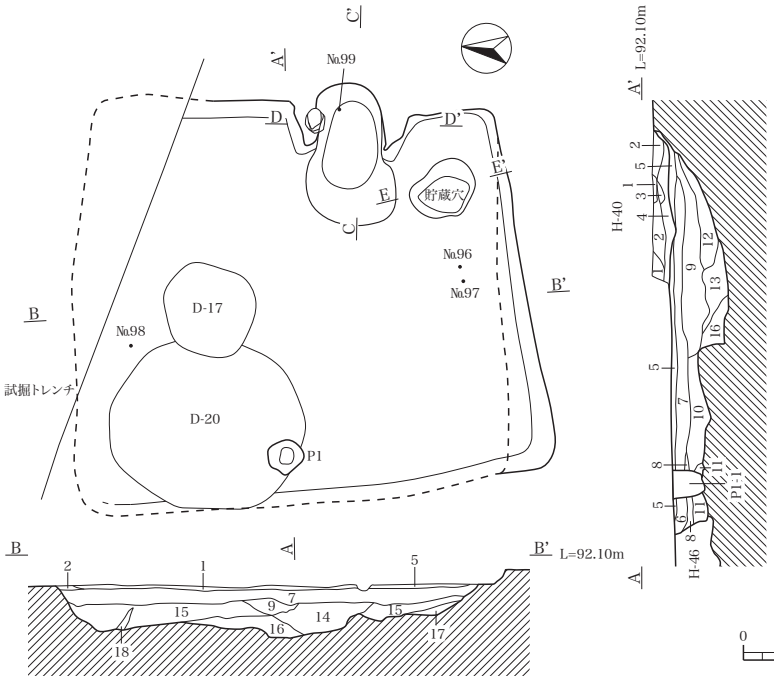
H−37



H − 37
1 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。撹乱。
3 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
5 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
6 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・黒褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。
7 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
8 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒色シルトやや多量含む。

H − 37　カマド
1 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物少量含む。
2 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物・灰やや多量、灰白色軽石粒少量含む。
3 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
5 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
6 褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
7 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量含む。
8 黄褐色　粘質シルトブロック。粘性やや強、しまりやや強。
9 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
10 灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
11 黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
12 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
13 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色粘質シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
14 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量、褐色シルト・褐灰色粘質シルト微量含む。
15 暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。
16 灰褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒・褐灰色粘質シルト少量含む。
17 褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。H-40 覆土か。
18 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量含む。

H−40(1)



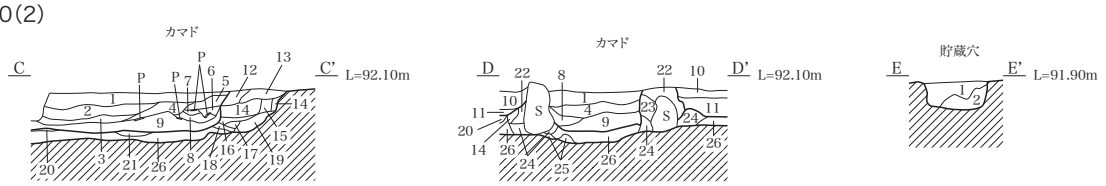
H − 40
1 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄橙色粘質シルトブロック（カマド構築材）やや多量、灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
4 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5 にぶい黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、暗褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。下面にシート状灰・炭化物層。貼床。
6 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。貼床。
7 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。
8 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土ブロック・炭化物少量含む。
9 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック部分的にやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
10 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
11 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
12 灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・灰白色軽石粒微量含む。
13 褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトやや多量、灰白色軽石粒微量含む。
14 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
15 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物少量、灰黄褐色粘質シルトブロック・灰白色軽石粒微量含む。
16 褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量含む。
17 にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物少量、黄褐色シルトブロック・灰白色軽石粒微量含む。
18 にぶい黄褐色　粘質シルトブロック。粘性やや強、しまりやや弱。黒褐色シルト微量含む。

H − 40　P1
1 黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト粒・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

カマド
0　1：40　1m　0　1：60　2m

第 22 図　H − 37 号住居跡、H − 40 号住居跡（1）

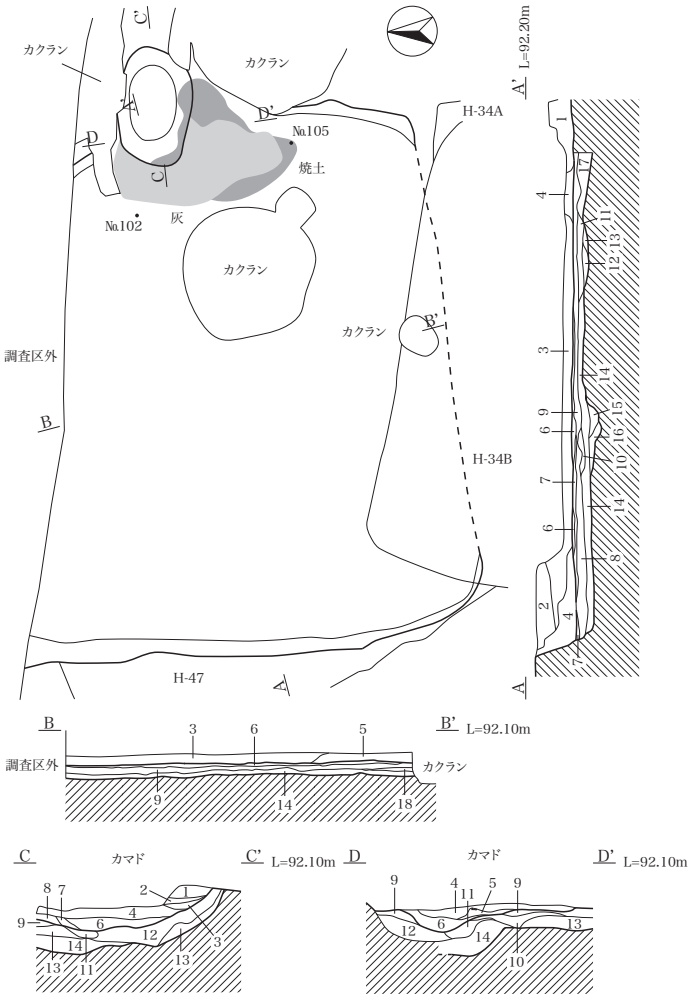
H－40(2)



H－40　カマド
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物少量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
3　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
4　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
5　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロック（カマド構築材）やや多量、灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
6　浅黄橙色　粘質シルトブロック。粘性強、しまり強。焼土微量含む。
7　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトブロック多量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
9　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや多量含む。
10　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。住居覆土２層。
11　灰黄褐色　住居覆土４層。
12　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土粒・炭化物少量含む。
13　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土粒・炭化物微量含む。
14　明黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。暗褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド天井残存部。
15　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド煙突部か。
16　明黄褐色　焼土層　粘性やや弱、しまりやや強。炭化物微量含む。にぶい黄橙色粘質シルトへグラデーションで変化。カマド天井下面。
17　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量含む。
18　黒褐色　炭化物と灰の互層。粘性弱、しまり弱。
19　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土粒・炭化物微量含む。
20　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。暗褐色シルト・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。貼床。
21　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや多量、灰白色軽石粒微量含む。
22　明黄褐色　粘性やや強、しまり強。黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド袖。
23　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色粘質シルトブロック多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド袖。カマド内面は橙色に焼けている。
24　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色粘質シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。カマド袖掘方。
25　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色シルト少量含む。
26　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。住居掘方埋土。

H－40　貯蔵穴
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
2　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。

H－43



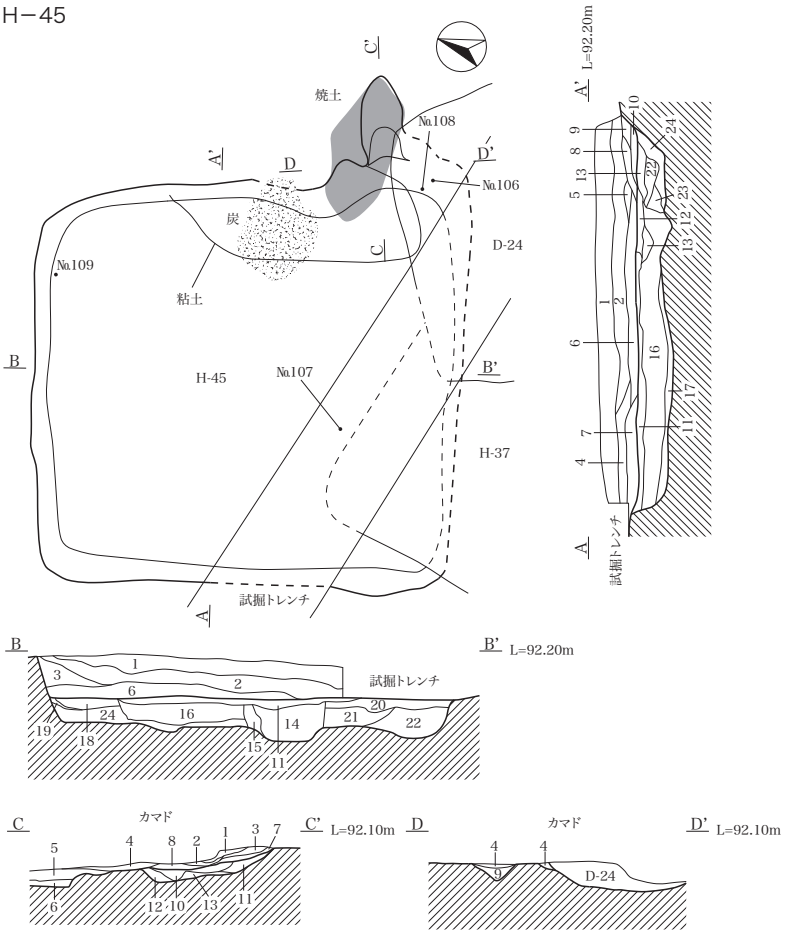
H－43
1　黒褐色　黄褐色粘土ブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物少量含む。
3　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
4　暗褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色土ブロック・灰白色軽石粒少量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物やや少量含む。
6　黄褐色シルトと黒褐色シルトの混土。粘性やや弱、しまり強。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。貼床。
7　黒色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。上部は厚さ 1cm の褐灰色貼床。
9　黒色　粘性やや弱、しまり強。褐色シルト・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。硬化層。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒微量含む。
11　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰少量、灰白色軽石粒微量含む。黄橙色粘質シルトブロック含む。
12　灰褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや少量含む。
13　黒色　灰・炭化物層。粘性弱、しまり強。
14　黒色　粘性やや弱、しまり強。灰白色軽石粒少量、焼土粒微量含む。上部は厚さ 2cm の黄橙色シルトの硬化層。
15　黒色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトブロック少量、焼土粒微量含む。ピットか。
16　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・焼土粒微量含む。ピットか。
17　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト少量、焼土ブロック微量含む。
18　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

H－43　カマド
1　赤褐色　焼土と暗褐色シルトの混土。粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物微量含む。
2　黒褐色　灰と炭化物の混合層。粘性弱、しまり弱。焼土微量含む。
3　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物・灰やや多量、灰白色軽石粒微量含む。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物・灰やや少量含む。
5　褐灰色　灰と炭化物の混合層。粘性弱、しまり弱。暗褐色シルト少量含む。
6　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、褐灰色粘質シルトブロック微量含む。
7　にぶい黄橙色　粘質シルトブロック。粘性やや強、しまりやや強。暗褐色シルト少量、焼土・炭化物微量含む。カマド構築材の崩落。
8　黒褐色　炭化物・灰・暗褐色シルトの混合層。粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒少量含む。
9　にぶい黄橙色シルトと黒褐色シルト・焼土ブロック・炭化物の混合層。粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。カマド構築材。
10　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・焼土粒・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
11　浅黄橙色　粘性やや強、しまりやや強。焼土ブロックやや多量含む。カマド下部埋土。
12　灰褐色　シルトと灰白色粘質シルト・焼土ブロックの混合層。粘性やや強、しまりやや強。カマド下部埋土。
13　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量含む。
14　黒色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック微量含む。自然堆積層。

カマド　0　1：40　1m　　0　1：60　2m

第 23 図　H － 40 号住居跡（2）、H － 43 号住居跡

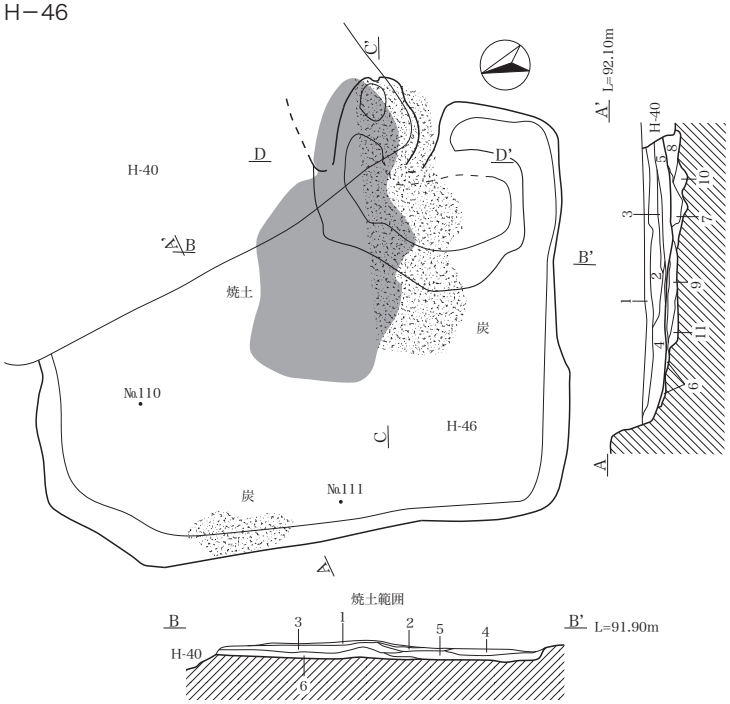
H－45



H－45
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物少量含む。
2　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
4　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物やや少量含む。
5　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土粒・炭化物やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック微量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや少量含む。
11　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物少量含む。
12　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
13　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや少量含む。
14　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物やや多量、灰白色軽石粒微量含む。床下土坑。
15　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物微量含む。床下土坑。
16　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
17　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
18　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
19　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。
20　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土粒・炭化物少量含む。
21　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物・灰少量含む。
22　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
23　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや多量含む。
24　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。暗褐色シルトやや少量、焼土粒・炭化物微量含む。

H－45　カマド
1　浅黄橙色　焼土ブロックと灰の混合層。粘性弱、しまり弱。
2　黒褐色　灰層　粘性弱、しまり弱。
3　灰褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロックやや少量、焼土・炭少量含む。
4　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物・灰やや多量、灰白色軽石粒少量含む。
5　灰黄褐色　粘性やや弱、しまり強。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物少量含む。床面。
6　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
7　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。炭化物・灰やや少量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄橙色シルト少量、焼土微量含む。
9　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土小ブロックやや少量含む。
10　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物少量含む。
11　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。上面に焼土・炭化物ブロック。
12　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
13　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

H－46



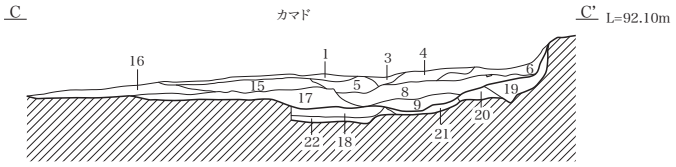
H－46
1　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、黄褐色シルトブロック・焼土・炭化物微量含む。
3　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土粒微量含む。炭化物・灰シート状に堆積。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色 FA 泥流ブロック・黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒微量、焼土ブロック・炭化物やや多量含む。
6　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
7　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量、黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。
8　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒微量含む。
10　褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。
11　明黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黒褐色シルト少量含む。

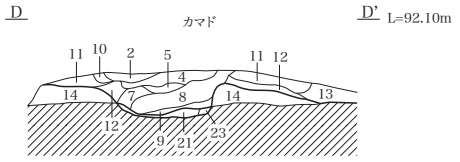
H－46　焼土範囲
1　暗褐色シルトと焼土ブロック・灰白色粘質ブロックの混土。粘性やや弱、しまりやや強。炭化物・灰少量、灰白色軽石粒微量含む。
2　黒褐色　灰層　粘性弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
3　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロック・焼土ブロック・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
4　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。住居覆土。
5　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄灰色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
6　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

カマド
0　1：40　1m　0　1：60　2m

第 24 図　H － 45 号住居跡、H － 46 号住居跡（1）

H－46

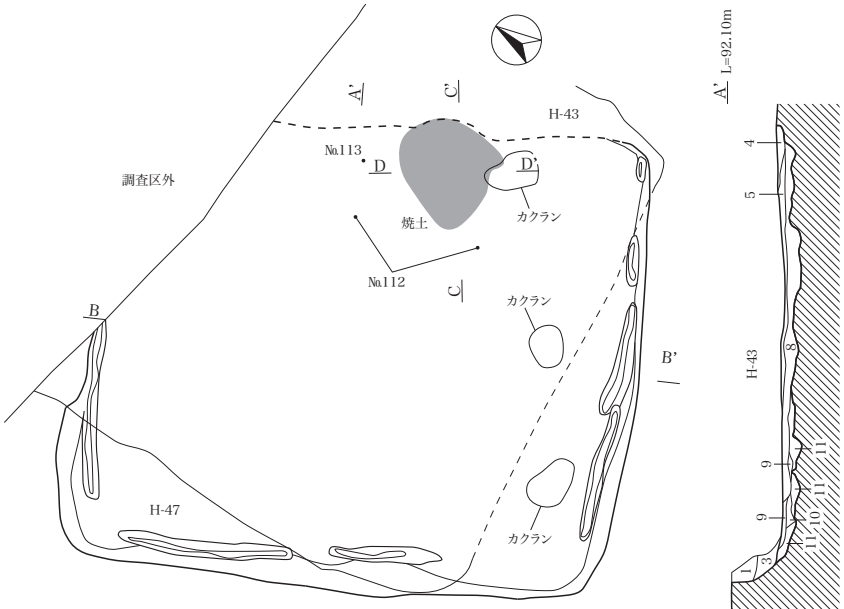


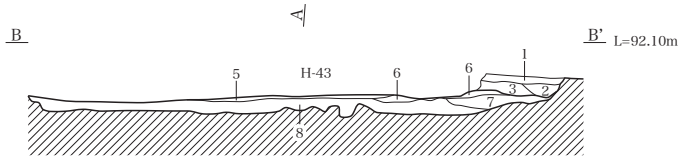


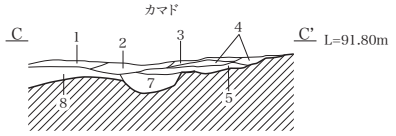
H－46　カマド

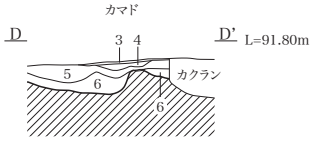
1　暗褐色シルトと焼土ブロック・灰白色粘質ブロックの混土。粘性やや弱、しまりやや強。炭化物・灰少量、灰白色軽石粒微量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土ブロック・炭化物少量含む。
3　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒微量含む。上面に炭化物・灰シート状に堆積。
4　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
5　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物・灰やや多量含む。
6　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロックやや多量、灰白色軽石粒微量含む。
7　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
8　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土粒・炭化物・灰ブロック少量含む。
9　にぶい黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土粒微量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物少量含む。
11　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物少量含む。
12　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土粒微量含む。
13　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土粒微量含む。住居覆土。
14　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロック少量含む。自然堆積層。Ⅷ層。
15　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや強。褐色シルトブロック・焼土ブロック・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。
16　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや少量、焼土粒・炭化物少量含む。住居覆土。
17　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルト・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
18　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
19　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土粒・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
20　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色粘質シルトブロックやや多量、焼土粒・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
21　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
22　黄褐色　粘性やや強、しまりやや強。黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒微量含む。
23　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。

H－47









H－47

1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土粒・炭化物微量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルト粒・黄褐色シルトブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄灰色シルトブロック・焼土粒・炭化物少量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄灰色シルトブロック・焼土ブロック・炭化物やや少量、灰白色軽石粒微量含む。
6　黒色　粘性やや弱、しまりやや強。焼土粒ブロック・炭化物やや多量、灰白色軽石粒微量含む。硬化層。
7　黒色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土粒・炭化物微量含む。黄褐色シルト層状に混入。
8　黒色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック部分的にやや多量、焼土・炭化物微量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルト粒・焼土・炭化物微量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色シルトやや多量含む。
11　明黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黒色シルトやや少量含む。FA 泥流層が撹拌された層。

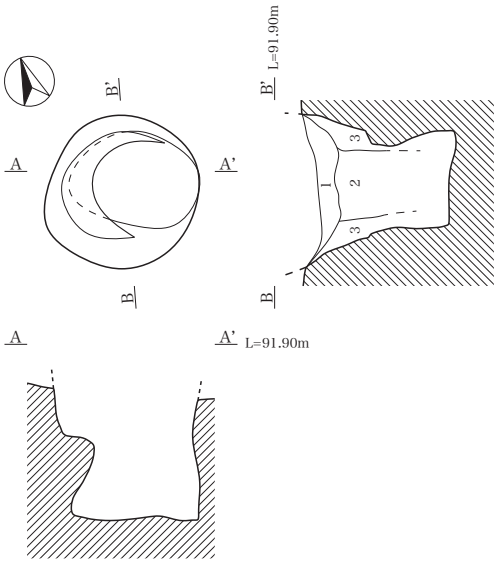
H－47　カマド掘方

1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロック・炭化物・灰やや多量含む。
2　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや少量含む。
3　褐灰色シルトと灰・炭化物・焼土ブロックの混合層。粘性弱、しまりやや弱。
4　明黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒色シルトやや少量、焼土・炭化物微量含む。
5　褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄灰色シルトブロックやや少量、焼土・炭化物少量含む。
6　黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄灰色シルトやや多量、焼土・炭化物微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまり弱。黄褐色シルト粒・焼土・炭化物微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄灰色シルトブロック部分的にやや多量、焼土・炭化物微量含む。

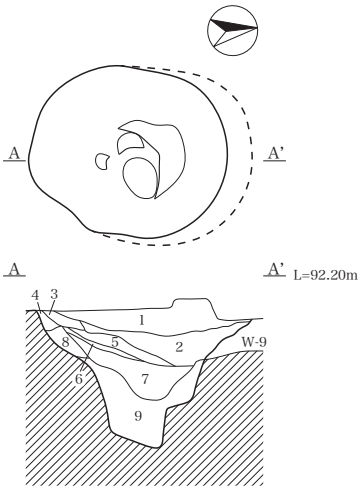
カマド
0　1：40　1m　　0　1：60　2m

第 25 図　H － 46 号住居跡（2）、H － 47 号住居跡

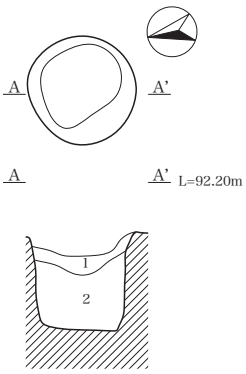
I－1



I－2



I－3

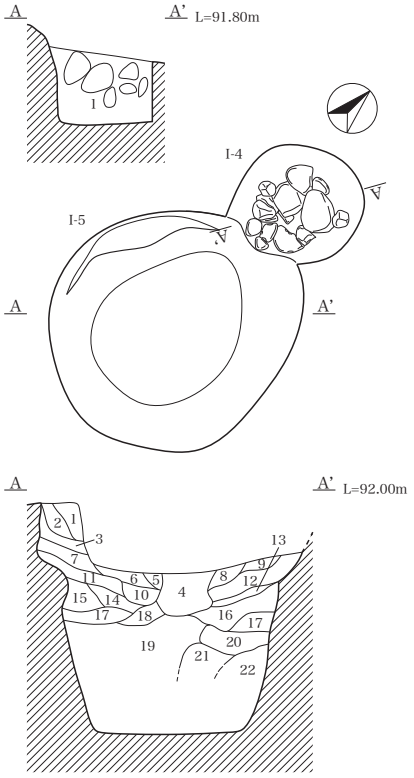


I－1
1　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
2　黄褐色　粘性やや強、しまり弱。灰白色シルト粒・焼土・炭化物微量含む。
3　暗褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土・炭化物少量、灰白色軽石粒微量含む。

I－2
1　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物少量含む。下部で軽石粒少なくなる。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
3　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量、黄橙色 FA 泥流ブロック微量含む。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
5　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色 FA 泥流ブロック少量、焼土・炭化物微量含む。
6　褐灰色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色 FA 泥流ブロック多量、焼土・炭化物微量含む。
7　褐灰色　粘性やや強、しまり弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黒褐色シルト少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
9　黒褐色　粘性やや弱、しまり弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。

I－3
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色軽石粒・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまり弱。灰白色軽石粒少量、黄褐色シルト粒・焼土・炭化物微量含む。

I－4・5



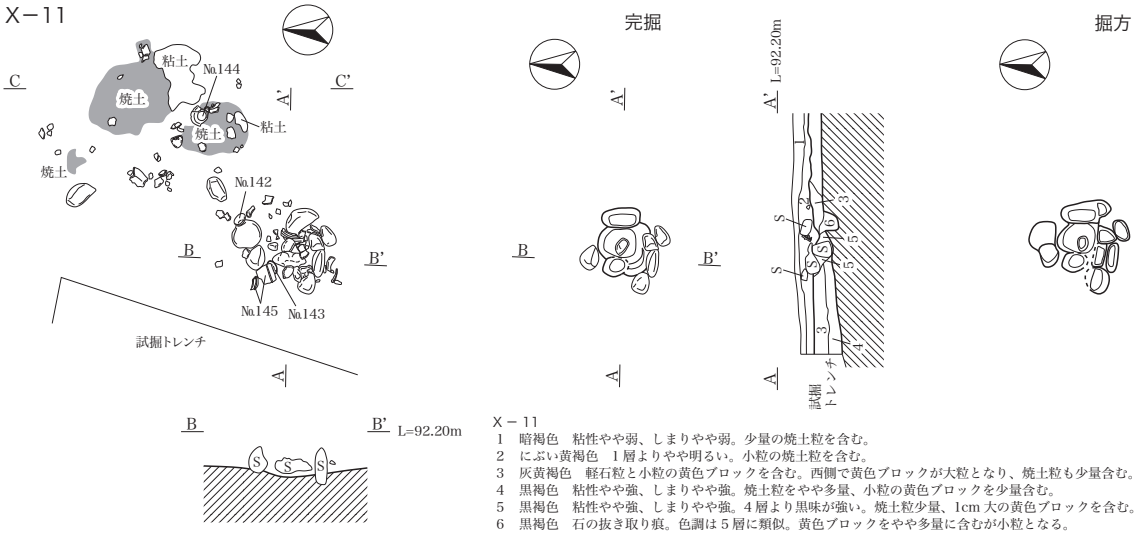
I－4
1　黒褐色　粘性やや強、しまり弱。黄褐色シルトブロック少量含む。

I－5
1　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄褐色シルトブロック・灰白色軽石粒やや少量、焼土少量含む。
2　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒少量、黄褐色シルトブロック・焼土微量含む。
3　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや強。黄橙色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。
4　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック少量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量、焼土微量含む。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック多量、焼土微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック・焼土微量含む。
8　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや多量、灰白色軽石粒・焼土微量含む。
9　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒少量、焼土微量含む。
10　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐色シルトブロック・灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。
11　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロックやや少量、灰白色軽石粒微量含む。
12　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック多量、灰白色軽石粒微量含む。
13　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色シルトブロック多量、灰白色軽石粒微量含む。
14　暗褐色　酸化した砂質シルト。粘性やや弱、しまり強。硬化。
15　黒褐色　酸化した砂質シルト。硬化。
16　褐色　酸化した砂質シルトブロックと黒褐色シルトの混土。粘性弱、しまり強。硬化。
17　暗褐色　酸化した砂質シルト。粘性やや弱、しまり強。黒褐色土少量含む。硬化。
18　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。褐色シルトブロック・焼土微量含む。
19　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック少量含む。
20　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック微量含む。
21　黒褐色　粘性やや強、しまりやや弱。黄褐色シルトブロック微量含む。
22　灰褐色　酸化した砂質シルト。粘性弱、しまり強。硬化。

0　1：60　2m

第 26 図　I－1 号井戸跡、I－2 号井戸跡、I－3 号井戸跡、I－4・5 号井戸跡

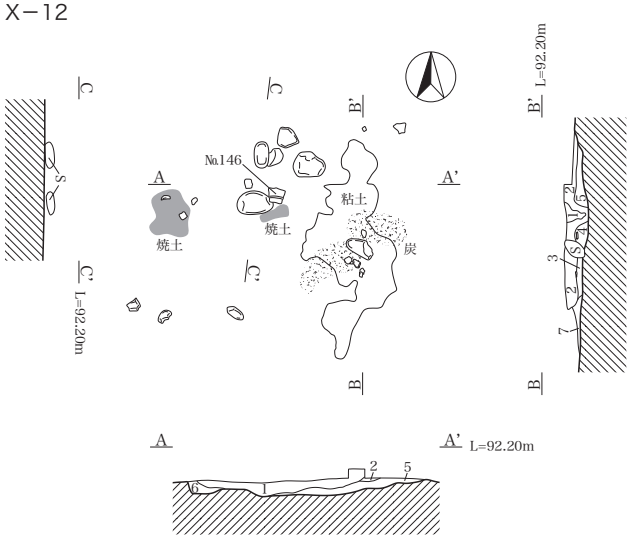
X－11



X－11
1　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。少量の焼土粒を含む。
2　にぶい黄褐色　1層よりやや明るい。小粒の焼土粒を含む。
3　灰黄褐色　軽石粒と小粒の黄色ブロックを含む。西側で黄色ブロックが大粒となり、焼土粒も少量含む。
4　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。焼土粒をやや多量、小粒の黄色ブロックを少量含む。
5　黒褐色　粘性やや強、しまりやや強。4層より黒味が強い。焼土粒少量、1cm 大の黄色ブロックを含む。
6　黒褐色　石の抜き取り痕。色調は5層に類似。黄色ブロックをやや多量に含むが小粒となる。

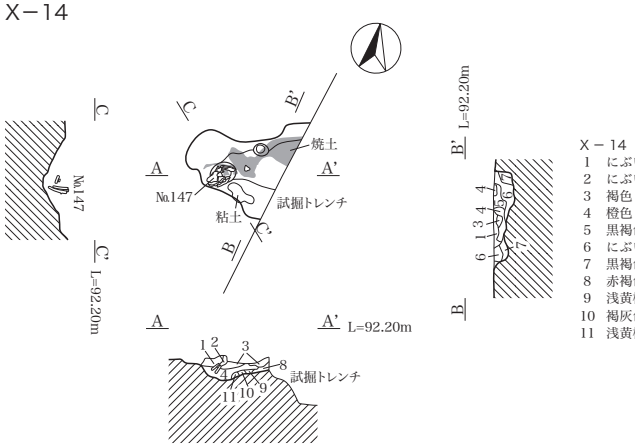
X－11　粘土範囲
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄橙色粘土ブロック・灰白色軽石粒やや多量、焼土・炭化物微量含む。カマド構築材。
2　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量、灰白色軽石粒やや少量含む。
3　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。
4　暗褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土・炭化物・灰やや少量、灰白色軽石粒少量含む。
5　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。住居覆土。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。住居覆土。
7　褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物微量含む。住居覆土。
8　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒やや少量、焼土・炭化物微量含む。別の住居覆土。
9　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄褐色 FA 泥流ブロック少量、灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。住居覆土。

X－12



X－12
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰褐色シルトブロック・灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。ピットもしくは石の痕か。
2　灰黄褐色　粘性やや弱、しまりやや強。灰白色軽石粒やや多量、黄橙色粘質シルトブロック多量、焼土ブロック少量含む。カマド構築材の崩落。
3　灰黄褐色　粘性やや強、しまりやや弱。焼土・炭化物やや多量含む。下面にシート状炭化物層。
4　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。黄灰色シルトブロック・焼土ブロック少量含む。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。下位の遺構覆土。
6　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物微量含む。下位の遺構覆土。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土・炭化物少量含む。下位の遺構覆土。

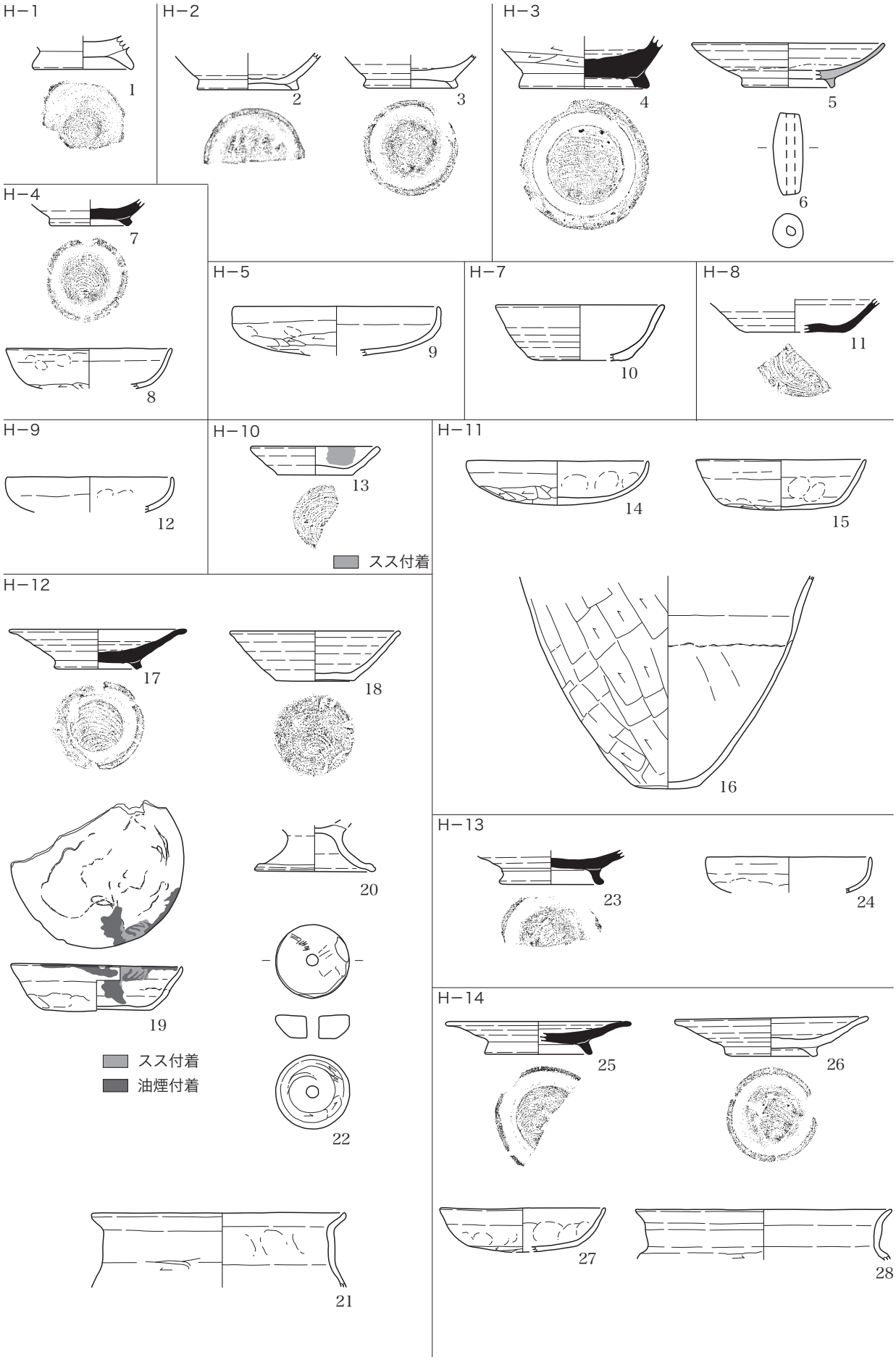
X－14



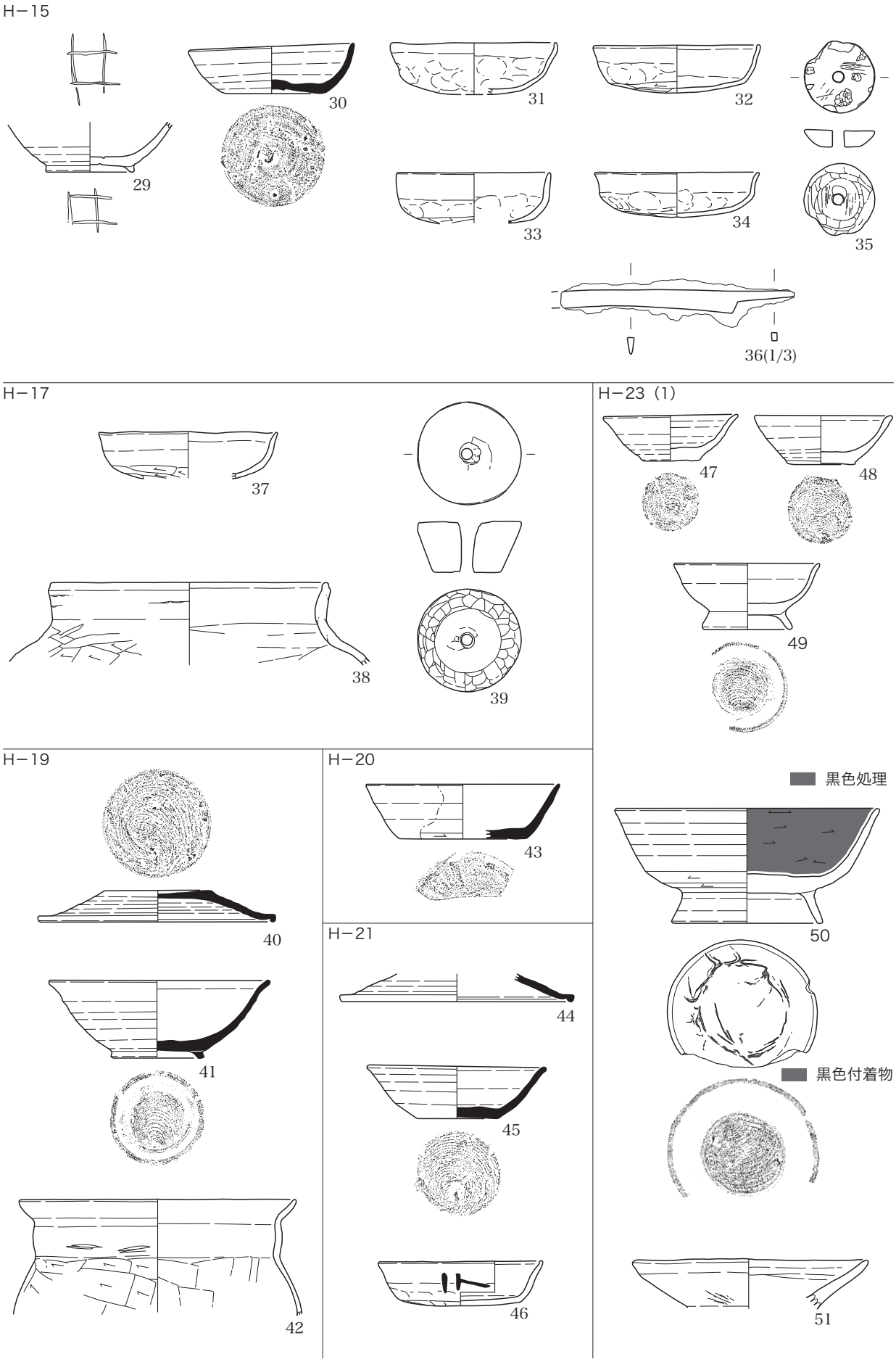
X－14
1　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒・焼土微量含む。
2　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土多量含む。
3　褐色　粘性やや弱、しまり弱。焼土粒多量含む。
4　橙色　焼土ブロック。粘性弱、しまりやや強。一部に灰が層状に貫入。
5　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。焼土ブロックやや少量、灰白色軽石粒少量含む。
6　にぶい黄褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。褐灰色粘土ブロック少量、灰白色軽石粒微量含む。
7　黒褐色　粘性やや弱、しまりやや弱。灰白色軽石粒少量、焼土・炭化物微量含む。住居覆土。
8　赤褐色　焼土・灰暗褐色シルトの混合層。粘性弱、しまりやや弱。
9　浅黄橙色　焼土ブロック。
10　褐灰色　粘性やや強、しまり弱。灰やや少量、焼土・炭化物微量含む。
11　浅黄橙色　焼土ブロック。粘性弱、しまり強。暗褐色シルト少量含む。

0　1：60　2m

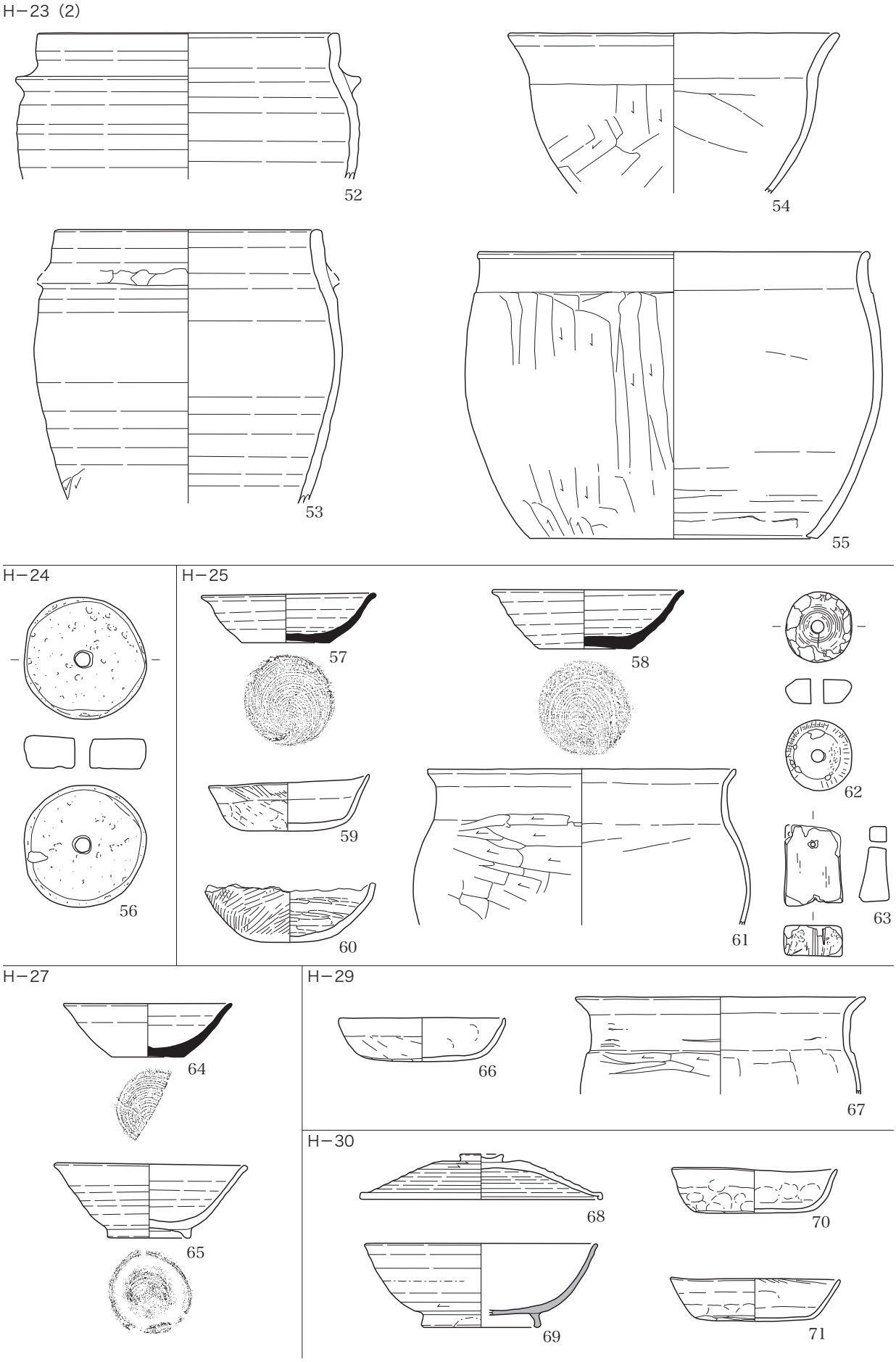
第27図　X－11、X－12、X－14



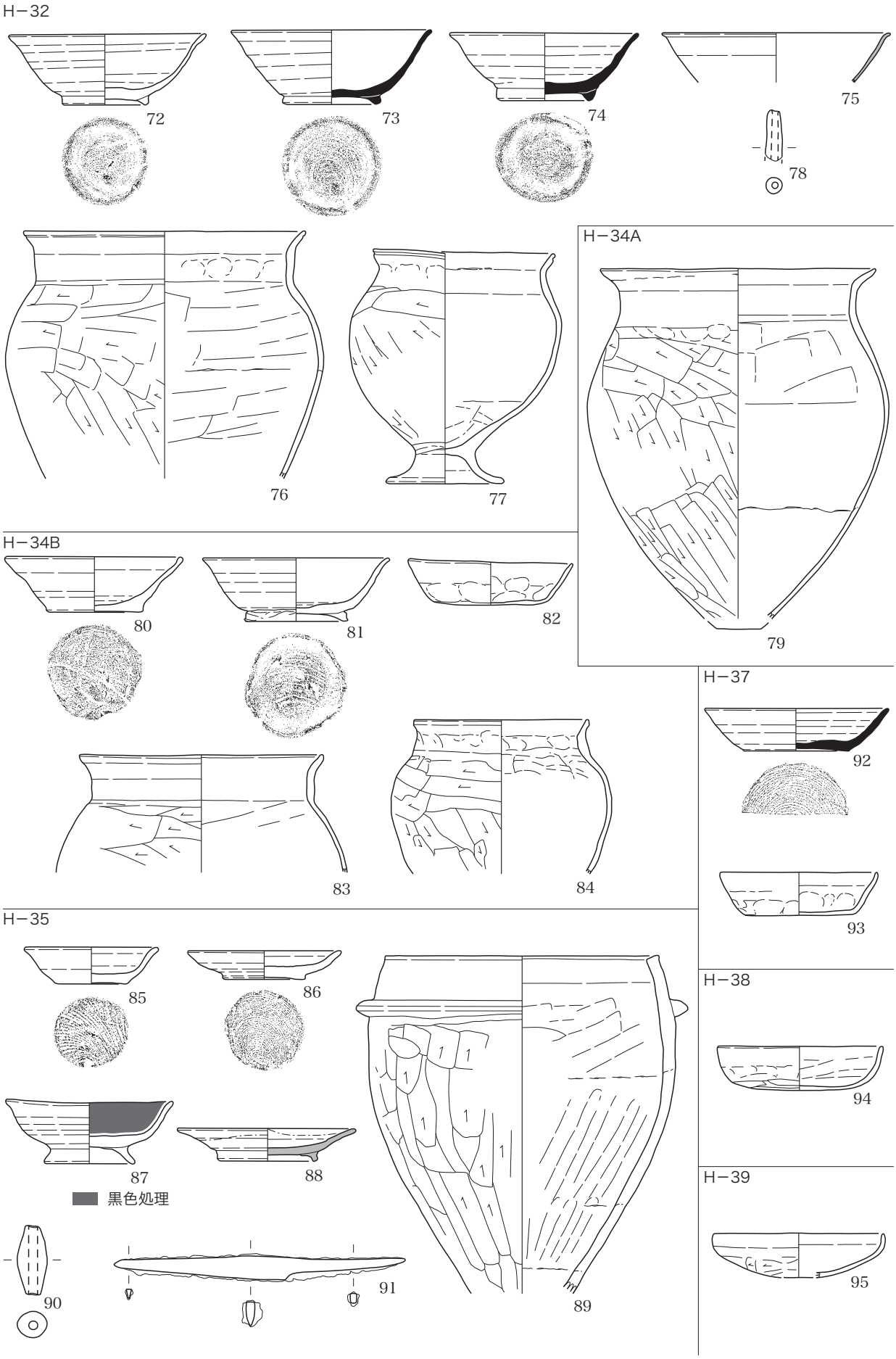
第 28 図　H − 1 ～ 5・7 ～ 14 号住居跡出土遺物



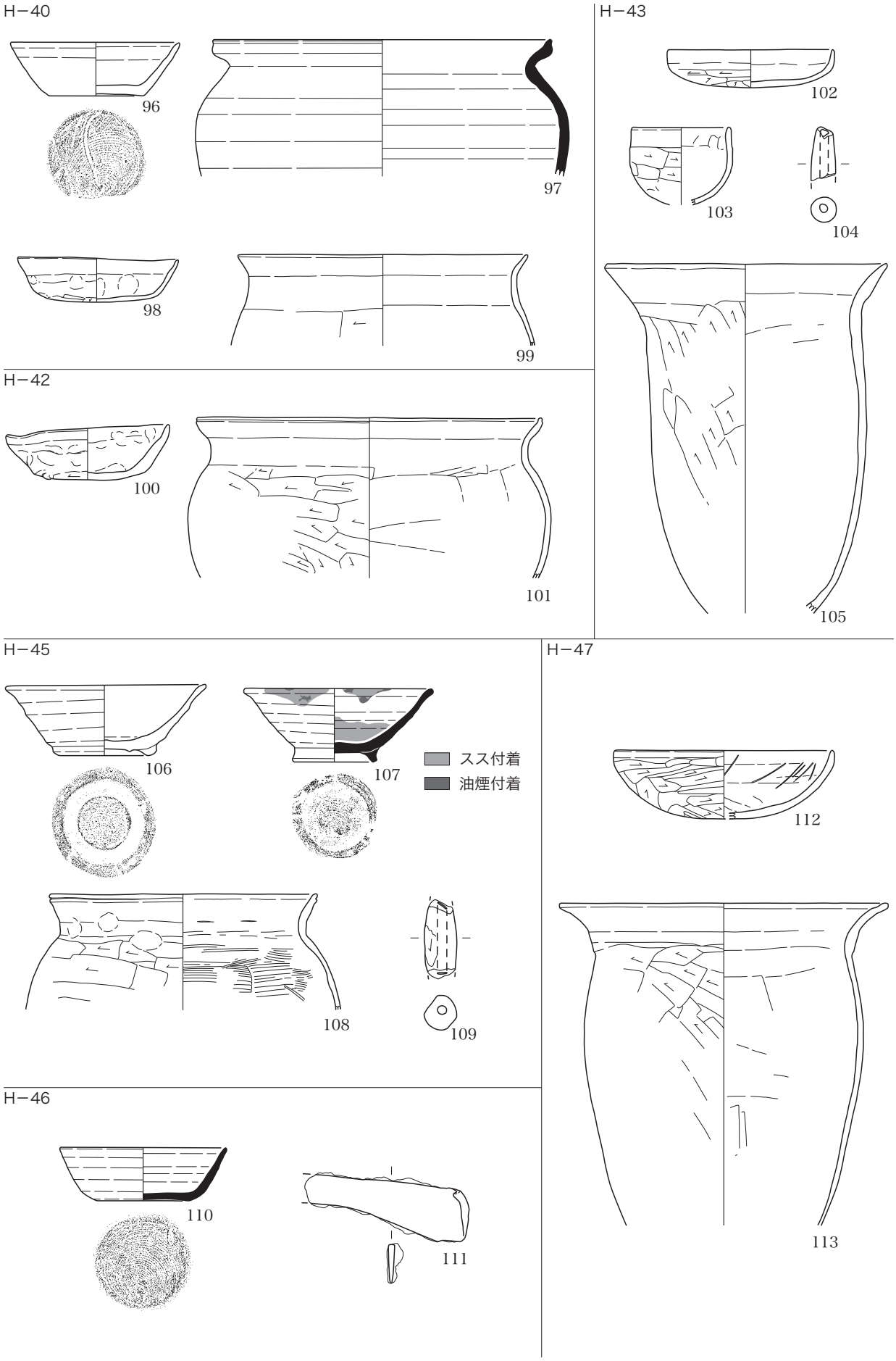
第 29 図　H － 15・17・19 ～ 21・23（1）号住居跡出土遺物



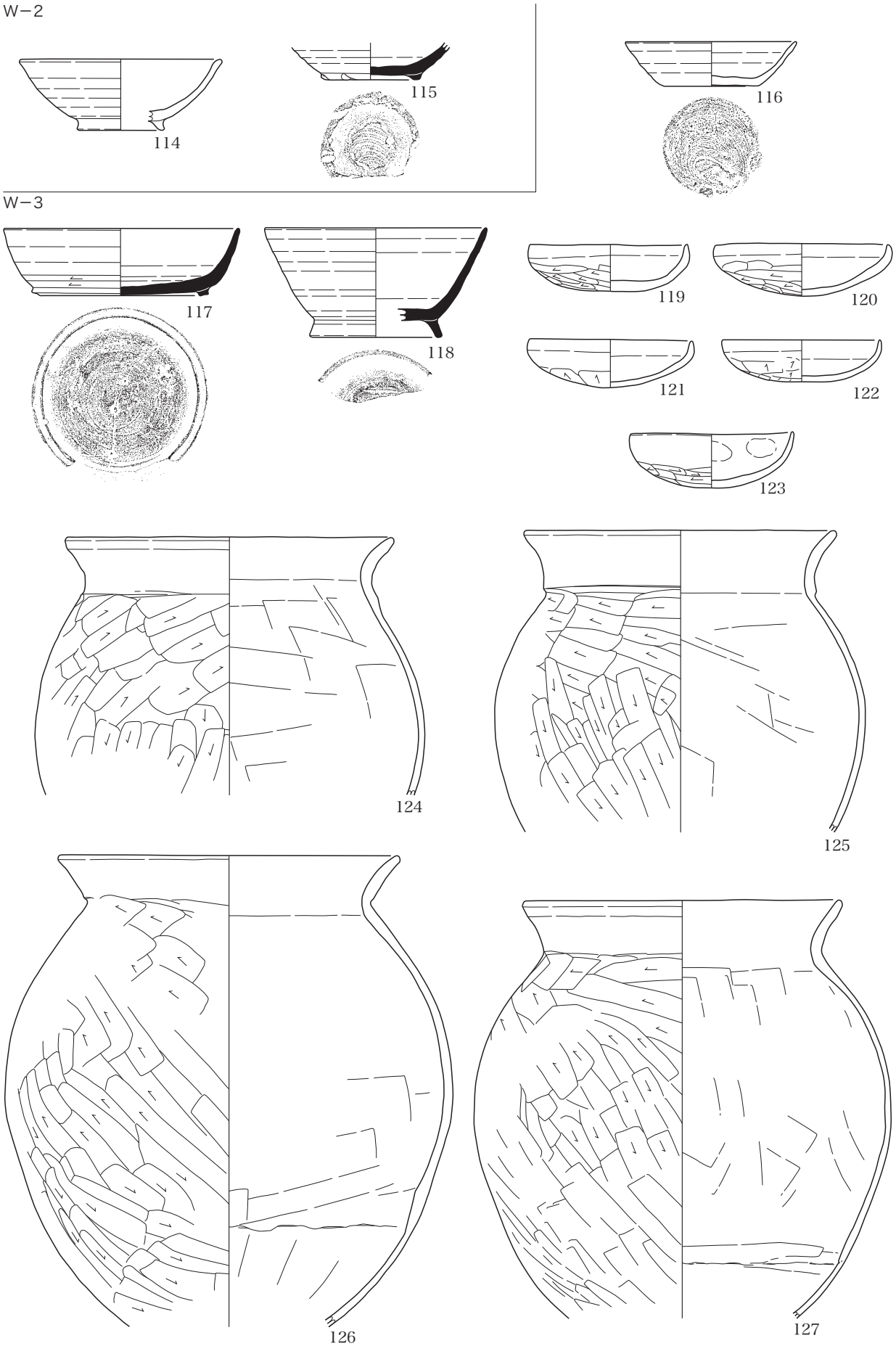
第 30 図　H － 23（2）～ 25・27・29・30 号住居跡出土遺物



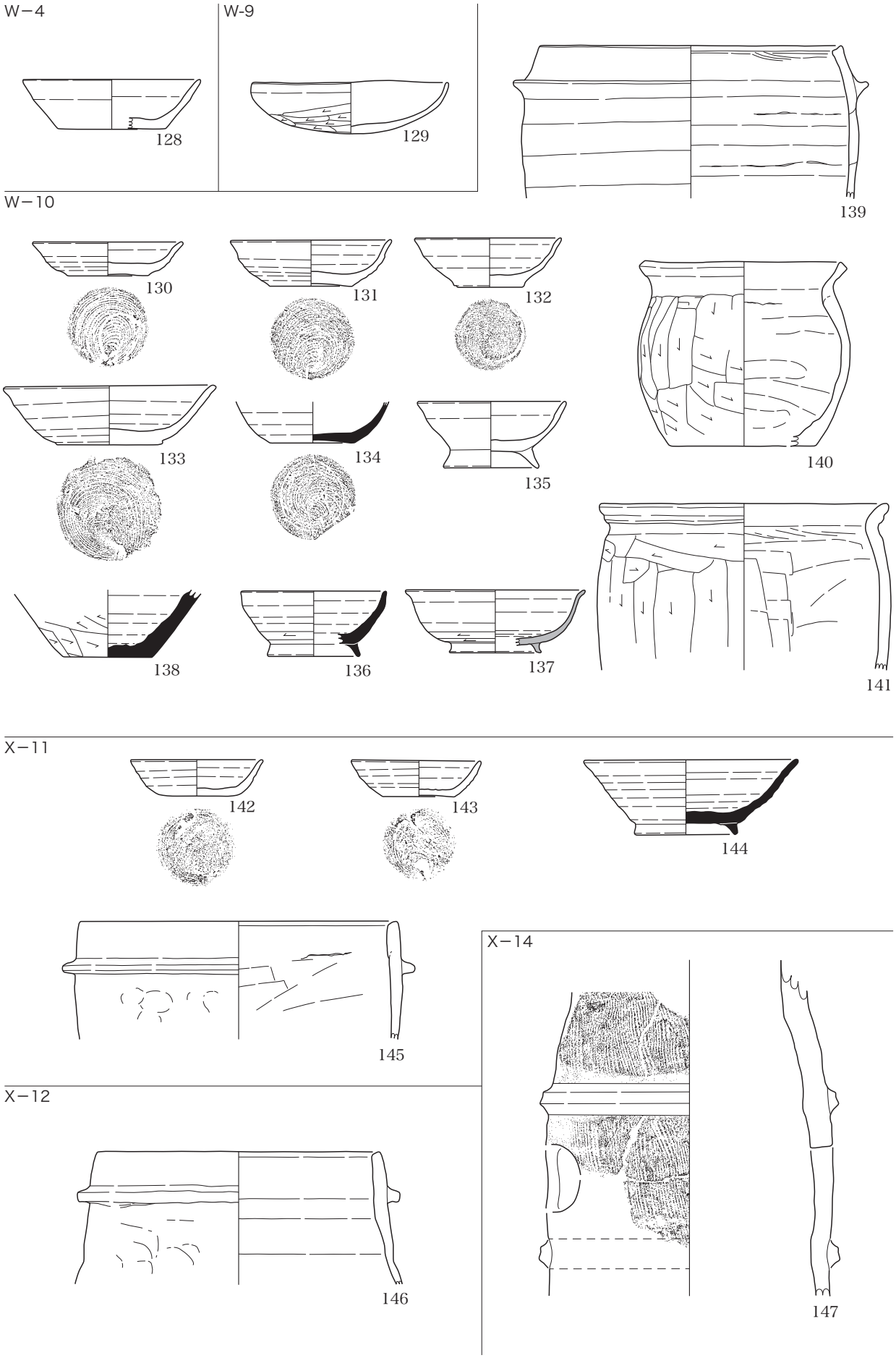
第 31 図　H － 32・34A・34B・35・37 ～ 39 号住居跡出土遺物



第 32 図　H − 40・42・43・45 ～ 47 号住居跡出土遺物



第 33 図　W － 2・3 号溝跡出土遺物



第 34 図　W − 4・9・10 号溝跡、X − 11・12・14 出土遺物

第VI章　朝倉上廊遺跡 As-B 直下の土地利用に関する植物珪酸体分析

第１節　はじめに

朝倉上廊遺跡（群馬県前橋市朝倉町）は、狭義の前橋台地上に形成された微高地に立地する。今回の調査区（A区）では、浅間Ｂテフラ（新井 ,1979 ※：以下 As-B）や下位の粘質土層などが観察される。As-B は層厚 20cm 程度であるが、陸上に降灰した際に形成される明瞭な成層構造が見られない。発掘調査所見では、西方から流動した可能性が指摘されている。As-B 下には明瞭な畦畔や水路など水田に関連する遺構は検出されないものの、As-B を巻き込み鋤き込んだ跡（耕作痕）がみられる。

今回の調査では、As-B 層が形成された後の土地利用に関して検討するための資料として、As-B 層直下の土層を対象とした植物珪酸体分析を実施し、栽培植物や周囲の環境に関する情報を得る。

第２節　試料

A 区では、北西端に基本土層①、北東端に基本土層②、南西側に基本土層③が設定されている。

基本土層①と基本土層②では、As-B の層厚が 20cm 前後である。As-B の直下や下方には褐色～暗褐色の粘質土がみられる。基本土層②では、As-B が下方へ掘り込まれる部分があり、As-B を鋤き込んだ跡（耕作痕）と考えられる。

基本土層③では、As-B が粘質土と混合している。層厚５～ 20cm 前後で、側方に大きく変化する。特に下限の側方変化が大きく、As-B が下方へ掘り込まれる部分が基本土層②で見られたような耕作痕と考えられる。

この３ヶ所から、As-B 直下を中心に、土壌試料８点を採取した。このうち、基本土層①では As-B 直下で古代の耕作土とされるＶ層（試料番号 1）および下位の１層（試料番号 2）２層（試料番号 3）の合計３点である。

基本土層②では、As-B 直下のＶ層で、鋤き込みが見られない部分（試料番号 1）と鋤込部（試料番号 3)、下位のVI層（試料番号 2）の合計３点である。

基本土層③では、As-B 直下のVI層で、鋤込まない部分（試料番号 1）と鋤込部（試料番号 2）の合計２点である。

これらの８点全点を対象として、耕作痕と鋤き込みが見られない部分での植物珪酸体の産状の違いを比較する。

第 13 表　A 区の分析試料

地点名	試料番号	採取層位
基本土層①	試料番号１	Ｖ層 (As-B 直下)
	試料番号２	１層 (掘りこみ)
	試料番号３	２層 (掘りこみ)
基本土層②	試料番号１	Ｖ層 : 鋤込の無い部分
	試料番号２	VI層 (As-B の下位層)
	試料番号３	Ｖ層 : 鋤込部
基本土層③	試料番号１	VI層 : 鋤込の無い部分
	試料番号２	VI層 : 鋤込部
合　計		８点

第３節　分析方法

各試料について、植物珪酸体の産状を調べる。各試料を 5g 前後（湿重）で秤量する。次に過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム，比重 2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400 倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細

胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、杉山・近藤（2010）の分類を参考に同定・計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量、検鏡に用いたプレパラートの数や検鏡した面積を計量し、堆積物 1g あたりの植物珪酸体含量（同定した数を堆積物 1g あたりの個数に換算）を求める。結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100 個体以下は「<100」で表示する。各分類群の含量は 10 の位で丸める（100 単位にする）。なお、今回は杉山（2000）を参考として主な分類群の推定生産量（kg/㎡・cm）を求める。推定生産量は機動細胞珪酸体の含量（個 /g）に土壌の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体 1 個体当たりの植物体乾重 ; 単位 :10^{-5}g）をかけて、面積 1㎡で層厚 1cm 当たりの植物体の生産量を求めたものである。分類群の換算係数は、イネ属（赤米の地上部として）が 2.94、キビ連（ヒエ属として）が 8.4、メダケ属（ネザサ節として）が 0.48、ヨシ属が 6.31、ススキ属が 1.24 を用いる。この結果も表中に併記する。また、各分類群の植物珪酸体含量を図示する。

第 4 節　結果

結果を第 14 表と第 35 図に示す。各試料から検出された植物珪酸体の保存状態は、概ね良好である。

以下に各地点での産状を述べる。

(1) 基本土層①

3 点の植物珪酸体含量は、下位から上位にかけて増加する傾向がみられる。すなわち、試料番号 3（2 層）で 50,400 個 /g、試料番号 2（1 層）で 61,500 個 /g、試料番号 1（Ⅴ層）で 76,300 個 /g である。

各試料からは、栽培植物であるイネ属が産出し、概して機動細胞珪酸体の含量が多い。また、その含量も上位にかけて概ね増加する傾向がみられる。すなわち、試料番号 3 では短細胞珪酸体の含量が 900 個 /g、機動細胞珪酸体が 2,900 個 /g、試料番号 2 では短細胞珪酸体の含量が 2,700 個 /g、機動細胞珪酸体が 4,500 個 /g、試料番号 1 では短細胞珪酸体の含量が減少して 2,400 個 /g となるものの、機動細胞珪酸体は 5,900 個 /g と下位試料よりも多い。また各試料からは、籾殻（穎）に形成される穎珪酸体、葉部の短細胞列や機動細胞列も検出される。

栽培種を含む分類群としてはキビ連やコムギ連も産出し、キビ連は短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体、コムギ連は短細胞珪酸体がみられる。

この他にメダケ属を含むタケ亜科、ヨシ属、コブナグサ属、ススキ属、イチゴツナギ亜科などがみられる。この中では、タケ亜科やヨシ属の含量が多い。なお主な分類群の推定生産量（kg/㎡・cm）は、イネ属が 0.85 ～ 1.72、キビ連が 0.16 ～ 1.10、メダケ属が 0.02 ～ 0.03、ヨシ属が 0.84 ～ 1.65、ススキ属が 0.05 ～ 0.08 である。なお、コムギ連は機動細胞珪酸体が形成されないために、生産量の推定には至らない。またイネ科起源（棒状珪酸体 , 長細胞起源 , 毛細胞起源）も多くみられるものの、由来となった分類群は明確にならない。他の草本類として、カヤツリグサ科も検出される。

(2) 基本土層②

3 点の植物珪酸体含量は、As-B 直下の試料で多い傾向がみられる。すなわち、試料番号 2（Ⅵ層）が 75,300 個 /g に対して、As-B 直下の試料番号 1（Ⅴ層）は 92,000 個 /g、試料番号 3（Ⅴ層）は 87,800 個 /g である。各試料からはイネ属が産出し、概して機動細胞珪酸体の含量が多い。また、その含量も As-B 直下の試料で多い傾向がみられる。すなわち、Ⅵ層の試料番号 2 では短細胞珪酸体の含量が 1,000 個 /g、機動細胞珪酸体が

第 14 表　A 区の植物珪酸体含量

（個 /g）

分　類　群	基本土層① V層 1	基本土層① 1 層 2	基本土層① 2 層 3	基本土層② V層 1	基本土層② VI層 2	基本土層② V層 3	基本土層③ VI層 1	基本土層③ VI層 2
イネ科葉部短細胞珪酸体								
イネ属	2,400	2,700	900	7,700	1,000	8,000	300	100
キビ連	400	200	200	1,100	400	400	<100	<100
メダケ属	200	400	200	1,500	600	800	400	100
タケ亜科	4,800	1,900	2,200	4,800	5,700	4,700	800	800
ヨシ属	1,500	1,500	2,000	3,700	1,800	2,900	1,100	1,000
コブナグサ属	400	400	400	700	400	600	-	-
ススキ属	700	1,300	1,600	2,000	1,400	2,500	700	400
コムギ連	400	400	-	400	400	-	-	-
イチゴツナギ亜科	1,100	400	700	1,100	1,000	800	200	100
不明	29,300	23,100	24,200	27,200	28,400	26,000	4,900	4,100
イネ科葉身機動細胞珪酸体								
イネ属	5,900	4,500	2,900	11,200	5,700	10,200	1,300	800
キビ連	1,300	200	200	1,100	1,000	600	200	100
メダケ属	400	600	700	2,200	1,000	1,200	700	300
タケ亜科	5,200	3,000	1,100	6,100	6,900	6,600	1,400	1,900
ヨシ属	2,600	2,100	1,300	3,700	2,000	3,700	1,700	1,700
ススキ属	700	400	400	700	800	1,000	300	100
不明	18,900	18,600	11,300	16,900	16,500	17,800	5,200	3,600
合　計								
イネ科葉部短細胞珪酸体	41,300	32,200	32,400	50,200	41,200	46,700	8,500	6,800
イネ科葉身機動細胞珪酸体	35,000	29,300	18,000	41,800	34,100	41,100	10,800	8,700
植物珪酸体含量	76,300	61,500	50,400	92,000	75,300	87,800	19,300	15,500
単位面積 (層厚 1cm) 当たりの植物体生産量 (単位：kg/㎡・cm)								
イネ属	1.72	1.34	0.85	3.28	1.68	3.01	0.37	0.25
キビ連	1.10	0.16	0.19	0.92	0.86	0.52	0.13	0.12
メダケ属	0.02	0.03	0.03	0.11	0.05	0.06	0.03	0.02
ヨシ属	1.65	1.31	0.84	2.35	1.29	2.32	1.05	1.10
ススキ属	0.08	0.05	0.06	0.08	0.10	0.13	0.04	0.02
珪化組織片								
イネ属穎珪酸体	＊	＊	＊	＊＊	＊	＊＊	＊	＊
イネ属短細胞列	＊	＊＊	＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊	-
イネ属機動細胞列	＊	＊	＊	-	-	-	＊	-
イネ科起源 (その他)								
棒状珪酸体	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊
長細胞起源	＊	＊	＊	＊＊	＊	＊	＊	＊
毛細胞起源	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊
草本起源								
カヤツリグサ科	＊＊	＊	-	＊＊	＊＊	＊＊	＊	＊

含量は、10 の位で丸めている (100 単位にする)

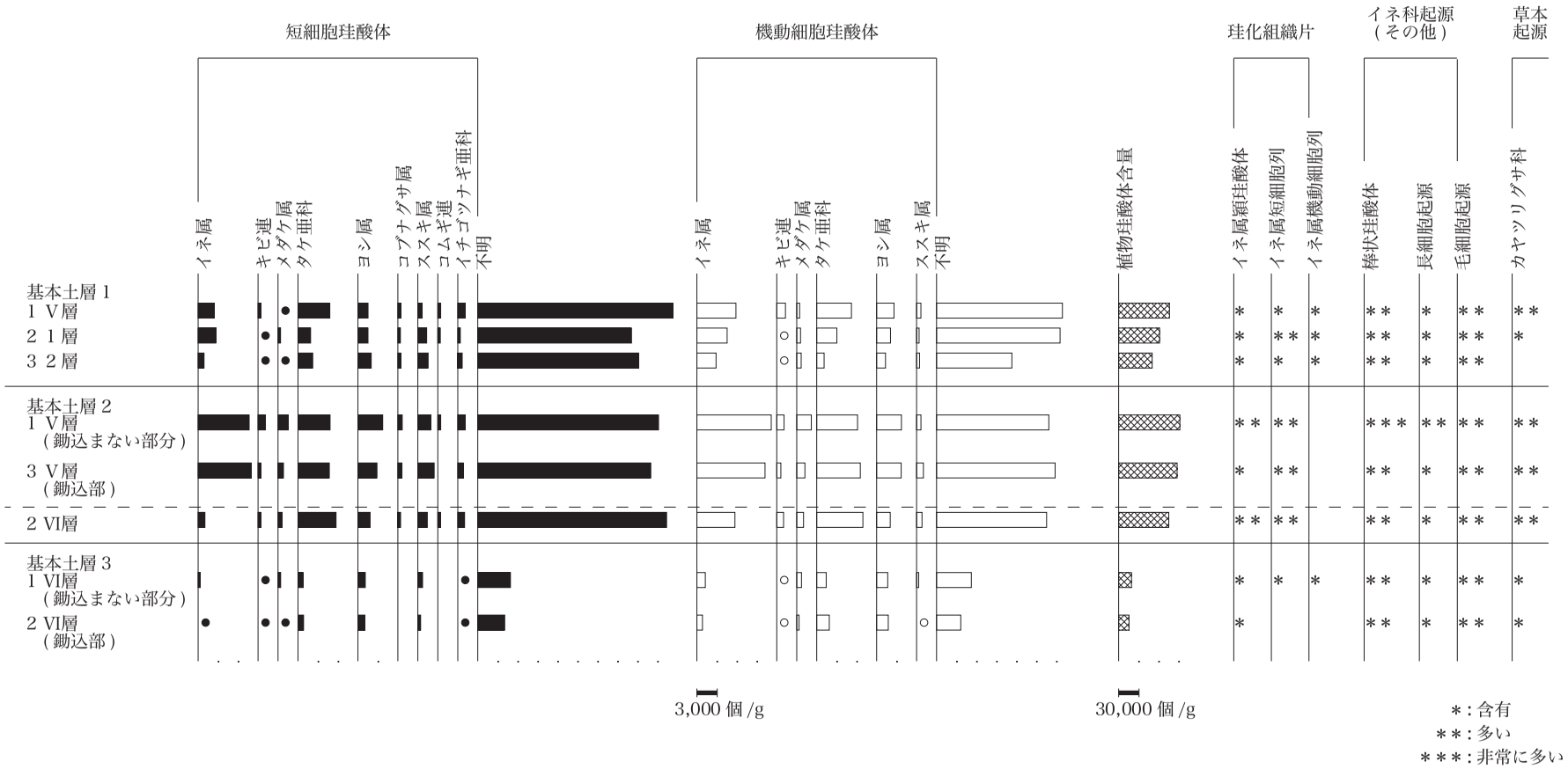
合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている

－：未検出 , ＊：含有 , ＊＊：多い , ＊＊＊：非常に多い

5,700 個 /g に対して、As-B 直下のⅤ層のうち、試料番号 1 では短細胞珪酸体の含量が 7,700 個 /g、機動細胞珪酸体が 11,200 個 /g、試料番号 3 では短細胞珪酸体の含量が 8,000 個 /g、機動細胞珪酸体が 10,200 個 /g である。鋤き込みが見られない部分の試料番号 1 と鋤込部の試料番号 3 には大きな違いは見られず、いずれも機動細胞珪酸体含量が調査した試料のうちで最も多い範疇に有る。また各試料からは、穎珪酸体や短細胞列も検出される。

基本土層①と同様に、栽培種を含む分類群としてキビ連やコムギ連も産出する。

この他に基本土層①と同様な分類群が見られ、タケ亜科やヨシ属の含量が多い。なお主な分類群の推定生産量（kg/㎡・cm）は、イネ属が 1.68 ～ 3.28、キビ連が 0.52 ～ 0.92、メダケ属が 0.05 ～ 0.11、ヨシ属が 1.29 ～ 2.35、ススキ属が 0.08 ～ 0.13 である。コムギ連については、前述のように生産量の推定に至らない。またイネ科起源（棒状珪酸体 , 長細胞起源 , 毛細胞起源）も多くみられるものの、由来となった分類群は明確にならない。他の草本類として、カヤツリグサ科も検出される。



乾土 1g あたりの個数で示す。●○は 300 個未満を定性的に示す。

第 35 図　A 区での植物珪酸体群集の層位的・空間的な変化

(3) 基本土層③

2 点の植物珪酸体含量は、調査地点の中で最も少なく、いずれもⅥ層の試料番号 1 で 19,300 個 /g、試料番号 2 で 15,500 個 /g である。

各試料からはイネ属が産出するものの、他地点よりも少ない。すなわち、試料番号 1 では短細胞珪酸体の含量が 300 個 /g、機動細胞珪酸体が 1,300 個 /g、試料番号 2 では短細胞珪酸体の含量が 100 個 /g、機動細胞珪酸体が 800 個 /g である。基本土層②と同様に、鋤き込みが見られない部分の試料番号 1 と鋤込部の試料番号 2 には極端な違いは見られない。試料番号 2 では穎珪酸体、試料番号 1 では穎珪酸体や短細胞列、機動細胞列も検出される。

また栽培種を含む分類群としてキビ連が産出する。

この他に他地点と同様な分類群が見られ、タケ亜科やヨシ属の含量が多い。なお主な分類群の推定生産量（kg/㎡・cm）は、イネ属が 0.25 ～ 0.37、キビ連が 0.12 ～ 0.13、メダケ属が 0.02 ～ 0.03、ヨシ属が 1.05 ～ 1.10、ススキ属が 0.02 ～ 0.04 である。またイネ科起源（棒状珪酸体 , 長細胞起源 , 毛細胞起源）の由来となった分類群は明確にならない。他の草本類として、カヤツリグサ科も検出される。

第 5 節　考察

(1) 稲作について

A 区の土層断面で見られた As-B 直下層では、基本土層①のⅤ層や基本土層のⅤ層、基本土層③のⅥ層ではイネ属が産出し、基本土層①と基本土層②で多かった。安定した稲作が行われた水田跡の土壌では、栽培されていたイネ属の植物珪酸体が土壌中に蓄積され、植物珪酸体含量（植物珪酸体密度）が高くなる。水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体（機動細胞由来）が試料 1g 当り 5,000 個以上の密度で検出された場合に、そこで稲作が行われた可能性が高いと判断されている（杉山 ,2000）。ただし、3,000 個 /g 程度でも水田遺構が検出される事例も有り、これを判断の基準とする場合もある（株式会社古環境研究所 ,2007）。これらの事例と比較すれば、基本土層①のⅤ層や基本土層②のⅤ層では稲作が行われていたのと同等あるいは以上の含量と言える。また推定された生産量（kg/㎡・cm）も他の分類群と比較して多く、耕作に伴って植物体が土層中に混入したことがうかがえる。珪化組織片として検出された穎珪酸体や短細胞列は植物体の存在を示唆しており、土壌中に混入した稲籾殻や葉部に由来すると思われる。

ただし、As-B の直下では畦畔跡など稲作を示唆する明瞭な遺構は確認されていない。また、イネ属の植物珪酸体が多く、珪化組織片が含まれる状況は、稲作などの農耕跡だけでなく、植物体が土層中に多く混入した場合にも考えられる。農耕で言えば、畑作で敷き藁が行われ、耕土中に敷き藁に使われた植物体が混入した場合には、畑作耕土にイネ属の植物珪酸体や珪化組織片が含まれると想定される。また植物珪酸体分析ではイネ属などのイネ科作物に関する情報は得られるが、他の作物（マメ類や野菜類など）では明瞭で特徴的な植物珪酸体を形成しないことから栽培の痕跡が得にくい。

これらの点を考慮すれば、今回の分析結果が示唆する可能性として調査区内での稲作だけでなく、マメ類や野菜類などの耕作が行われ、それに伴う敷き藁などの農業資材として稲藁などが利用されたことも可能性の 1 つとして挙げておきたい。この点は今後さらに、発掘調査所見や周辺の遺跡の資料を含めて検討したい。

なお、基本土層①よりも基本土層②でイネ属の含量が多かった。植物珪酸体含量の総数も基本土層②で多い点を考慮すれば、基本土層②で植物珪酸体が蓄積しやすかったことが想定される。その要因には、生産量や耕作期間、堆積環境の違いが考えられる。

また、基本土層①ではⅤ層より下位の 1 層や 2 層、基本土層②ではⅥ層でもイネ属が産出し、含量も多かった。

これは、As-B 降灰より以前から稲作が行われていたことを反映する。

今回はイネ属以外にも、栽培種を含む分類群としてキビ連やコムギ連もみられる。今回の産状では調査地点での栽培を積極的に支持するものでは無いが、周辺にはこれらの栽培が有って、調査地へ植物珪酸体（または植物体）が混入した可能性も考えられる。

なお、基本土層②のⅤ層で見られた耕作痕と鋤き込みが見られない部分では、イネ属などの産状に大きな違いは見られなかった。植物珪酸体分析により判るイネ属などの作物に関しては明瞭な差が見られず、耕作痕と鋤き込みが見られない部分の違いは他の作物での耕作方法の違いを反映するものかもしれない。今後さらに、同様な耕作痕を対象として植物珪酸体分析とともに花粉分析や種実同定を実施して資料を蓄積することが必要と考えられる。

ところで、基本土層③のⅥ層でも耕作痕と鋤き込みが見られない部分で大きな違いは見られなかった。また他地点と同様な分類群がみられるものの、植物珪酸体含量が少なかった。基本土層③では As-B の残り方が他の地点よりも悪い状態にあり、攪乱を受けているようにもみられる。その影響が下位にも及び、直下層に上位の土壌が混入して、含まれる植物珪酸体の量が希釈され、結果的に植物珪酸体含量が少なくなったと考えられる。

(2) 古植生

現地調査の段階では As-B 直下で湿潤な場所を想定させる腐植土層は見られなかった。しかし、今回の分析結果から算出した推定生産量（kg/㎡・cm）ではヨシ属が多かった。ヨシ属は、湿潤な場所に生育する。湿潤な場所に生育するコブナグサ属も見られ、イネ科以外の草本類として検出されたカヤツリグサ科も同様に湿潤な場所に生育する種類が多い。これらを考慮すれば、調査区内に湿潤な場所も推定される。これらの点を考慮すれば、As-B 降灰前後に調査地点が湿潤な状態にあった可能性も想定される。また周辺には乾いた場所に生育する種類の多いタケ亜科やススキ属などが生育していたと思われる。調査区内や周辺の植生については、花粉分析や種実同定を含めた分析調査を実施して資料を蓄積することが必要と考えられる。

引用文献

新井房夫 ,1979, 関東地方北西部の縄文時代以降の指標テフラ層 . 考古学ジャーナル ,157,41-52.

株式会社古環境研究所 ,2007, 付編 石関西田遺跡Ⅲの自然科学分析 . 石関西田遺跡Ⅲ 市道 00-061 号線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 , 前橋市埋蔵文化財発掘調査団 .7 ｐ .

近藤錬三 ,2010, プラント・オパール図譜 . 北海道大学出版会 ,387p.

杉山真二 ,2000, 植物珪酸体（プラント・オパール）. 辻　誠一郎（編著）考古学と自然科学３　考古学と植物学 , 同成社 ,189-213.

第Ⅶ章　まとめ

朝倉上廊遺跡の調査は、事前の試掘調査の結果をもとに古代集落の調査と As-B 下における生産址の確認の両面に主眼が置かれている。それぞれについて調査で得られた所見をまとめ、本書の総括としたい。

第 1 節　古代集落の様相

本遺跡では、遺跡南西端近くで 1 軒、遺跡東半で 44 軒、計 45 軒の住居跡が検出された。検出層位は基本土層Ⅵ層下部からⅧ層上面で、それより上位、下位のいずれからもみつかっていない。覆土は暗褐色を呈しⅥ層に酷似して、Ⅵ層中でプランを検出するのは実質不可能である。重複関係がある場合も同様で、新旧の把握は覆土のみではできず床や掘方面の形状、カマドの有無等で行った。遺物は下位の遺構のものが混じる例が多く、掲載した資料にも誤認がある可能性がある。

これらのことを踏まえたうえで以下に遺物と重複関係から集落の消長を復元する。

集落形成の嚆矢は 7 世紀末から 8 世紀初頭の H-47 号住居跡で、H-43 号住居跡がそれに後続する。これらと重複する H-39 号住居跡からも 8 世紀代の遺物が出土しているが遺構の時期は不確実である。その後の 8 世紀代住居は H-9・13・17 号住居跡が遺物から、また、H-5 号住居跡が重複関係から確実視される。H-17 号住居跡は 8 世紀中頃、H-5・9・13 号住居跡は中頃～後半と推定している。また、重複関係から H-13 号住居跡より古いと考えられる H-22・24・33 号住居跡も 8 世紀代に比定してよいであろう。以上のように 8 世紀代の住居跡としては、推定を含めて 10 軒が挙げられる。その他、8 世紀～ 9 世紀前半の可能性が高いと推定される住居跡として H-20・26・28 号住居跡の 3 軒がある。これらと重複してより新しい H-15 号住居跡が 9 世紀前半なので、それ以前に位置づけられる。

なお、住居跡以外で 8 世紀代に構築された遺構として、W-3・9 号溝がある。W-9 号溝は B 区住居群の南部に位置する東西溝で、H-10・12 ～ 14・19 号住居跡と重複している。溝の中から H-47 号住居跡とほぼ同時期の土師器坏が出土しており、8 世紀初頭前後に比定できる。そのため重複する住居群のいずれよりも古いと推定される。用途や目的ははっきりせず、土層の堆積状態からは水路とは考えにくい。W-3 号溝は B 区から C 区まで続く大溝であり、明らかに水路として構築されたものである。土層は水成堆積が認められ、何度も掘り直されている。溝西端の縁辺底面から土師器坏・甕が数個体ずつ集中して出土しており、それらが 8 世紀中葉に比定できることから構築開始もその頃と考えられる。その後 9 世紀にかけて継続して灌漑用水路として利用されていたものと推定している。底面の傾斜から推定すると、東から西へ水を流していたようである。B 区西端近くで南へ屈曲している。

9 世紀代は、前半期に上記の H-15 号住居跡のほか H-11・38・46 号住居跡の計 4 軒が比定される。その後の 9 世紀中頃～後半段階は H-2 ～ 4・8・12・14・19・21・25・27・29 ～ 32・34A・34B・37・40・42・45 号住居跡と、推定も含めて 23 軒が位置づけられ、本集落の最盛期である。住居とともにこの時期に構築されているのは、溝が W-2・4・5・7 号溝、井戸が I-2・3 号井戸で、いずれも集落南部に位置している。なお、9 世紀末頃になると住居数は急激に減少する（H-27・45 号住居跡）ようである。

10 世紀になると更に住居軒数は減り、10 世紀前半から後半まで含めても H-10・23・35 号住居跡と不確実ながら H-1 号住居跡の 4 軒となる。一方で、住居跡を壊して構築される中・小規模な溝の存在が特徴的である。W-10・11・16 号溝がそれであり、重複関係や出土遺物から 10 世紀代から 11 世紀初めにかけてのものではないかと考えている。

なお、この時期の特異な遺構としてX-11・12号不明遺構、およびX-14号不明遺構を挙げておきたい。いずれも10世紀後半のH-23号住居跡と重複してそれより新しいものである。X-11・12は羽釜を含む遺物と20cm大の礫、焼土および粘土の集中として検出され、当初からカマド跡として認識されていたが住居跡とみなしえる施設が認められなかった。X-11号不明遺構では遺構本体とみられる遺物の集中と掘り込みがあったものの、袖、煙道の痕跡が確認できず、礫の配置もほぼ円形を呈して内部が掘り込まれている等、住居の作り付けカマドとは違う構造であることが認められた。これらのことから、屋外カマド跡の可能性が高いと結論付け、掘り込みが認められなかったH-12号不明遺構は屋外カマド構築材廃棄跡と考えている。一方、X-14号不明遺構は、不定形のやや浅い掘り込みであるが、内部に大量の焼土ブロックが堆積し、被熱した手のひら大の埴輪破片が出土している。前二者と同様に住居施設がみつからず、屋外炉の可能性がある。

本遺跡の集落の消長・内容を既調査の朝倉伊勢西遺跡と比較すると、集落の存続時期はほぼ一致している。ともに7世紀末～8世紀初頭に集落形成が始まり、最盛期はどちらも9世紀後半～末頃である。集落は10世紀代まで存続し、その終焉は朝倉伊勢西遺跡では11世紀、本遺跡では10世紀後半である。以上のように、集落の終焉時期は若干異なるものの、両遺跡の形成過程には強い相関関係が認められ、間に低地を挟むとはいえ、両遺跡で集落を作った集団は極めて密接な関係にあったことが推定される。

共通する点が多い本遺跡と朝倉伊勢西遺跡であるが、あえて違いを探すとそれは両者が形成された微高地の面積と、住居一軒当たりの規模である。本遺跡と低地を挟んで対峙する朝倉伊勢西No.1遺跡1区、No.2遺跡1・3区、およびNo.3遺跡A区の集落は北東の低地から南西に広がる広大な微高地に形成され、南端を北東一南西に古代の用水路が走っておりこれを集落限界としても東西、南北ともに80m以上を測る。一方、本遺跡ではC区北東から東側に低地が広がり[註]、調査区以東に集落が広がる可能性は低い。また、集落南限もW-3号溝跡であることが調査結果からほぼ確実であり、ごく狭い範囲に集落が形成されていると推定される。集落形成範囲は凡そ東西30m、南北20mであり、調査範囲外を含めてもこれを大きく超えることはないと思われる。住居一軒当たりの規模は、実測することができた床面積を基にすると朝倉伊勢西No.2遺跡の1区で平均15.54㎡、No.3遺跡A区で同じく平均11.12㎡であるのに対し、本遺跡では10.54㎡となる。また、住居のうち最大のものが朝倉伊勢西No.2遺跡では長辺6mを超え、No.3遺跡で約4.9mであるのに対し、本遺跡では約4.4mである。住居規模の違いには複数の要因があると推察されるが、土地の狭さが影響している可能性もあるのではないだろうか。

以上のように、朝倉上廊遺跡における集落の様相は、全体的な内容は朝倉伊勢西遺跡とほぼ同様であるものの、住居規模と終焉時期に若干の違いが認められる、と総括できる。

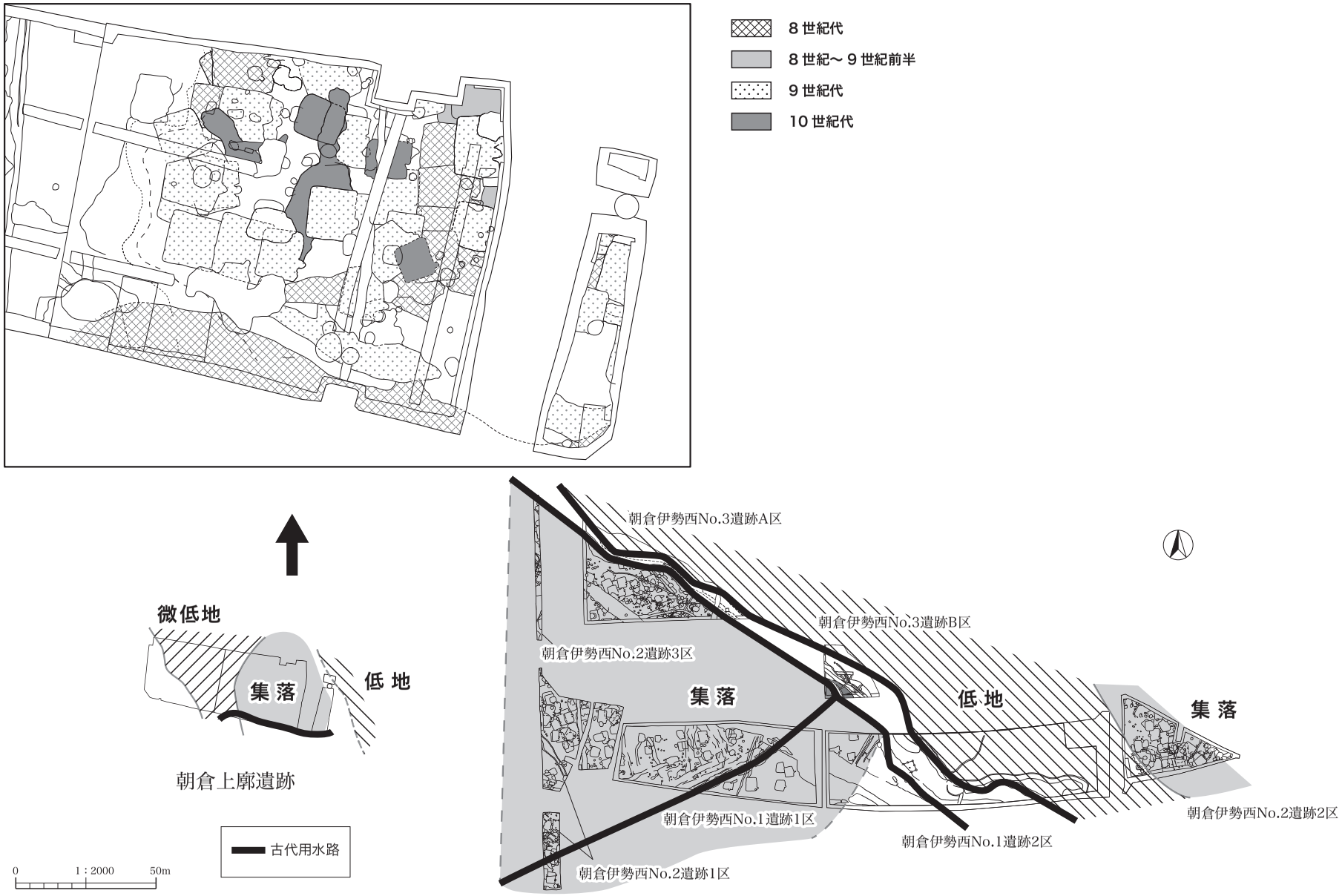
朝倉伊勢西遺跡で注目された古代の用水路は本遺跡でも同種のW-3号溝跡が検出され、微高地縁辺を利用しながら低地間を結び、ある程度の密度で水路ネットワークを形成していることが窺える結果となった。

（註）前橋市教育委員会試掘調査の結果から

第2節　As-B下旧地表面の様相について

本書の各章でも述べたように、本遺跡中央部から西端にかけては厚く堆積した耕作土の下、地表下約0.7mにAs-Bが堆積していることが確認された。検出面積は約750㎡である。このAs-Bは全体に汚れており、明確に層（ユニット）が細分できなかったことから二次堆積と推定される。その下位の暗褐色土表面を精査し、生産遺構の有無を確認した。

As-B下面は、テフラ堆積範囲の東西端近くでわずかに段差を有し、堆積範囲が他に比べてややくぼんでいる。この段差は微妙、かつ形状は不安定なもので人為的に構築されたものとは思われなかった。そのほかの部分は基



第 36 図　朝倉伊勢西遺跡・朝倉上廓遺跡　合成図

本的に平坦で、畦畔、溝等水田に伴う施設は検出されなかった。概略として、ほぼ空閑地の微低地に二次堆積のAs-Bが厚く堆積している状況である。

朝倉地区では、朝倉・後閑水田遺跡（藤坂ほか2015）をはじめとして本遺跡南方にある多数の遺跡でAs-B下水田が検出されている。一方で本遺跡東方の朝倉伊勢西遺跡では水田跡は見つかっていない。今回の調査では当時の水田の北限を探る目的があったが、本遺跡で明確な水田が検出されなかったため、暫定的ではあるがその限界は本遺跡以南にあると推定される。

ただし、遺構としての水田は検出されなかったものの、As-B下土層に含まれるイネ科プラントオパール量は極めて多く、水田遺跡での検出量以上であった。このことは、遺跡の至近距離における稲作の可能性や、As-B降下以前の長期にわたる稲作の可能性、または畦畔等を伴わない稲作等が行われた可能性を示唆している。ただし一方で、畑作にともなう敷き藁からプラントオパールが供給されたという可能性も一概に排除することはできない。いずれにしても、この問題については近傍での調査事例の増加を待ちたいと思う。

なお、As-B下面で農耕具の刃先痕が多数検出され、第Ⅴ章で耕作跡として報告した。その項にも記したが、これらの刃先痕の中にはAs-Bがすき込まれており、As-B降下以後に行われた耕作に伴うものと考えている。これらの耕具痕は場所によっては南北方向に連なった痕跡が列をなしているようにみえ、規則的な作業であったことが窺える。具体的な耕作形態は断定しがたいが、As-B降下後に被災した土地を復旧、活用しようとした痕跡として興味深いものである。

以上のように、朝倉上廊遺跡についてごく簡単にまとめてみたが、古代集落の様相、As-B下の痕跡それぞれについていくつかの所見が得られたと思う。今後の近傍調査によりそれぞれ事例が増加すれば、より一層朝倉地区の開発・生産過程が復元できると期待する。本調査がその一助となれば幸いである。

《引用・参考文献》

梅澤重昭　1987「前橋台地」『日本の古代遺跡16　群馬東部』株式会社保育社
坂口 一・三浦京子　1986「奈良・平安時代の土器の編年―住居の重複と共伴関係による土器型式組列の検討―」『群馬県史研究』24　群馬県史編さん委員会
高橋正男・前原 豊　1986『鎮守廻り遺跡』前橋市教育委員会
早田 勉 他　1990「第五節 前橋台地と広瀬川低地帯」『群馬県史』通史編1 原始古代1 群馬県史編さん委員会
永井智教　2016「古代上野国の条里と水路―前橋・高崎台地の調査事例を中心に―」『地域考古学』1号　地域考古学研究会
福田貫之・和久拓照　2011『朝倉工業団地遺跡群』前橋市教育委員会
福田貫之・山田誠司　2011『朝倉伊勢西No.1遺跡』前橋市教育委員会
福田貫之・小林朋恵　2012『朝倉伊勢西No.2遺跡』前橋市教育委員会
小峰 篤・北村和穂ほか　2017『朝倉伊勢西No.3遺跡』前橋市教育委員会
藤坂和延・前田和昭・岡野 茂　2015 『朝倉・後閑水田遺跡』前橋市教育委員会・技研コンサル株式会社
前原 豊・秋池 武・飯島義雄　2001「利根川からの引水遺構である「女溝」の意義」『群馬文化』266　群馬県地域文化研究協議会
三浦京子　1988「群馬県における平安時代後期の土器様相―灰釉陶器を中心にして―」『群馬の考古学』　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
綿貫邦男・神谷佳明・桜岡正信　1992「群馬県における灰釉陶器の様相について（1）―消費地からのアプローチ―」『研究紀要』9　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

写　真　図　版

B 区 全景 南から

A 区 全景 東から

B区 全景 上が北

B区 住居群 東から

C区 全景 北から

H－1号住居跡 西から

H－2号住居跡 西から

H－3号住居跡 西から

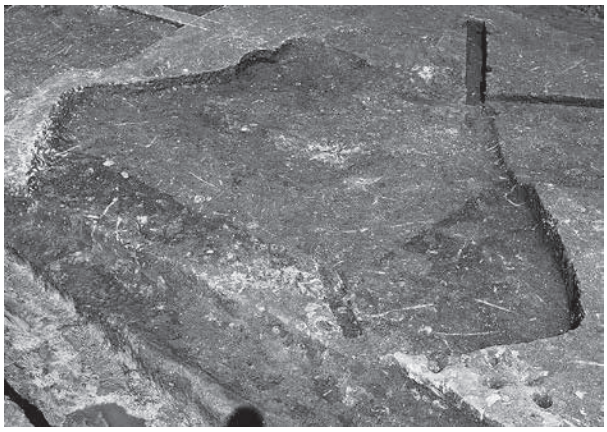
H－3～5・7～9号住居跡 西から

H－4・8・9号住居跡西壁セクション 東から

H－6号住居跡 南から

H － 10 号住居跡灰・焼土検出状況 北から

H － 11 号住居跡 西から



H － 12 号住居跡 南西から

H － 13 号住居跡 西から

H － 14 号住居跡 西から

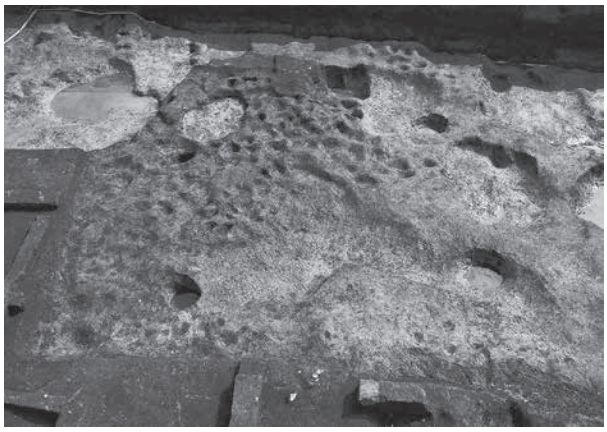
H － 15 号住居跡 西から

H － 19 号住居跡 西から

H － 21 号住居跡 西から

H － 23 号住居跡 西から

H － 23 号住居跡遺物出土状況 西から



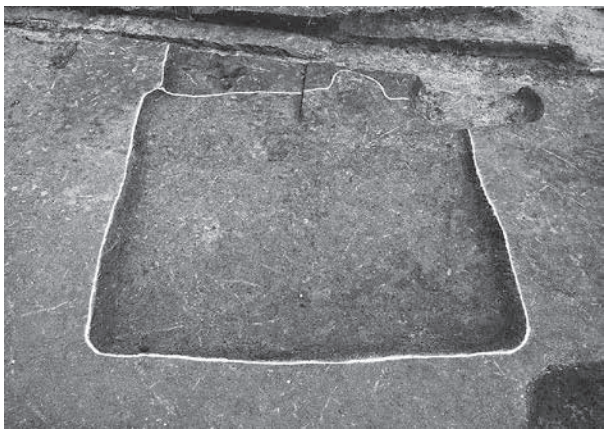
H － 24 号住居跡 西から

H － 25 号住居跡 西から

H － 25 号住居跡カマド遺物出土状況 西から

H － 26 号住居跡 南から

H － 27 号住居跡・D － 15 号土坑遺物出土状況 南から



H － 29 号住居跡 西から

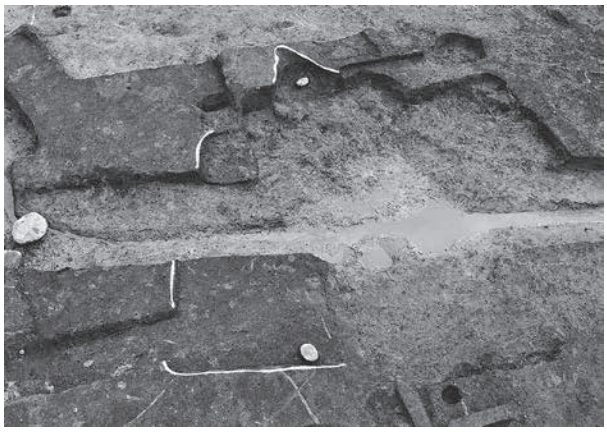
H － 30 号住居跡 西から

H － 32 号住居跡 西から

H － 33 号住居跡 南から

H － 34A・H － 34B 住居跡 西から

H － 35 号住居跡 西から



H － 36 号住居跡 西から

H － 36 号住居跡カマド 西から

H － 37 号住居跡 西から

H － 38 号住居跡 西から

H － 39 号住居跡 西から

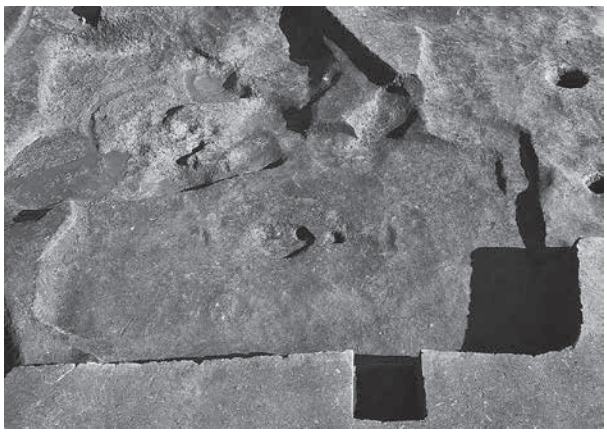
H － 40 号住居跡 南西から

H － 40 号住居跡カマド 南西から

H － 42 号住居跡 西から

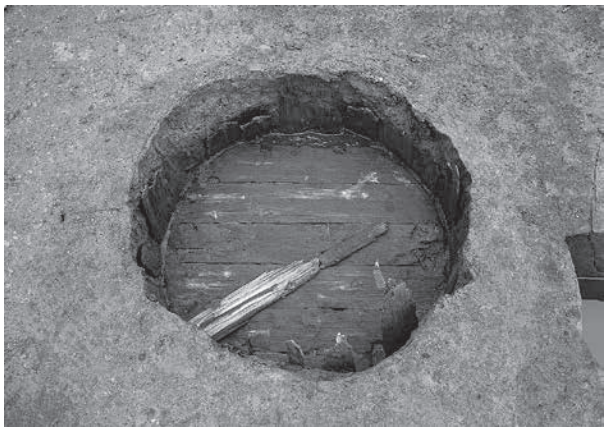
H － 43 号住居跡 西から

H － 45 号住居跡 南西から



H － 46 号住居跡 西から

H－47 号住居跡 南西から

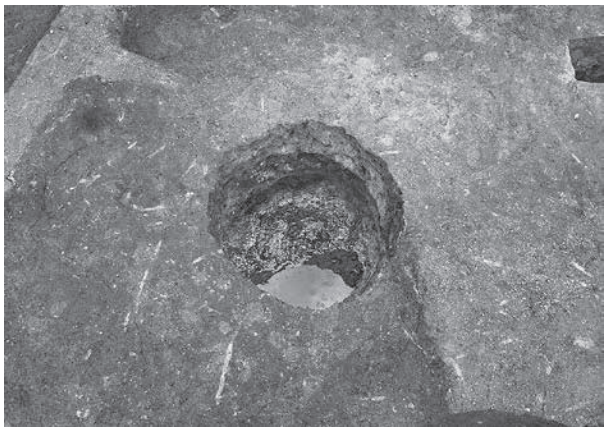


D－4 号土坑 西から

D－24 号土坑 北西から

I－1 号井戸跡 東から

I－2 号井戸跡 北東から



I－3 号井戸跡 西から

I－4 号井戸跡礫出土状況 西から

I－4・5 号井戸跡 南東から

W－２号溝跡 西から

W－３・７号溝跡 東から

W－３号溝跡セクション 西から

W－３号溝跡中央遺物出土状況 南から

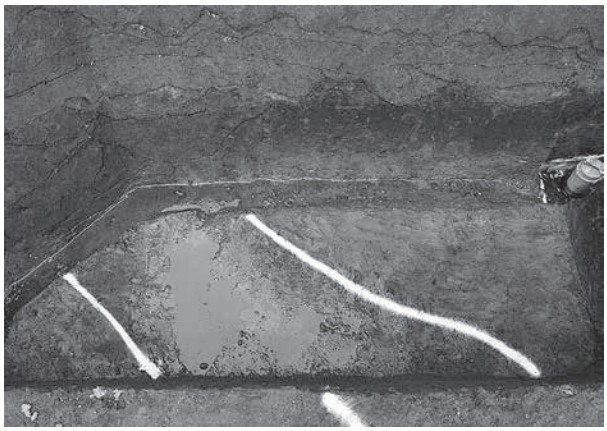
W－３号溝跡西端遺物集中部① 北から

W－３号溝跡西端遺物集中部② 北から

W－３号溝跡西端遺物集中部セクション 北から

W－５号溝跡 南西から

W － 4 号溝跡 西から



W － 6 号溝跡 南から

W － 7・9 号溝跡西部 東から

W － 9 号溝跡東半 東から

W － 10 号溝跡 南から

W － 10 号溝跡遺物出土状況 南から

W － 11 号溝跡 南西から

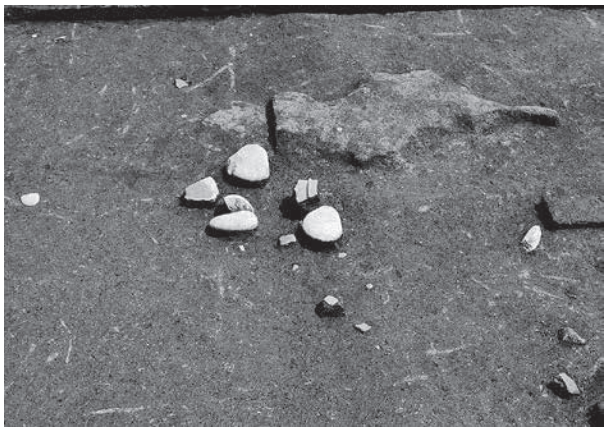
W － 13 号溝跡 南から

W － 14・15 号溝跡 南東から

W － 16 号溝跡 東から

X － 11 検出状況 西から

X － 11 遺物出土状況 西から



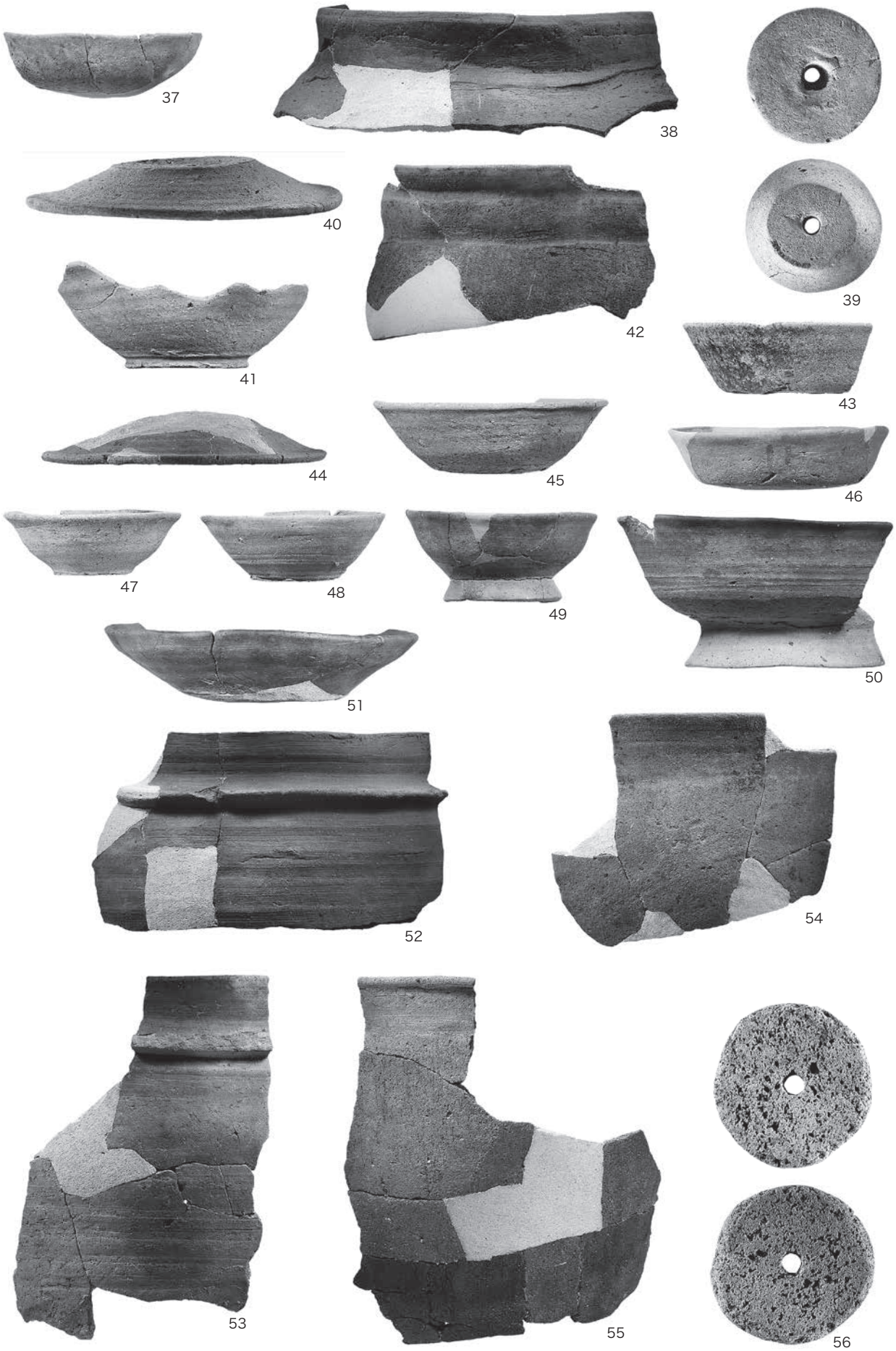
X － 12 検出状況 西から

X － 14 セクション 南東から

耕作痕検出状況 南から

1
2
3
4
6
7
9
11
5
8
10
12
13
14
15
16
18
17
20
19
21
22
23
24
25
26
27
28
30
31
32
33
35
29
34
36

出土遺物（1）



出土遺物（２）

出土遺物（3）

80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
148

出土遺物（4）

106
107
108
110
111
109
112
113
114
116
115
117
119
118
120
121
122
123
124（1/4）
125（1/4）
126（1/4）

出土遺物（5）

127（1/4）
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147（1/4）

出土遺物（6）

報　告　書　抄　録

フリガナ	アサクラカミクルワイセキ
書名	朝倉上廊遺跡
副書名	（都）江田天川大島線（市道 15-767 号線）道路築造に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	－
シリーズ名	－
シリーズ番号	－
編著者名	小峰 篤　福嶋正史　馬淵恵美子
編集機関	前橋市教育委員会
所在地	〒 371－0853　群馬県前橋市総社町三丁目 11 番地 4　TEL 027－280－6511
発行年月日	2021 年 3 月 19 日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		日本測地系		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡	北緯	東経	北緯	東経			
アサクラカミクルワイセキ 朝倉上廊遺跡	グンマケンマエバシシアサクラマチ 群馬県前橋市朝倉町 115-1、115-2、 115-3、116-1、 116-2、116-3、 117-1、117-2、 117-3、117-4、 118-4、118-7、 119-1、119-2	102016	2G74	36° 21' 52"	139° 05' 42"	36° 22' 03"	139° 05' 31"	2020.7.6 ～ 2020.11.18	1,620㎡	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
朝倉上廊遺跡	集落 生産址	平安時代	竪穴住居跡	45 軒	灰釉陶器	As-B 上位からの耕作痕を確認 プラントオパール分析により As-B 前後に稲作の可能性
			土坑	16 基	須恵器	
			ピット	20 基	土師器	
			井戸跡	5 基	羽釜	
			溝跡	14 条	土製紡錘車	
			その他・不明	4 基	石製紡錘車	
		中世～近代	土坑	8 基	陶磁器	
			ピット	1 基	木製品	
			溝跡	2 条		
			その他・不明	10 基		
要約	平成 22 年度から 28 年度にかけて調査された朝倉伊勢西遺跡（No.1 ～ No.3）の西に隣接する遺跡であるが、間に低地を挟むため同一の遺跡ではない。本遺跡では As-B 直下における水田の有無確認と古代の集落調査に主眼が置かれ、前者に関しては畦畔等の遺構は確認されなかったものの自然科学（プラントオパール）分析によって稲作の可能性が示唆された。後者の集落遺跡は基本的に朝倉伊勢西遺跡と同様であるが、集落消長時期は若干ずれている。また、過去の調査で灌漑用水路として注目・推定された大形溝と同様の溝が本遺跡でも確認され、組織的に大規模な水田開発が行われたことを窺うことができる。					

朝倉上廊遺跡

（都）江田天川大島線（市道 15-767 号線）道路築造に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

印刷　令和 3 年 3 月 15 日

発行　令和 3 年 3 月 19 日

発行　前橋市教育委員会事務局文化財保護課
〒 371－0853　群馬県前橋市総社町三丁目 11 番地 4
TEL 027－280－6511

編集　株式会社シン技術コンサル
〒 370－1135　群馬県佐波郡玉村町板井 311－1
TEL 0270－65－2777

印刷　細谷印刷有限会社
〒 372－0031　群馬県伊勢崎市今泉町 2－939－5
TEL 0270－25－0193